



FUKUSHIMA UNIVERSITY

GUIDE 2027

— 福島発、未来行き。 —

— 変化の時代に、進化で挑む。 —



国立大学法人

福島大学
Fukushima University





未来へ動き出す、福島大学。

変わる世界へ、君自身の進化で踏み出そう。

福島大学は、
学部制という新たなステージへ。

目指す目的がより明確になり、社会の変化に向き合いながら、自分の未来を自分で選び取るための学びがさらに広がります。正解のない時代を生きるうえで大切なのは、知識だけでなく、仲間と協働し、試行錯誤し、自分らしい答えを見つけていく力。変化の時代に進化で挑む福島大学は、“君自身の進化”もともに育てていきます。変わり続ける世界へ、ゆっくりでも確かに一歩踏み出したい人へ。ここから、未来へ動き出そう。



CONTENTS

01 未来へ動き出す、福島大学。

- 03 学長Message
- 05 福島大学グランドデザイン2040
- 07 政経学部について
- 09 福島大学研究最新動向
 - 11 F-REIでの研究
- 13 カリキュラムの特色
 - 15 地域×データ実践教育プログラム
 - 19 共創知教育
 - 21 国際交流
- 25 学びと未来のフローチャート

27 教育学部 (仮称)

- 27 学類長メッセージ
- 28 学部の特色
- 29 カリキュラム／資格
- 31 「系」について
- 33 地域課題探究コース／グローバル探究コース／STEAM教育コース
- 34 教育臨床コース／インクルーシブ教育コース／Notable Research
- 35 学類生の1週間と4年間
- 36 地域で活躍する先輩たち／卒業後の主な進路

37 政経学部 (仮称)

- 37 政経学部設置準備室長メッセージ
- 38 学部の特色
- 39 ゼミ紹介
- 40 Notable Research
- 41 カリキュラム／資格
- 43 産業・地域社会イノベーションコース／経済経営コース／公共政策デザインコース
- 45 Topics
- 46 学類生の1週間と4年間
- 47 地域で活躍する先輩たち
- 48 進路情報／政経学部誕生までの沿革

49 理工学部 (仮称)

- 49 学類長メッセージ
- 50 学部の特色
- 51 カリキュラム／資格
- 53 情報理工学コース／メカトロニクスコース
- 54 Notable Research
- 55 分子デザイン科学コース／環境システムコース
- 56 特修プログラム
- 57 学類生の1週間と4年間
- 58 地域で活躍する先輩たち／卒業後の主な進路

59 食農学部 (仮称)

- 59 学類長メッセージ
- 60 学部の特色
- 61 カリキュラム／資格
- 63 食品科学コース／農業科学コース
- 64 フィールド環境学コース／農業経営学コース
- 65 学びのポイント
- 66 Notable Research
- 67 学類生の1週間と4年間
- 68 地域で活躍する先輩たち／卒業後の主な進路

69 大学院

- 71 センター／研究所紹介
- 75 キャンパスライフ
 - 75 マップ
 - 77 キャンパスガイド
 - 79 Student Life／年間スケジュール
 - 81 インタビュー
 - 83 クラブ&サークル
- 85 就職・進路情報
 - 85 就職・進路支援
 - 86 進路状況
- 87 入試データ
 - 87 入学試験統計／都道府県別データ
 - 88 学費／奨学金／募集要項／オープンキャンパス情報



進化する大学で、 深化する学びを

福島大学は、2027年度より新たなステージへと歩みを進めます。

少子高齢化の進行、ICTの急速な発展、地球温暖化による異常気象、そして世界各地で続く戦争や紛争。現代社会は、これまでに以上に複雑で多様な課題に直面しています。とりわけ、AI技術の進歩は著しく、2045年には、人工知能が人間の知能を超える「シンギュラリティ」を迎えるとも言われています。

このような時代において、社会の課題の多くには一つの正解がありません。異なる知識や価値観を持つ人々が協働し、多様な視点から考え、試行錯誤を重ねながら解決の糸口を見出していくことが求められています。社会の変化に対応するためには、私たち自身、そして私たちが生み出す「知」も進化していかなければなりません。

福島大学では、こうした社会の要請に応え、地域に根ざしたイノベーション人材を育成するため、2027年度より従来の3学群5学類体制から、「教育学部」、「政経学部」、「理工学部」、「食農学部」の4学部体制へと改組します*。新たな学士課程では、各分野の最先端の知識と技術を学ぶ専門教育に加え、文理融合・分野横断型のカリキュラムからなる「共創知教育」を展開します。これにより、身につけた知識や技術を社会の中で活かす力、すなわち「社会実装力」を備えた人材の育成を目指します。

また、福島大学は、学生・教職員一人ひとりが主人公となり、互いを尊重しながら学び合う大学でもあります。開学以来、自主性を重んじる伝統と協働の精神が受け継がれ、キャンパスには多様な価値観に触れながら成長できる環境があります。2025年

には「福島大学DEI推進宣言～ちがいに会う ちがいから学ぶ～」を策定し、誰もが安心して力を発揮できる学びの場づくりを進めています。

福島県は、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故という大きな困難を経験した地域です。しかし私たちは、その経験から学び、より良い社会を築くための挑戦を続けてきました。授業での実践や学生のボランティア活動を通して培われた「知」は、本学の大きな特色である「復興知」として今も受け継がれています。本学では、この復興知とデータサイエンス教育を融合した「地域×データ実践教育プログラム」を必修科目として実施しています。地域の課題をデータに基づいて分析し、実践的な解決策を考える学びは、福島だからこそ実現できる教育です。

福島大学の教育は、教科書に書かれている知識を一方的に教えることだけを目的としません。学生自身が社会というフィールドに飛び込み、課題を発見し、仲間と共に探究しながら、自らの生き方や社会の未来を考えていく、そのような主体的な学びの場を大切にしています。

福島大学での学びは、変化の激しい時代を生き抜く力を育てます。私たちとともに、新しい学問の扉を開き、未来を切り拓いていきましょう。

福島大学学長

佐野 孝治

※学部名称はいずれも仮称であり、変更の可能性があります。



福島大学 グランドデザイン2040

変化の時代に、進化で挑む。
Fukushima Dynamism

福島大学グランドデザイン2040とは？

「2040年に福島大学がどんな姿になっていたいか」を示した長期的な未来計画です。これから急速に変化する社会の中で、大学としてどんな価値を生み、どのように学生を育て、どんな研究を進めていくべきかをまとめた「大学の設計図」です。

「正解のない問い」に挑む力を育てる！

これからの社会は、教科書に載っていない問題ばかり。福島大学では、実際の地域の課題に向き合いながら、自分で考え、仲間と協力して答えを探す力を育てます。

地域と世界をつなぐ研究を強化！

東日本大震災以降、福島大学は多くの研究プロジェクトを生み出してきました。これからは、人文社会科学、環境やエネルギー、食と農など、最先端の分野を横断した研究を通じて、社会を変えていきます。

大学として対応すべき課題

- ◆国立大学法人としての機能強化・発展
- ◆少子化問題への対応
- ◆財政基盤の強化
- ◆社会における諸問題を解決・緩和できる人材育成

大学改革

ミッション、ビジョン実現向け、新たな教育研究組織を構築

- 教育と研究を一体的に行う新たな学士・修士・博士課程へ改組
- 学長のリーダーシップで意思決定を効率化するためのガバナンス体制の見直し・整備
- 持続可能な大学を目指す財政改革
- 組織と研究分野の再構築で本学の強みを強化
- 県内外の高等教育機関と連携を強化し、機能の共有を実質化

福島大学グランドデザイン2040のポイント

VUCAと呼ばれる不確実な時代において、福島大学は法人化や震災対応で得た知見を基盤とし、人口減少をはじめとする次の課題解決へ向けた取り組みを進めています。



詳しくはこちら

ミッション(使命)

- 「新しい社会のあり方」を提案できる大学
- 個人のWell-being、社会のWell-beingの実現を目指す大学
- 激変の時代に「柔軟に、かつ強靱に」取り組む大学

ビジョン(目標)

- 「正解のない問い」にチャレンジできるイノベーション人材の育成
- 地域と世界における現代的で複雑な課題解決のための研究強化

バリュー(行動指針)

教育

- 問題解決型教育の推進
- 異分野融合を促進する教育組織の再編
- 教育の質保証徹底と学修者中心のカリキュラム構築

研究

- 異分野間の共同研究を推進
- 人文社会系との融合を期待した理・工・農学系の研究強化
- 環境放射能研究所、発酵醸造研究所、水素エネルギー総合研究所等の研究を進化・発展

地域社会との連携

- 地方国立大学の社会貢献の在り方を再構築・強化
- 研究者が問題解決に関わる地域貢献の実践研究を設計
- 将来の地域の姿や課題を明確化し、逆算して課題を提起

教員養成・附属学校園改革

- 震災・原発事故復興と少子化に対応した教員養成の福島モデルを構築
- 少子化を考慮した附属学校園の抜本的改革を実施

地域に即したグローバル教育を全学で推進

- Fukushima Ambassadors Programを発展させ、地域に即したグローバル教育を全学で推進
- 留学生増加、語学力向上、海外インターンシップ活性化
- 海外との共同研究数の増加

学士課程改革

本ページに記載の学士課程改革の構想は、今後、文部科学省等関係者と調整の上、令和8年度に文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定です。
なお、構想は審査結果によって確定するものであり、変更の可能性があります。

令和9(2027)年度 3学群5学類から 4学部になります。

人文社会学群	人間発達文化学類(260名)	教育学部	学校教育教員養成課程(仮称)	(235名)
	行政政策学類 [*] (205名)			
	経済経営学類(220名)			
理工学群	共生システム理工学類(200名)	政経学部	政経学科(仮称)	(400名)
農学群	食農学類(100名)	理工学部	共生システム理工学科(仮称)	(215名)
		食農学部	食農学科(仮称)	(135名)

※夜間主は廃止されます。

福島大学学士課程の全体像



政経学部

(仮称)

行政政策学類と経済経営学類が統合し、
現代の地域社会にイノベーションを
もたらす人材を育成する学部へ

政経学部設置準備室副室長
行政政策学類長
今西 一男 教授

学長
佐野 孝治 教授

政経学部設置準備室長
経済経営学類長
熊沢 透 教授

2つの学類が統合し、新設された政経学部(仮称)。その目的や目標、特色について、
佐野孝治 学長、熊沢透 政経学部設置準備室長、今西一男 政経学部設置準備室副室長に聞きました。

政経学部が 目指すもの

VUCAと呼ばれる不確実な時代において、福島大学は法人化や震災対応で得た知見を基盤とし、人口減少をはじめとする次の課題解決へ向けた取り組みを進めています。

政経学部では地域経済・地域社会の持続可能な発展とWell-being社会の実現に貢献するため「社会実装力」を持つ人材を育成します。

社会実装力 とは

社会実装力とは、世の中で実際に役立つものを生み出すことのできる力のことです。それは様々なハードウェアやアプリケーションに限ったことではありません。地域社会や組織のなかで機能する「しくみ」を構築すること含まれます。そのしくみがそして、人類のWell-beingのために——社会と人びとの暮らしにおける困難や不安を軽減するために——役に立つことが大切です。

コースと 人材育成

社会実装力を身につけるため特色ある3コースを用意しています。

産業・地域社会イノベーションコース
地域資源や新技術を活用し新しい価値を創造する

経済経営コース
地域企業の新陳代謝をけん引し地域経済を再構築する

公共デザインコース
公的な視点で新しい社会の姿をデザインし伴走する



〈社会実装の実例〉

◀大学構内へ「路線バス運行」

地域公共交通の利用促進のための政策提案を行い、その一つとして大学構内へ路線バスが運行されることになりました。路線バス乗り入れ開始に伴い、バスの現在位置や遅延情報をリアルタイムで表示するバス運行情報デジタルサイネージを独自に開発し「技術による利便性向上」とバスの乗り方教室の開催やラッピングバスの運行など「活動による意識変容」を組み合わせた多角的なアプローチを行い、キャンパスへのアクセス性向上と地域公共交通の維持・活性化に大きく寄与しています。

「社会実装力」を身につけ、
地域や産業の未来を創る

詳しくは37ページへ



これからの未来へ向けて君はここで進化する

福島大学研究最新動向

Faculty of Education

教育学部 (仮称)

英語学習者の個人差と認知プロセスに関する研究 —量的データと視線計測データに基づくアプローチ—

高木 修一 准教授

まず、英語学習者の個人差に関わる要因として、外国語読解不安とワーキングメモリについて共同研究を行っています。外国語読解不安については、日本人大学生を対象とした一連の研究を通して、読解熟達度および授業成績に対する負の影響を明らかにしました。つまり、英語での読解に不安を感じる人は、英語力が低くなったり、英語の授業の成績が悪くなったりする傾向にあるということです。これらの研究成果は国際ジャーナルに論文として掲載されています。ワーキングメモリについては、日本人小学生の音韻認識と音声産出の特徴に関する検証を行った研究で、小学校英語教育学会の学会賞(研究論文)を受賞しています。さらに、日本人小学生用のワーキングメモリの機能を測定する英語リスニングスパンテストを開発した研究により、全国英語教育学会の学術奨励賞を受賞しました。開発したテストはWeb上で実施できるようになっており【1】、現在はこのテストを用いて継続的に研究を行っています。

次に、英語学習者の認知プロセスとして、認知心理学や言語テスト学の観点から研究を進めています。ここでは、直近に行った個人研究を紹介します。日本人大学生の英文要約課題における解答言語の違いについて、視線計測データを用いて検証を行いました。視線計測用の眼鏡を装着した上で、日本人大学生に2つの英文を読んでもらった後に、日本語または英語にてそれぞれの英文の要約を書いてもらいました【2】。解答プロセスを英文読解・要約作成・要約作成後の見直しの3段階に分け、英文または解答部に対する固視時間の割合を比較しました。その結果、作成後の見直しのプロセスにおいて、日本語で解答する場合は英文と解答部を同じ割合で見るとに対して、英語で解答する場合は解答部を見る割合が高かった【3】ことが明らかになりました。つまり、解答言語が異なっても要約作成までのプロセスに違いはありませんが、作成後に学習者が注意を向ける範囲が異なることがわかりました。この研究は国際学会で発表しており、現在は論文として執筆中です。

【1】英語ワーキングメモリの容量を測定するWeb上のテスト



【3】収集した視線計測データの分析事例



【2】視線計測データを収集する実験の様子



Faculty of Economics and Social Sciences

政経学部 (仮称)

「ガソリン補助金は損失が大きい」 経済政策の効果を分析

佐藤 英司 准教授

佐藤英司研究室では、経済学とデータから経済政策の効果を分析しています。最近の研究では、2022年1月から2024年3月までの日本のガソリン補助金を対象に、政策効果を検証しました。需要と供給の考え方とデータを用いて、「もし補助金なかった場合」の価格・消費量(反実仮想)を推定したところ、補助金により価格は1リットルあたり約24円下がり、消費量は月あたり約8万リットル増えたことがわかりました。

一見すると「安くなって良い政策」に見えますが、財源は税金で社会全体の負担です。さらに消費増はCO₂排出や大気汚染、交通事故、渋滞などの社会的コストを増やします。これらも含めて評価すると、ガソリン補助金は社会全体では損失の方が大きいことが示されました。

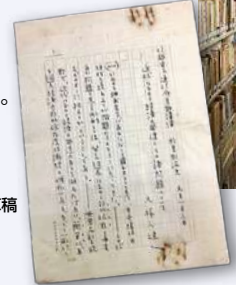


附属図書館「大塚久雄文庫」から 戦後日本の社会科学を支えた思想を読み解く

阪本 尚文 准教授

福島大学には、戦後日本の社会科学がどのように生まれ、発展してきたのかを考えるうえで欠かせない貴重な資料が数多く集められています。附属図書館「大塚久雄文庫」には、20世紀日本を代表するイギリス経済史家、大塚久雄の蔵書、草稿、そして書簡が所蔵されています。さらに、同図書館には、大塚理論から出発し、日本の経済学史研究を国際水準へと高めた小林昇の福島時代(1940~50年代)の日記や講義ノート、さらに、大塚の盟友であったフランス革命史家、高橋幸八郎の戦時期およびフランス留学中の書簡や日記も寄贈されました。これらの資料を通して、戦後日本の社会科学を支えた思想と、その形成の歩みを読み解いています。

大塚の講演草稿
(阪本撮影)



福島大学「大塚久雄文庫」
(阪本撮影)

変化が当たり前となった社会で、私たちが向き合う課題はますます多様化しています。
正解のない現代で、福大が取り組む研究の最前線をご紹介します。

Faculty of Science and Engineering

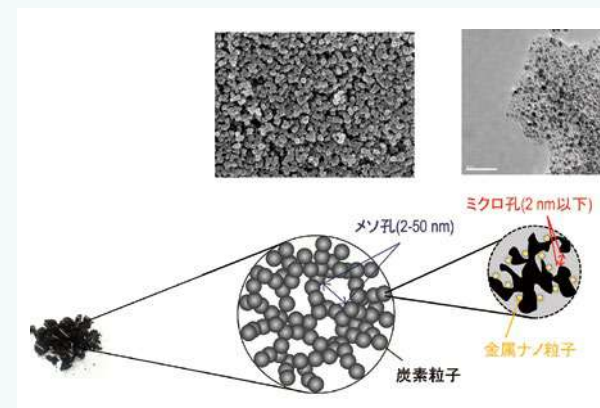
理工学部 (仮称)

水素エネルギー社会を支える 多孔質炭素材料の開発

岩村 振一郎 准教授

再生可能エネルギーを社会で広く活用していくためには、水素の利用が重要な役割を担うと考えられています。太陽光や風力などの再生可能エネルギー発電による電力を利用して水を分解し水素を製造する技術や、水素を燃料として電気を取り出す燃料電池などは、クリーンエネルギー社会の実現に向けた重要な技術です。これらの装置では、水素生成反応や酸素還元反応などを効率よく進めるために電極触媒が不可欠です。多くの場合、白金などの貴金属触媒が用いられますが、これらは非常に高価であるため、少ない量で高い性能を発揮させることが求められます。そのため、触媒の表面積を大きくすることや電極内に導電パスを形成する目的で、貴金属触媒を炭素材料の表面に担持する方法が広く用いられています。炭素材料の細孔構造や表面状態などは、電極触媒の性能や耐久性に大きな影響を与えます。また、実際のエネルギーデバイスとして社会に普及させるためには、単に高性能であるだけでなく、大量に製造できることや低コストであることも重要な条件となります。

私たちは、このような背景のもとで炭素材料の開発に取り組んでいます。特に、電極触媒の担体として利用できる多孔質炭素材料を、簡便な方法で合成する研究を進めています。多孔質炭素とは、内部に1~100nm程度(1nmは1mmの100万分の1)の微細な孔が多数存在する炭素材料であり、非常に大きな表面積を持つことが特徴です。この微細な孔の中に触媒作用を示す金属ナノ粒子を導入することで、電極触媒として利用できる材料を作ることができます。私たちの研究では、細孔サイズを金属触媒の担持に最適な大きさに制御して作り分けることが可能です。さらに、炭素の表面状態を制御することで、金属粒子との相互作用や電極の耐久性を向上させることもできます。こうした材料設計を通じて、少ない貴金属量でも高い性能と耐久性を示す電極触媒の開発を目指しています。



多孔質炭素と金属ナノ粒子の複合体の構造と電子顕微鏡写真

Faculty of Food and Agricultural Sciences

食農学部 (仮称)

植物の応答のしくみを手がかりにした 極端気象に負けない栽培技術の開発

深山 陽子 教授

野菜・花き研究室では、近年多発する猛暑・乾燥・豪雨などの極端気象に対応できる栽培技術の開発を進めています。植物が環境の変化にどう応答し、体内の水分動態がどのように変わるのかを最新の計測技術と解析手法を用いて明らかにすることが研究の柱です。こうした植物の環境応答メカニズムを基に、生理障害を抑え、野菜や花の安定生産を可能にする栽培技術の確立を目指しています。さらに、野菜の美味しさを引き出し、消費者により良い品質を届けるとともに、生産者の収益向上にもつなげる環境制御法についても研究を進めています。



地域の農業を支えるしくみの未来 —日本型コモンズとしての 農業水利システムから考える—

高野 真広 講師

かんがい(農業を営むうえで欠かせない「水」の安定的な供給)を支える日本の農業水利システムは、地域社会の共同によって成り立つ「日本型コモンズ」の典型例です。コミュニティ単位の管理を基盤に、土地改良区を中心に維持管理が行われてきました。しかし、農村地域の過疎化・高齢化・混住化や農業経営の多様化、施設の老朽化などを背景に、いま大きな転換点を迎えています。次世代の地域資源管理のあり方を考えるために、技術・管理体制と水管理の効率性に関する実証分析や、土地改良事業が農業構造・地域社会に与える影響の統計的分析を行っています。



F-REI での研究

F-REI とは？

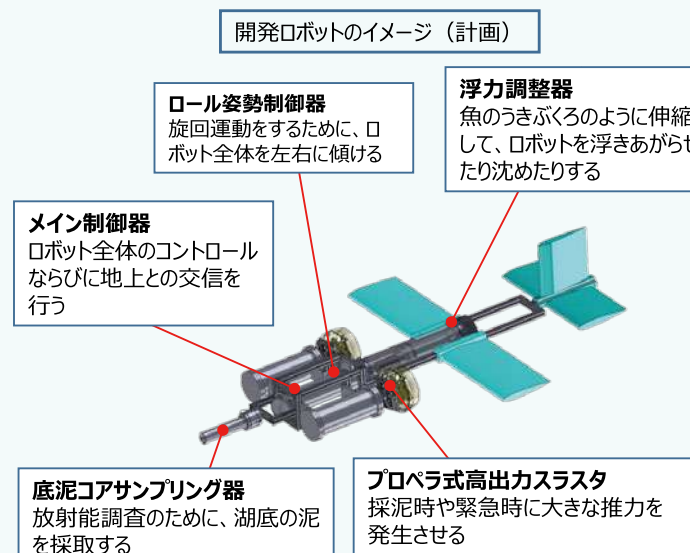
F-REIは、Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (福島国際研究教育機構)の略で、東北の復興と日本の科学技術強化を目指す特殊法人です。東日本大震災や原発事故を経験した地域だからこそ取り組める研究を行い、福島・東北の復興に結びつけていきます。福島大学はF-REIと連携協定を結び、共に最先端の研究を進めています。

福島大学で研究している事業を紹介します！

環境放射能動態調査のための水中ロボットの開発とその応用に関する研究

研究分野 第1分野 (ロボット)
研究代表者 共生システム理工学類 教授 高橋 隆行

事業内容
東京電力福島第一原子力発電所事故に起因する環境放射能の動態研究への応用を主として想定し、水深100m程度、淡水での底泥コアサンプリングを行うことのできる水中ロボットシステムを開発する。このシステムは、遠隔操作ロボットと自律航行ロボットの2種類のロボットから構成され、さまざまな調査形態に柔軟に対応することを目標にしている。
具体的な調査対象として、大柿ダム (請戸川) ならびに猪苗代湖を想定して開発を進めている。



土壌低分子有機物の植物栄養学的影響の解明

研究分野 第2分野 (農林水産業)
研究代表者 食農学類附属発酵醸造研究所 特任講師 菅波 真央

事業内容
化成肥料削減と有機農業転換が求められる中、有機肥料の効果を科学的に解明し、再現性ある技術として確立することが課題である。本研究は、有機肥料独自の効果に着目し、作物生育に効果のある有機成分を特定し、その機能性有機成分を供給する栽培技術の基盤構築を目指す。また、地力利用型品種育成に向けて、窒素利用効率の高い品種の選抜とその遺伝要因の解明に取り組む。



果菜類収穫作業の軽労化につながる協働ロボットの開発および新たな協調作業体系の構築

研究分野 第2分野 (農林水産業)
研究代表者 食農学類 准教授 窪田 陽介

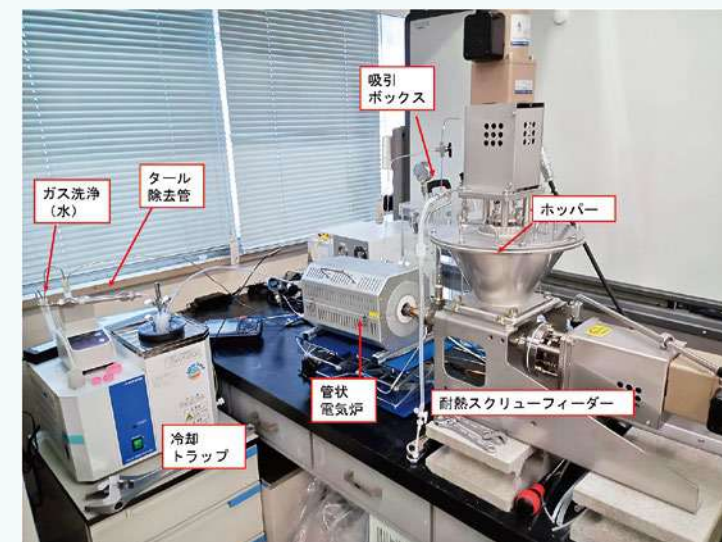
事業内容
ピーマンの露地栽培における収穫作業について、作業姿勢や心拍指数から作業負担を評価し、収穫ロボット導入による協調作業体系の構築による負荷軽減の方策について検討する。その方策を踏まえて、露地栽培におけるピーマンの選択自動収穫を実現する新たな要素技術の開発と収穫ロボットの設計・製作を行う。また、本研究で作成するピーマン植物体モデルを配置した限定環境下において、年間を通したロボット性能評価試験の実施が可能となり、露地栽培における収穫ロボットに適した新しい栽培方法、環境、作業体系を構築する。



浜通り地域の資源を活用した高効率・循環型ネガティブエミッション・地産地消システム

研究分野 第3分野 (エネルギー)
研究代表者 共生システム理工学類 教授 浅田 隆志

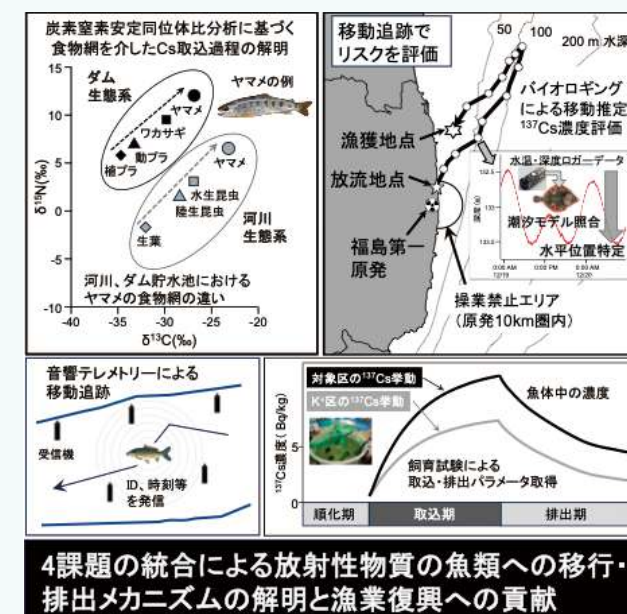
事業内容
未利用材等のバイオマスの炭化プロセスにおいて生成する水素や一酸化炭素等の可燃ガスを燃料としてガスエンジン等を用いて熱電供給するエネルギー利用システムを開発し、さらに、炭化プロセスにおいて同時に製造されるバイオ炭を農地施用することにより炭素貯留するネガティブエミッション技術を構築する。



福島県の淡水域及び沿岸域における魚類への放射性セシウム移行評価

研究分野 第5分野 (原子力災害に関するデータや知見の集積・発信)
研究代表者 環境放射能研究所 教授 和田 敏裕

事業内容
原発事故からの時間経過とともに、放射性セシウムの基準値 (100Bq/kg) を超える水産物の割合は低下している。一方、原発周辺の水域に生息する一部の魚類では、基準値を超える事例も報告されている。本事業では、原子力災害に関するデータや知見の集積・発信の一環として、放射性物質の魚類 (淡水魚および海水魚) への移行を多面的なアプローチで解明することにより、水産物の安全性評価などに必要となる科学的な知見を整理する。



変化の時代に進化で挑む 福大だからできる 8 つのこと

カリキュラムの特色

福島大学では、新たな社会のあり方を提案できるイノベーション人材を育成するため、地域での学びやそこから得たデータを分析する能力、成果を世界へ発信する語学力に力を入れています。
未来をつくるのは、皆さん一人ひとりです。
自分に何ができるのか。地域や世界で、どんな未来を進化させていくのか。
本学とともに考え、学んでいきましょう。

1

入学から卒業までを教職員が手厚くサポート

入学前教育から入学後のサポート、授業・学修、サークルやボランティア活動、留学などの各種プログラム、就職支援、そして卒業研究に至るまで、4年間の学生生活を一貫した体制で支援することで、目標に向かって意欲的に学び、さまざまな活動にチャレンジできるよう大学生活をサポートします。



2

情報社会のデータ活用術を身につける 「データサイエンス実践教育」

学内外の多様な情報を収集・分析し、その成果をプレゼンテーションする一連のプロセスを実践することで、これからの時代に求められる情報読解力・表現力・数量的思考といった基礎リテラシーを、体系的かつ着実に身につけます。

→ くわしくは16ページ



3

問題探究能力を育成する独自の「初年次教育」

「アカデミックスキルズ科目」「ライフマネジメント関連科目」「外国語科目」「教養科目」から構成される基盤教育を学ぶことにより、高校までの学びを大学での学修へと円滑につなげるとともに、現代社会が抱える諸問題を多面的、主体的に考える能力を身につけます。



4

地域で学び、課題の解決を考える

「地域実践教育」

本学では、地域実践教育の「ふくしま未来学入門」や「むらの大学」を中心に、地域が抱える課題について学ぶ機会を拡充しています。地域の現状に触れ、実際に地域で活動する学修を重ねることで、学生の問題探究力や問題解決力を育成します。

→ くわしくは17ページ



5

学部間を越えて知識を追究する「共創知教育」

「共創知教育」は、学部・コースの専門領域を越えて「+αの専門性」を身につけるための教育体系です。学術と実践、地域と学生、学部と専門分野を横断する「協働」によって、新しい知見と実行力を生み出し、学生の専門性を深化、重層化、実装化します。

→ くわしくは19ページ



6

福島大学ならではの挑戦「C1 Project」

本学では、英語力を極めることを目的に、学部横断的に参加できる「C1 Project」を実施しています。活動を通して磨かれる高度な言語スキルと、成果を積み重ねる中で育まれる自信を原動力に、自らの可能性を広げ、既存の枠組みにとられない未来を切り拓くことができます。

→ くわしくは23ページ



7

身につけた力を「見える化」

科目や科目群ごとに学修目標を明示し、どの能力を伸ばすのか、またどのように成長したのかを情報技術を活用して「見える化」しています。さらに、アクティブ・ラーニングや実践的な学修を取り入れることで、学生の学びを一層活性化させます。



8

キャリア教育を充実し、就職を強力に支援

本学が先進的に取り組んできたキャリア教育を、キャリアセンターを中心に、自治体や企業との連携を強化し、さらに発展させます。インターンシップの機会やキャリア支援を充実させ、学生が自らライフプランを考え、より納得度の高い就職ができるようサポートし、社会で活躍できる人材を育てていきます。

→ くわしくは85ページ



4年間の学びを確実に深め、イノベーション人材を育む

教育体系

本学では高校までの学びと大学での学修をつなぐ「基盤教育」を充実させています。大学で学ぶ上で必要な基礎能力を身につける「アカデミックスキルズ科目」と「外国語科目」、自らの心身の状態を適切に保ち、人生を主体的に考える「ライフマネジメント関連科目」、現代社会が抱える諸問題を多面的、主体的、客観的に考える「教養科目」の4つの科目群を設定し、現状を分析し問題解決へとつなげるための能力を育みます。

基盤教育の深まりとともに、自分が選択したコースの知識を深める「専門教育」や語学力を高める「グローバル特修プログラム」、地域に学びその知見データを分析する「地域×実践教育プログラム」、学部間の垣根を越えて学ぶ「共創知教育」などで学び、「正解のない問い」にチャレンジできるイノベーション能力を育んでいきます。

1年	2年	3年	4年
基盤教育			
専門教育			
共創知教育			
グローバル特修プログラム			
地域×データ実践教育プログラム			

地域×データ実践教育プログラム



全学を対象とする「地域×データ実践教育プログラム」では、地域に根ざした学びとデータにもとづく分析を、幅広く修得します。「基盤教育科目」と「学部専門教育科目」とを組み合わせ、本学の特徴ともいえる「正解のない問い」にチャレンジする学生を育成する特修プログラムです。

本プログラムでは、「ふくしま未来学入門」「むらの大学」などの「地域実践教育」と「データサイエンス実践演習」などの「データサイエンス実践教育」を掛け合わせ、地域へのかかわりを基礎として、課題を科学的に捉え、その解決に向けた主体的な取り組みができる個人の育成を目指します。

なお、本プログラム対象科目を履修し、必要な単位数を取得した学生に対しては、大学卒業時にプログラム修了を認定します。

地域実践教育

被災地域へのフィールドワークを中心に「現場に根ざしながら地域課題を発見・分析・解決する力」を養う

データサイエンス実践教育

「地域におけるEBPM (Evidence Based Policy Making 証拠に基づく政策立案)」に関する知識・技能を養う

地域の課題解決をけん引する人材の育成

「地域×データ」実践教育プログラム履修基準表

領域	開設科目等	必修	要認定単位数
基盤教育	社会とデータ科学の基礎	2	12
	「地域×データ」実践教育プログラム科目	—	
	スタートアップセミナーⅡ	2	
	ふくしま未来学入門Ⅰ・Ⅱ	2	
	むらの大学Ⅰ・Ⅱ	—	
	データ分析入門、福島の地域データ、データサイエンス実践演習	—	
	EBPM入門、地域課題と探究指導、地域課題とビジネス、地方と若者自主学修プログラム(地域実践)	—	
専門教育	2年前期ゼミ	2	12
	「地域×データ」実践教育プログラム科目	—	
上記の基盤教育または専門教育から			6
「地域×データ」実践教育プログラム修了認定に必要な単位合計			30

※履修基準・開設科目などは学修効果向上等のため変更される場合があります。

情報社会に必須となるデータ活用術を身につける

データサイエンス実践教育

現代の社会において数理・データサイエンス・AIは世界の共通知識になりつつあります。数理・データサイエンス・AIに関する知識やスキルは、さまざまな学問を学ぶ上でも、将来の職業生活においても非常に重要です。

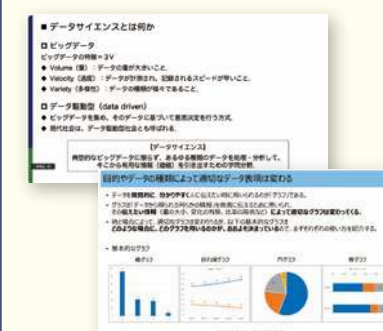
福島大学では、全学で基礎から実践へと積み上げ式にデータ分析能力を学んでいく「『正解のない問い』に挑むデータサイエンス教育プログラム(リテラシーレベル)」を構成する3科目を中心としながら、学生の興味関心に応じたデータサイエンス実践教育を展開しています。また、さらに発展的な学修の機会として学部ごとに「『正解のない問い』に挑むデータサイエンス教育プログラム(応用基礎)」も設置しています。



「『正解のない問い』に挑むデータサイエンス教育プログラム」は、数理的思考力などを体系的に学ぶ教育プログラムとして、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に認定されています。



社会とデータ科学の基礎 (全学年必修科目)



調査の方法論やデータサイエンス・AIの応用事例を通してデータを構築したり、データの特性に応じた適切な分析を行ったりするために必要なデータサイエンスの考え方やスキルを学びます。

質的・量的調査の基礎を学修できるほか、学生の専門分野に応じて各学部で数理・データサイエンス・AIの応用事例に関する講義を開講しています。

データ分析入門 (全学年選択科目)



科学的方法の基本原則を学んだ上で、実際に自分で福島県に関するデータなどを用いてデータを可視化・分析します。Excelなどの表計算ソフト・統計ソフトを用いてデータの集計や加工の練習を行うとともに、演習形式で調査やデータ分析について経験的に学びます。また、質的・量的データの扱い方、データの代表値や2つの変数の関係の分析といった統計分析の第一歩となる基本事項についても学修します。

データサイエンス実践演習 (2・3・4年選択科目)



データサイエンティストに求められる基礎スキルとビジネス現場でのデータサイエンス・AIの活用事例を学び、データ分析を活用した政策への課題解決・提言の一連の流れを経験し、理解を深める授業です。

福島県内の自治体から実際のデータを提供していただき、地域の課題解決に向けた一連のプロセスをプロジェクト型学習の形で学びます。

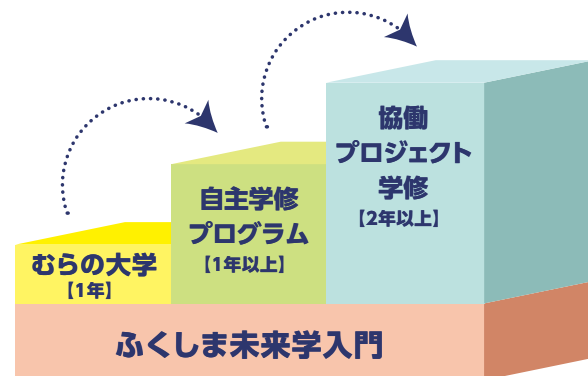


上記以外にも、データから地域を学べる多彩な科目を開講しています。学生それぞれの関心に応じた多様な科目を、地域における実践を重視した内容で展開していきます。

- 福島の地域データ (全学年・前期)
- 地方と若者 (全学年・前期)
- EBPM入門 (2年以上・前期)
- 地域課題とビジネス (2年以上・前期)
- 地域課題と探究指導 (2年以上・夏季集中)

地域実践教育

福島大学では、地域に根ざしたプロジェクト学習を体験できる地域実践教育を数多く用意しています。多彩な視点で福島の「いま」と「これから」を学ぶ講義「ふくしま未来学入門Ⅰ・Ⅱ」では、基礎を幅広く学ぶことができます。より実践的な力を身につけたい学生は、フィールドワークを中心とした「むらの大学Ⅰ・Ⅱ」や「自主学修プログラム」「協働プロジェクト学修」などを受講することで、地域課題に主体的に取り組む力を修得できます。いずれも全ての学部から受講できます。



ふくしま未来学入門Ⅰ・Ⅱ

選択科目

ふくしま未来学入門は、東日本大震災と福島第一原発事故が地域の人々におよぼした影響や、復興に向けた取り組みについて学ぶ講義です。

文理を超えた教授陣によるオムニバス講義「ふくしま未来学入門Ⅰ」では、学問知が実践知としてどう活用されているかを学びます。復興の現場で活躍されている方々を講師としてお招きする「ふくしま未来学入門Ⅱ」では、多様なテーマ・視点を通して地域再生の歩みの一端に触れることで、課題解決型の思考を養います。

ふくしま未来学入門で学ぶ基礎知識は、現地へ実際に足を運びフィールドワークなどを行う際の重要な土台となります。

南相馬市とジェンダーの課題



「ふくしま未来学」への招待①

ふくしま未来学入門Ⅰ 第1回・ガイダンス



かつて双葉町中心部に掲げられていた「原子力 明るい未来の エネルギー」の看板の写真 (東日本大震災・原子力災害伝承館)



授業だけが学びじゃない！ 地域の現状を知る日帰りスタディツアー

みらいバス

地域と大学をつなぐ「みらいバス」は、学生・教職員を対象とした日帰りのスタディツアーです(参加費は原則無料)。授業以外で地域を訪問するきっかけをつくるため、年間10回程度実施しています。被災地域の訪問・見学やボランティア活動を通じ、それぞれの地域の現状を学びます。

主な行き先

- 東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉郡双葉町)
 - 震災遺構浪江町立請戸小学校(双葉郡浪江町)
 - 大野駅および周辺市街地、中間貯蔵施設(双葉郡大熊町)
- など



むらの大学Ⅰ・Ⅱ

1年選択科目

震災と原発事故により避難を余儀なくされ、復興と地域再生に取り組む地域(川内村・南相馬市小高区・大熊町・飯館村)にくりかえし訪れ、地域住民の方々へのインタビューや交流を行うフィールドワーク型の授業です。

前期には現地を実際に訪れ地域について学ぶ「むらの大学Ⅰ」が、後期には住民の方々へインタビューして生活史を編む「むらの大学Ⅱ」が開講されます。

主な活動

- ◆ 住民の方々からお話を伺い、記録に残すアーカイブ活動
- ◆ 地域イベントのお手伝い



むらの大学アーカイブ

「むらの大学」の授業で、学生たちは地域住民の方にインタビューを行い、記録をまとめた小冊子を作成します。原稿の編集作業や追加取材、ご本人への確認なども全て学生たちの手で実施します。

インタビュー全文はホームページにアーカイブとして公開しています。



詳しくはこちら



自主学修プログラム

全学年選択科目

学生が被災地で課題を発見し、自主的に復興に取り組むプロジェクト学修です。文系・理系の全学部が1つのキャンパスに集まる総合大学の強みを活かし、異なる専門性を持つ学生と協働しながら課題解決を図ることで、実践的な力を身につけます。

主な活動

- ◆ 地域に根差した持続可能な農業のあり方を考える
 - ◆ 祭礼やイベントの支援活動とアンケート分析
 - ◆ 地域の子ども食堂の運営サポート
- など



協働プロジェクト学修

2・3・4年選択科目

担当教員がフィールド(川内村、大熊町、南相馬市、飯館村など)と課題を設定し、指導や助言を適宜与えながら、学生たちが自主的に被災地の復興プロジェクトに取り組むプロジェクト学修です。学部の枠を超えた「活動を通じた学び(サービス・ラーニング)」により、専門性や地域問題の解決能力、他の専門性を有するメンバーとの協働力・学際性などを養います。

プロジェクト例

- ◆ 地域の特産品を使った六次化商品の開発
 - ◆ 福島を世界とつなげる！ Fブリッジプログラム
 - ◆ 除染土処分に関する学生ワークショップ開催
 - ◆ 避難を経験した地域の教育環境を考える
- など



きょう そう ち

共創知教育

▶ 福島大学が目指す「正解のない学び」

大学で学ぶことの意味って、何でしょう？

- 大好きな宇宙について知りたい！
- 日本の古典文学を深く読み取りたい！
- 会計士の資格を取って、あるいは教師の免許を取って、働きたい！

いろいろな期待を持ってみなさんは大学に進学したいと思っていますし、そのどれも大事な意味があります。

学んで「わかる」という経験は楽しいことです。専門について深く学びたい、というのは大事なことです。また、大学に来ないと取得できない資格や免許を取得する、というのみなさんの目指す進路の実現にとって必要なことです。

大学には近年、それに加えて、「社会の課題を解決する」人材を養成する、ということが期待されるようになってきました。たとえば環境問題など、地球規模から地域までの多様なレベルで複雑化・深刻化している課題を見つけ出し、それを解決するための学問の力が必要とされています。今は高校でも探究活動が活発化していますから、それを思い出してもらえればイメージしやすいかもしれません。

福島大学は、課題を発見し、社会と協働してそれを解決することを目指すことを大学での学修の目的とし、

「正解のない問い」に挑む力を育てる！

ことをスローガンとしています。

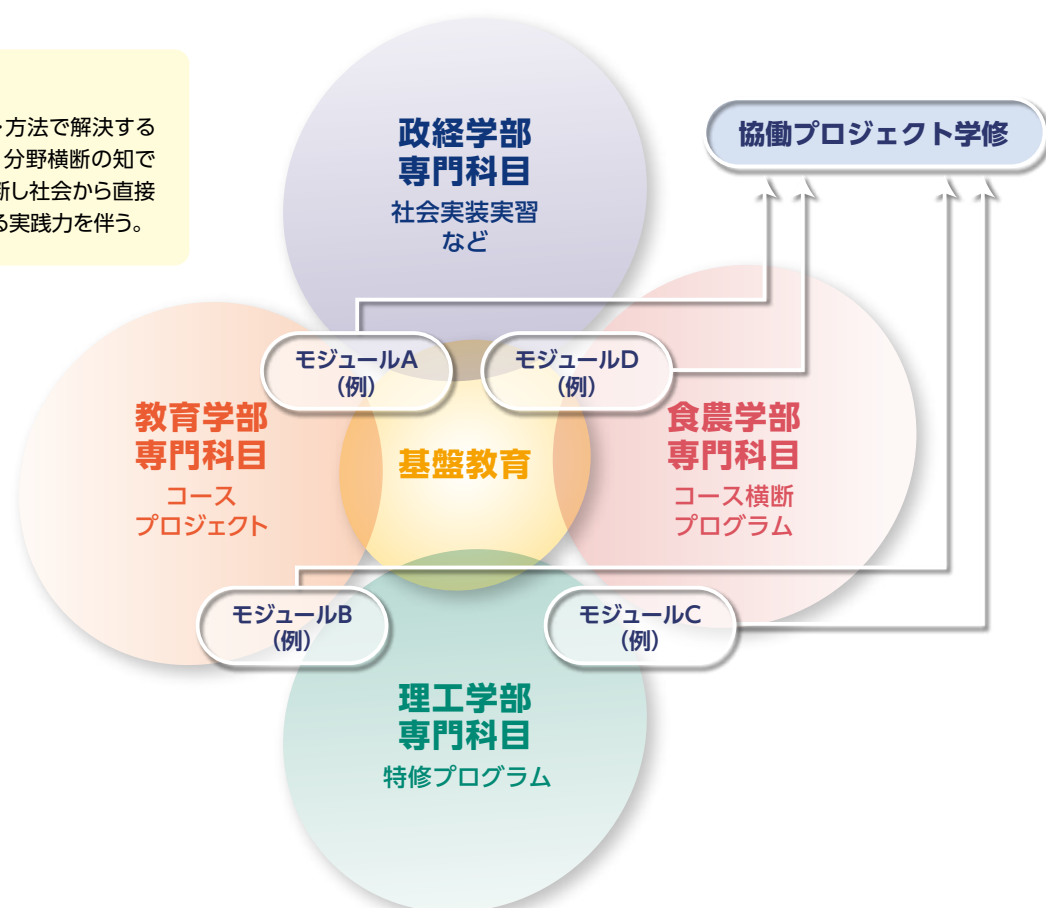
▶ 専門教育と共創知教育

大学のカリキュラムには、大学での学びの基礎となる「基盤教育」と学部での「専門教育」がありますが、前の項で説明した内容を追究するために、基盤教育や専門教育に重なる形で、あるいははみ出す形で、「共創知教育」を設定しました。

社会課題を解決するためには、さまざま異なる専門についての学問的知見が必要な場合が多いと考えられます。それに対応し、複数の学問領域にわたる学びを行うカリキュラムを設定したのがこの共創知教育です。

【共創知とは】

課題を多様な視点・方法で解決するための、文理融合、分野横断の知であり、学内外を縦断し社会から直接学び直接働きかける実践力を伴う。



▶ 学部における共創知教育

まず、学部の中で系やコースなどの専門教育を横断する形で「共創知教育」が組み込まれています。これらは学部によって卒業のための単位に組み込まれている場合（必修）も、そうでない場合（選択）もあります。学部ごとに示すと次のようになります。

教育学部

(仮称)

「コースプロジェクト」で行われる探究的な学びがそれにあたります。



政経学部

(仮称)

「社会実装実習」によるコース横断的な学びがそれにあたります。



理工学部

(仮称)

3つの特修プログラムがコース横断的に履修できます。



食農学部

(仮称)

6つのコース横断プログラムによる融合的な学びがそれにあたります。



▶ 学部を越えた共創知教育 (モジュールと協働プロジェクト学修)

現代社会に必要な問題意識や知識、技術に関わる授業を、各学部の専門科目や基盤教育科目にまたがるかたちで複数セットした科目群（モジュールと呼びます）を履修することによって、「+αの専門性」を身につけることができる仕組みを作っています。

8単位程度のモジュールが多く設定されていますから、興味にあうものをぜひ探してみてください。履修した単位は、それぞれ、専門教育や基盤教育、あるいは自由選択科目にカウントすることができますので、卒業に必要な単位数（124単位）に含めることが可能です（履修の仕方によっては124単位を超えることがあります。また、卒業のための履修基準表のどこに

位置付くかは一人ひとりで異なりますから、注意が必要です）。モジュールを履修すれば「デジタルバッジ」が発行されます。就職活動などで対外的な証明に利用できます。

また、モジュールを履修した上で、さらにその知識や技術を社会に応用してみたい、と考えることもあるかもしれません。そのような場合は「協働プロジェクト学修」に発展させることができます。担当教員が呼びかける場合もあれば、学生が主体的に作っていくことも可能な仕組みになっています（その場合も担当教員はつきます）。社会の実際の課題を発見し、その解決に取り組み、大学での発表会でその成果を披露してもらいます。

国際交流

福島大学は、地域に根ざしたグローバル教育を推進しています。
多彩な国際交流で異文化理解を育む機会を提供するとともに、語学力強化のための先進的な取り組みを展開しており、
変化する世界に主体的に挑戦し、新たな可能性を切り拓く人材の育成に努めています。



バディ制度

期間／数日～6カ月程度

海外に留学してみたいけど不安がある。身近な場所で語学力を試したい。そんな皆さんが活躍できるよう、福島大学には外国人留学生のサポートをする「バディ制度」があります。バディ（友人）として留学生と関わることで、彼らの文化を直接感じ、福島にしながら異文化交流ができます。グローバル人材へのファーストステップとして貴重な経験となることでしょう。



バディの活動例

- 1 渡日前後のサポート**
福島駅での出迎えをはじめ、市役所や銀行などの手続きのサポートを行います。
- 2 大学生活のサポート**
キャンパスの案内や履修相談など、留学生生活を楽しく過ごすためのお手伝いをします。
- 3 良き友人として**
お互いの言語を学び合ったりする中で、福島や日本の良さを伝えます。

交換留学

期間／半年または1年

福島大学では大学間交流協定に基づき、海外の38大学と学生交流協定を締結しています。「交換留学」とは協定締結大学への長期留学で、福島大学のみに学費を納めるだけで海外の協定締結大学で学ぶことができます。国際交流センターが留学先との調整役を務めるので、留学の準備から留学中の相談、帰国後の単位の互換まで、さまざまな手続きも安心して行うことができます。



短期研修

期間／10日～5週間

夏季または春季短期研修では、海外の協定締結大学で語学を学びつつ、フィールドワークや文化体験にも参加できます。韓国、中国、台湾、カナダ、オーストラリア等での語学研修など、多彩なプログラムが用意されています。



交換留学 経験者の声

留学を通してどんなことにも挑戦できる
自分の人生の可能性に気づきました



経済経営学類
経済コース 4年
すうい
徐 耐さん
埼玉県立春日部女子高等学校出身

- ▶ 留学先／ルール大学ボーフム【ドイツ】
- ▶ 期間／2025年9月～2026年2月（半年間）

私が留学したルール大学ボーフムは、留学生向けの講義もあり、寮への斡旋もあるなどサポート体制が充実しています。ドイツ語の他に英語で行われる講義もあり、私はそれを受講しました。4年次後期からの交換留学では、福島大学で卒業に必要な単位はほとんど満たしていたため、自分の興味や関心に合わせて、受けた講義を中心に履修することができました。単位取得の難易度は高く、留学生だけでなく一般のドイツ人学生も、講義に真剣に取り組んでいるのがよい刺激になりました。また、福島大学と同じようにバディ制度があり、町の案内などのサポートをしてくれたのが心強かったです。中でもいろいろな町のクリスマスマーケットを訪れたのは、よい思い出になりました。

留学前は「こうしなければならない」という固定観念が自分の中にありましたが、留学を通して「意見の違いは当たり前」「常にオープンマインドでいることが大事」ということを実感し、新しいことに挑戦するハードルが下がったと感じています。これから就職という節目を迎えますが、自分がどうしたいかを大切に、今後の自分の人生を歩んでいきたいと思っています。



ドルトムントのクリスマスマーケット。5階建てのビルと同じ高さというツリーに圧倒されました



ヨーロッパ留学生団体「エラスムス」が主催するベルギー旅行では、差別に反対するデモ行進に参加しました

短期語学研修 経験者の声

楽しく有意義だった語学研修
学びと経験を次の留学に活かしたい



人間発達文化学類
人文科学コース 3年
小林 詞音さん
宮城県宮城第一高等学校出身

- ▶ 留学先／マクマスター大学【カナダ】
- ▶ 期間／2025年8月9日～2025年8月23日（2週間）

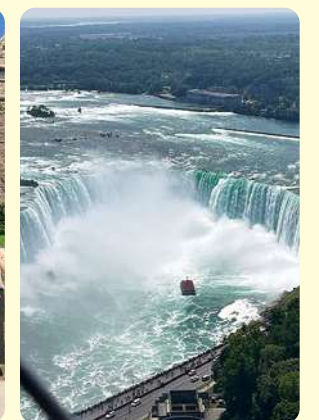
大学の夏休みを利用してカナダのマクマスター大学に語学研修に行きました。研修には日本と中国から3大学が参加し、総勢30名ほどで大学が用意したプログラムに沿って学びました。

平日のプログラムは大学内での英語の講義です。午前中は文法を学び、午後は討論やゲームなどでコミュニケーションを育みます。最初はネイティブ相手に自分の英語が通じるのか不安でしたが、伝わると嬉しくて、どんどん話するのが楽しくなっていました。休日はマクマスター大学の学生が、ナイアガラの滝などの観光名所を案内してくれ、最高の思い出となりました。

海外で英語を話すのは、日本で勉強するのは全然違います。私は研修を通じて、英語が通じる喜びを感じましたが、同時に瞬時に英語を発する力が足りないことを痛感しました。今は、在学中の留学を視野に、英語でニュースを聞いたり、福島大学で学ぶ留学生のバディとして積極的に会話をしたりして、英語力を磨いているところです。海外での生活は不安もありますが、日本と外国との学びの違いなど、これからもたくさんのかことを吸収できたらと考えています。



先生方と撮影した記念の一枚。最終日には卒業証書授与があり、先生方がパーティーを開いてくれました



実際に見たナイアガラの滝は迫力満点。水しぶきでびしょになったのも、今ではよい思い出です

※所属・学年は取材当時のものです



奨学金制度について

福島大学には経済的な負担軽減を目的とした給付型の奨学金制度が準備されています。これまで、交換留学、短期研修、海外インターンシップに参加した多くの学生が奨学金を受給しました。

詳しくは、
国際交流センターに
お問い合わせください！

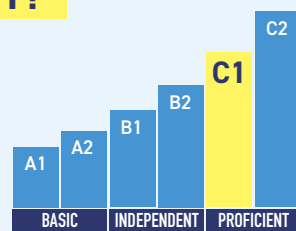
C1 Project

英語圏への交換留学などをを目指す学生に求められるのが、IELTS™やTOEFL®などの語学試験で目標スコアをクリアすることです。国際交流センターが提供する「C1 Project」は、語学試験対策の専門家によるきめ細かな受験指導に人気が集まっています。

C1 Project では、CEFR C1 レベルの語学スコア取得を目標に、英語圏の大学や大学院での学修と研究に必要な4技能をバランス良く伸ばすことができます。

What is C1?

CEFR (セファール) *は語学力の国際基準で、外国語の熟達度を6つのレベルに分けて評価しています。C1は上から2番目に高いレベルで、熟練した言語使用者として分類されており、就職、大学院進学など、英語圏で問題なく活躍できる目安となっています。



* Common European Framework of Reference for Languages

Special Features

● TOEFL ITP®で学修成果の可視化 (年2回)

● 発音重視

発音 (音読) にフォーカスした語彙力の強化を実感し、リスニングとアウトプットの素地を作ります。

● 日本語の使用

通訳訓練法を用いた指導のため、徹底的に日本語を使います。日本語との比較を通して英語を分析的に理解するとともに、言い換えや要約の力を高め、論理的で中身のあるアウトプットを実現します。



納得ゆえの主体性で自分の「限界を突破」しよう

自主学修プログラム

刺激と気づきに満ちた学びあいの場で、学年・専攻・国籍・習熟度の異なる仲間たちとともに、英語学習の頂点に挑みます。

1 年次 Academic English Literacy

大学で英語を学ぶ必要があるのか？あるとすれば、何を指し、どのようなアプローチを取るべきなのか？まずは、そこから考えてみましょう。日本語を含む言語間の比較を通して、主体的な外国語学習に必要な「音韻・語彙・文法」の感性を磨きましょう。

2 年次 Path to CEFR C1

Path to CEFR C1 (前期・後期6科目)を1年間集中的に履修することで、英検1級レベルへスキルアップすることが可能です。

【履修要件】
原則としてAELまたは自主学修プログラム履修済みの方

最短
2年次に
C1達成

3 年次 無限大の可能性への挑戦

3年次より、高い英語力を武器に広い視野に立ち、各自の専門性の向上に邁進することができます。

and/or

英語学習で得られた自信と感受性をベースに言語間の共通点と相違点を比較しながら、中国語やドイツ語、スペイン語など、多言語のマスターを目指します。

イベント

英語学習以外にも、留学経験者による体験談、福島大学に留学中の学生による出身大学・自国文化の紹介、留学に関する情報提供などを行っています。また、ゲストスピーカーによる講演会も開催しています。

新入学生 インタビュー

経済経営学類
1年
藤澤 美妃さん
盛岡中央高等学校出身



進学の決め手はC1 Project。充実した英語教育が魅力です！

私は高校生の時にC1 Projectの存在を知り、福島大学への進学を決めました。経済経営学類の推薦入試では「外国語に関する優れた資格」という規定があったため、勉強を重ねて英検準1級を取得し、大学にも無事合格。念願だったC1 Projectの講義に参加することができました。福島大学ではまだ1年次でC1を達成した学生がいないと聞いていたので、それを目標に今後も英語力を磨いていきたいです。

※所属・学年は取材当時のものです

「フクシマ」を世界に発信

Fukushima Ambassadors Program



福島大学では、学生交流協定校から短期間留学生を招き、福島県内各地に赴いて地域住民や学生等との交流を行うことにより、震災後の福島のことと魅力を伝えるフィールドワークプログラムを行っています。

2012年にスタートした本プログラムでは、これまでにのべ700人以上の福島大学生が世界各国の留学生と共に、福島の「過去」「現在」「未来」について学んできました。

震災経験者の講話、福島第一原子力発電所の視察、研究所や農地などでの実地研修、地域の復興を支援する体験活動など、多面的・多角的かつアクティブなアプローチで参加者の理解を深めます。

本プログラムに参加することで、留学生をサポートしながら、福島のアmbassadorとなり、世界からみた福島のイメージ変革にも貢献できます。学内にいながらできるプチ留学体験ですので、ぜひ参加してみてください。



こんな学生にオススメです

- 国際交流に興味がある学生
- 将来、留学を考えている学生
- 英語でコミュニケーションをとってみたい学生
- 福島の魅力や現状を世界に発信したい学生

集中講義を履修して参加するほか、一部はボランティアとして参加することが可能です。履修生には、B2レベル以上 (IELTS 5.5以上) を推奨しています。



プログラム内容 (スケジュール例)

- DAY1 大学でのオリエンテーション
- DAY2-5 震災と復興について理解を深める
- DAY6-7 地域住民との交流 (ホームステイ)
- DAY8 復興の現実を知り課題解決へ
- DAY9 クロージングセッション



Fukushima University International Center

国際交流センター

平日9:00 ~ 12:30 / 13:30 ~ 17:00



福島大学国際交流センターは、国際交流の窓口として学生の皆さんのサポートや、情報発信を行っています。ここでは、本学と学術・学生交流協定を締結している大学の情報や、留学の報告書などを閲覧することもできます。また、留学や語学学習に関する図書の貸出や、希望者には語学試験対策も提供しています。留学に関わる生活や学習の相談、在留資格、地域のイベント案内、手続きなども確認することができます。



学びと未来のフローチャート

学部名やコース等は、いずれも予定であり、変更が生じる可能性があります。
今後、文部科学省関係者と調整の上、令和8年度に文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定です。
なお、予定は審査結果によって確定するものであり、変更の可能性があります。

COURSE INDEX

- 「探求的な学び」で子どもを育む教員になりたい
- 地域の子どもたちとリアルに関わりたい
- 教育を通して地域課題を解決したい
- 国際的な視野を養いたい

探究力を備えた
“学びを創る”人材を育成

教育学部

学校教育教員養成課程 (仮称)
Faculty of Education

- コース
- 地域課題探究コース
 - グローバル探究コース
 - STEAM教育コース
 - 教育臨床コース
 - インクルーシブ教育コース

学びのキーワード

学校教員	健康
心理学	教育
発達支援	数学
言語・歴史・文化	地域貢献
自然科学	

想定される
将来の活躍フィールド

- 小学校教員
- 中学校教員
- 高等学校教員
- 特別支援学校教員
- 大学院進学

など

詳しくは
P27

※教員免許取得が卒業要件になります。詳しくはP31をご覧ください。

- 地域産業にイノベーションをもたらしたい
- 公務員として地域のために働きたい
- Well-beingな地域づくりに貢献したい
- 地域経済を元気にしたい

暮らし働くための知恵、他者への想像力、
批判の知性を磨こう

政経学部

政経学科 (仮称)
Faculty of Economics and Social Sciences

- コース
- 産業・地域社会
イノベーションコース
 - 経済経営コース
 - 公共政策デザインコース

学びのキーワード

地域問題	地方行政
まちづくり	震災復興
地域活性化	会計エキスパート
社会福祉	法エキスパート
法律	経済理論
自治	経営
社会実装	地域経済
データ分析	ファイナンス

想定される
将来の活躍フィールド

- 公務員
- 司法書士・行政書士
- 会計士・税理士
- 法人職員
- 金融機関
- 商社
- コンサルタント
- 経営者
- 商業高校等教員
- 鉄道・航空・観光

など

詳しくは
P37

- 情報の専門家になりたい
- 科学技術の面から復興に貢献したい
- エネルギー問題を解決したい
- 技術革新で地域の課題を解決したい

地域の未来をひらく
「科学と技術」を身につける

理工学部

共生システム理工学科 (仮称)
Faculty of Science and Engineering

- コース
- 情報理工学コース
 - メカトロニクスコース
 - 分子デザイン科学コース
 - 環境システムコース

学びのキーワード

情報・経営工学	再生可能エネルギー
ソフトウェア	水素エネルギー
ロボット	省エネ・創エネ・蓄エネ
物理・機械・電気	生態学
生体・メカトロニクス	生物保全
生理学	地球科学
心と脳	地球温暖化
化学	気候変動緩和策・適応策
先端材料	放射線科学
新素材開発	

想定される
将来の活躍フィールド

- 情報通信・ソフトウェア
関連企業
- 製造業
- 電機・自動車関連企業
- 医療関連企業
- 化学・エネルギー関連企業
- 水・環境・防災・建設関連企業
- 環境・建設コンサルタント
- 公務員

など

詳しくは
P49

- 持続可能な最新農業を学びたい
- 食と農の課題解決に貢献したい
- 地域の農業や農村を守りたい
- 食と健康について学びたい

「土・水」から「食卓・社会」まで、
未来の食と農を拓く人材を育成

食農学部

食農学科 (仮称)
Faculty of Food and Agricultural Sciences

- コース
- 食品科学コース
 - 農業科学コース
 - フィールド環境学コース
 - 農業経営学コース

学びのキーワード

食品加工	農業被害管理
栄養	稲作
発酵・醸造	農業経営・農業経済
地域の食の伝統	地域農村社会
作物栽培	森林・農地・水環境
農業生産	里山管理

想定される
将来の活躍フィールド

- 地方公務員
(農業技術系専門職・行政職)
- 国家公務員(総合職・一般職)
- 高校教員(農業)
- JAグループ、森林組合、
飼料メーカー
- 食品関連企業、金融機関、
IT・通信関連企業
- 建設コンサルタント、
環境コンサルタント
- 農業生産法人、就農
- 大学院進学

など

詳しくは
P59



教育学部

定員 235 名

学校教育教員養成課程（仮称）

【系】国語 / 社会科 / 算数・数学 / 理科 / 保健体育 / 英語 / 心理・表現

【コース】

- 地域課題探究コース
- 教育臨床コース
- グローバル探究コース
- インクルーシブ教育コース
- STEAM 教育コース



探究力を備えた“学びを創る”人材を育成

「教育×未来志向×地域」のキーワードのもと、「福島ならではの教育」を実現できる教員を目指します。専門的かつ学際的・探究的な学びを深め、社会・地域に学び、未来を創造する人を育てる教員を養成します。

身につける能力

- 各教科の学びや教職に関する専門性と実践力
- 時代に相応しい学びのリーダーとして、学校教育や生徒指導に関わる力
- 未来志向の探究的な学びの実現に向けて学び続ける力
- 協働を通してさまざまな課題の解決をはかり、学校教育を支える力

学類長メッセージ

“クロス型の学び”によって 福島ならではの教員に

教育学部は、「教育×未来志向×地域」をキーワードに、社会や地域の課題から学び、未来をつくる人を育てます。子どもたちとともに成長し、学校を支える先生に。地域に根ざし、新しい教育を生み出す先生に——そんな姿を目指します。

学びの仕組みは「7つの系」と「5つのコース」でできています。国語、社会科、算数・数学、理科、保健体育、英語、心理・表現の7つの系で専門を深め、地域課題探究、グローバル探究、STEAM教育、教育臨床、インクルーシブ教育の5つのコースで、分野を超えて探究に挑みます。この“クロス型の学び”によって、理論と実践を往復しながら、「福島ならではの教育」を築いていきます。

私たちは、こんな人を歓迎します。

- ・教育の今と未来を自分の手で変えてみたい人
- ・仲間と力を合わせて課題に挑みたい人
- ・先生として、人として成長し続けたい人

教育の力で、地域を、福島を、そして日本の未来を支えたい——そんな思いをもつあなたを、私たちは心から歓迎します。



人間発達文化学類長 牧田 実 教授

教育学部の 特色

各教科の学びを深める

系の学び

教育学部は7つの系と5つのコースをクロスさせたカリキュラムになっています。入学時に国語系、社会科系、算数・数学系、理科系、保健体育系、英語系、心理・表現系の7つの系のいずれかに所属します。小学校教員免許は、どの系でも取得することができます。心理・表現系以外の6つの系では、各教科の中学校の教員免許も取得することができます。また、必要な単位を積み増すことで、高等学校の教員免許（国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語、保健体育）を取得することができます。



分野横断的な探究を深める

コースの学び

コースは地域課題探究、グローバル探究、STEAM教育、教育臨床、インクルーシブ教育の5つがあり、1年次後期にいずれかのコースを選択します。コースは分野横断的な現代的教育課題に対応しています。課題についての理解を深め、探究的な学びを行います。1年次後期の「探究入門」で準備を進めたのち、2年次の「探究プロジェクトI・II」を通して、プロジェクト型の学びを主体的・協働的に進めます。3～4年次の卒業研究では探究を深める〈探究型〉と、専門性を深める〈専門型〉を選択できます。



さらに専門性を高める

チャレンジプログラム

意欲のある学生が登録できるチャレンジプログラム（ChP）を用意しています。特別支援教育、公認心理師、情報教育、学芸員の4つのプログラムがあり、1年次後期に登録します。特別支援教育ChPでは特別支援学校教諭免許、公認心理師ChPでは公認心理師受験資格、情報教育ChPでは高等学校情報科の教員免許、学芸員ChPでは学芸員の資格を、それぞれ取得できます。登録可能な人数に限りがあるため、登録の際に選抜を行うことがあります。公認心理師ChPには心理・表現系の学生のみ登録可能です。



学びを
未来へと進化させよう！

学生に聞く

～ゼミを通して学んだこととは～

人間発達文化学類 3年
小林 瑞穂 さん

将来は小学校の教員となり、国語科教育に力を入れたいと考えこのゼミに入りました。ゼミでは先生や先輩の研究に触れるなかで、国語の指導法の奥深さを知り、研究することの面白さに気づきました。志を同じくする先輩や同級生と議論し、共に学びを深め合うのは、日々刺激があります。また、ゼミ出身の卒業生はもちろん、現役の教員の方とも日頃から交流があり、学校訪問など現場で学ぶ機会も多くあるため、教育現場の実状を知ることができます。理論だけでなく実践的な知識も得ることができるのがうれしいです。

国語を学ぶ楽しさは、子どもたちに伝染する

教員に聞く

～ゼミで学ぶ意義とは～

人間発達文化学類 佐藤 佐敏 教授

研究分野 国語科教育学・教育実践学・学習指導論

私の研究室では、国語科教育についての研究を行っています。学生のささやかな「なぜ？」という問いが、教育の未来を明るく照らすことがあります。学生の研究が教科書の題材になったことがあったのです。興味のある研究に没頭できるゼミは、最も大学生らしい学生生活を送れる場だと思います。私のゼミに限りませんが、学生たちには研究の奥深さや楽しさを感じてほしいと思います。教育現場では、国語を楽しんでいるその情熱こそが、教師になった時に子どもたちの心を動かす、一番の力になると私は信じています。

1年次から系で教職の基礎や教科等の専門性を学び、
2年次からはコースに分かれて探究的な学びを実践する
効率的なカリキュラム

1年次に7つの「系」(国語、社会科、算数・数学、理科、保健体育、英語、心理・表現)に分かれて、各教科の専門的な内容と教員になるための学びを学修します。2年次からはコースに分かれ、チームごとに協力して探究プロジェクトに取り組むことで、学校現場で注目されている「探究的な学び」を実践します。少ない単位数で複数の教員免許が取得できる効率的なカリキュラムです。

※教員免許取得が卒業要件になります。詳しくはP31をご覧ください。



取得学士号	学士(教育学)
取得できる 免許・資格	■小学校教諭一種・二種免許状 ■中学校教諭一種・二種免許状 (国語・社会・数学・理科 ※1・保健体育・英語) ■高等学校教諭一種免許状 (国語・地理歴史・公民・数学・理科 ※1・保健体育・英語・情報 ※2) ■特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者) ※3 ■公認心理師受験資格 ※4 ■学芸員 ※5 ■社会教育士 ■社会福祉主事(任用資格) ※6 ※1 中学校(理科)・高等学校(理科)の免許は課程認定申請中。(ただし、文科省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。) ※2 高等学校(情報)の免許は、「情報教育チャレンジプログラム」に登録し、理工学部開講の必要科目等を履修することで取得できます。 ※3 「特別支援教育チャレンジプログラム」に登録し、必要な科目を履修することで取得できます。特別支援学校での実習などが必要です。 ※4 「公認心理師チャレンジプログラム(心理・表現系のみ登録可能)」に登録し、必要な科目を履修することで取得できます。公認心理師の実習先の受け入れ可能数を超える志望者がいた場合には選考することがあります。また、最終的な受験資格取得のためには、大学卒業後に大学院への進学または認定施設での実務経験が必要となります。 ※5 「学芸員チャレンジプログラム」に登録し、必要な科目を履修することで取得できます。 ※6 必要単位を修得し、卒業後、地方公務員として任用され、福祉事務所などの部署に配属される必要があります。

		1年次		2年次		3年次		4年次	
学びの目標		■教育に関する基本的なことを学び、教育現場に慣れる。 ■自身の専門分野の基礎を学ぶ。		■指導法・教育法について学ぶ。専門の学びを進めると同時に、分野横断的な探究活動を行う。		■学校現場での実践等を通し、教育力を身につける。 ■卒業研究の方向性と内容を定め、研究を開始する。		■教員に相応しい実践力を身につける。 ■学びの集大成として卒業研究を完成する。	
		第1 Semester	第2 Semester	第3 Semester	第4 Semester	第5 Semester	第6 Semester	第7 Semester	第8 Semester
専門教育	コース科目	教職課程 スタートアップセミナー (基盤教育科目)		探究入門		探究プロジェクト コースプログラム (コース基礎科目・コース選択科目ほか)		・チャレンジプログラム	
	系専門科目								
		教職に関する科目							
		教科に関する科目							
		心理・表現関連科目 (心理・表現系)							
教育実習		学校体験活動Ⅰ				教育実習Ⅰ		※高等学校免許取得やチャレンジプログラム修了には追加の実習が必要	
						学校体験活動Ⅱ		いずれかを選択 教育実習Ⅱ	
卒業研究科目						探究型 応用探究演習 探究型か専門型のいずれかを選択		実践報告書	
						専門型 卒業研究演習		卒業論文	

基盤教育	アカデミックスキルズ	スタートアップセミナーⅠ・Ⅱ 社会とデータ科学の基礎
	ライフマネジメント	キャリア形成科目／健康・運動科目／キャリア設計科目
	外国語	英語Ⅰ・Ⅱ／英語以外の外国語初級／英語以外の外国語発展
	教養	地域課題に取り組む／データに基づいて考える／多様な視点から考える／普遍的価値を知る

アドバイザー教員

学修や進路など大学生活全般の
アドバイスをを行います。
下記の担当教員をアドバイザーとする
小集団教育を行います。

1年次～2年次カリキュラムアドバイザー

3年次～4年次卒業研究指導教員

自由選択	基盤教育・専門教育の各科目区分ごとに修得が定められた授業科目を超えて修得した科目 (単位)
------	---

アドバイザー教員

学修や進路など大学生活全般の
アドバイスをを行います。
下記の担当教員をアドバイザーとする
小集団教育を行います。

1年次～2年次 カリキュラムアドバイザー

3年次～4年次 卒業研究指導教員

7つの系

系では各専攻科目の専門的な学びと、教員になるための学びを修めます。卒業に必要な単位数は124単位で、必要な単位を積み増すことで「小中教員一種免許」「特別支援学校教員免許※1」「高校教員一種免許※2」「公認心理師受験資格※3」が取得可能です。「国語」「社会科」「算数・数学」「理科」「保健体育」「英語」の系では小学校と中学校の2つの教員免許（Aタイプ：「小学校一種+中学校二種」またはBタイプ：「小学校二種+中学校一種」）取得が卒業要件ですが、【総合型選抜・探究枠】はBタイプ、【学校推薦型選抜】はAタイプとなり、それ以外の入学選抜による入学者については入学時に希望を申請し、希望に基づきタイプを確定します。なお、心理・表現系はタイプに分かれておらず、小学校二種免許の取得が卒業要件となります。

※1 ※2 登録の際に選考することがあります。

※3 心理・表現系のみ登録可能。公認心理師の実習先の受け入れ可能数を超える志望者がいた場合には選考することがあります。最終的な受験資格取得のためには、大学卒業後に大学院への進学または認定施設での実務経験が必要となります。



写真提供：NPO法人カタリバ



7つの系	国語	社会科	算数・数学	理科	保健体育	英語	心理・表現
1年次							
2年次	5つのコース						
	地域課題探究コース						
	グローバル探究コース						
	STEAM教育コース						
	教育臨床コース						
	インクルーシブ教育コース						

4年間を通じた学校現場等での活動

教員免許取得に必要な教育実習は、学校現場での経験を通じて学ぶ貴重な機会です。福島大学教育学部では、学生が初年次から学校現場に触れる経験を積むこと、4年間の中で学校現場での実践と大学で学ぶ理論を結びつけて学ぶこと、学生や学校現場の多様なニーズに応えることなどから、4年間を通じた複線的な実習を行っています。

具体的には、まず1年次前期の必修講義「教職課程スタートアップセミナー」で、学校現場を参観し、教師側の目線から学校を見る経験を積みます。1年次後期から2年次にかけて、「学校体験活動Ⅰ」を

通して学校現場等を体験し、授業だけではない、子どもや学校の実態に触れます。3年次で本格的な教育実習（2週間）を行います。その後卒業までの間に、学校現場をサポートしながら実務経験や実践経験を積む「学校体験活動Ⅱ」と、特に授業実践力に磨きをかける「教育実習Ⅱ」のいずれかを選択し、学生自身の課題意識に基づく学びを深めます。

これらを通して、学校現場の中で求められる実践力や協働する力を身につけるとともに、卒業後も学び続ける素地を養います。

※高等学校・特別支援学校の教員免許や公認心理師資格等の取得のためには、この他にも実習を行う必要があります

教職に関する科目

- 教育原理
- 教育行政・学校経営論
- 特別支援教育入門
- 特別活動
- ICT活用の理論と方法
- 教育の方法・課程論
- 教育相談
- 小中国語科指導法
- 算数・数学科指導法
- 子どもとことば
- 生活の中の数と図形

ほか



各系の主な科目

国語系専門科目

- 日本語学概論
- 日本語学演習
- 日本文学概論
- 日本文学演習
- 漢文学概論
- 漢文学演習
- 書道
- 国語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

ほか

社会科系専門科目

- 日本史概説
- 外国史概説
- 地理学概説
- 政治学概説
- 経済学概説
- 倫理学概説
- 社会科・地理歴史科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 社会科・公民科教育法Ⅰ・Ⅱ

ほか

算数・数学系専門科目

- 代数学概論
- 幾何学概論
- 解析学概論
- 確率論・統計学
- コンピュータ
- 代数学Ⅰ
- 幾何学Ⅰ
- 基礎解析学Ⅰ
- 数学科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

ほか

理科系専門科目

- 物理学概論
- 化学概論
- 生物学概論
- 地学概論
- 物理学実験
- 化学実験
- 生物学実験
- 地学実験
- 理科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

ほか

保健体育系専門科目

- 器械運動
- 水泳
- スポーツ運動学
- 生涯スポーツ論
- 生理学
- 衛生学および公衆衛生学
- 学校保健
- 保健体育科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

ほか

英語系専門科目

- 英語学概論
- 英文法
- 英米文学概論
- 英文学史
- 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ
- 異文化理解
- 英語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

ほか

心理・表現系専門科目

- 心理カウンセリング
- アートの歴史Ⅰ・Ⅱ
- 音楽活動の基礎
- 表象文化論Ⅰ・Ⅱ
- 学習心理学
- 心理学概論
- 心理学統計法
- アートとケア
- メディア論
- 音楽表現の基礎Ⅰ・Ⅱ
- 生活経営学
- 臨床心理学概論
- 心理学的支援法

ほか

チャレンジプログラム科目

特別支援教育チャレンジプログラム

- 特別支援教育概論
- 知的障害者教育概論
- 肢体不自由者教育概論
- 病弱者教育概論
- 特別支援学校演習Ⅰ・Ⅱ
- 教育実習（特別支援学校）

ほか

公認心理師チャレンジプログラム

- 感情・人格心理学
- 健康・医療心理学
- 神経・生理心理学
- 心理的アセスメント
- 心理演習
- 心理実習

ほか

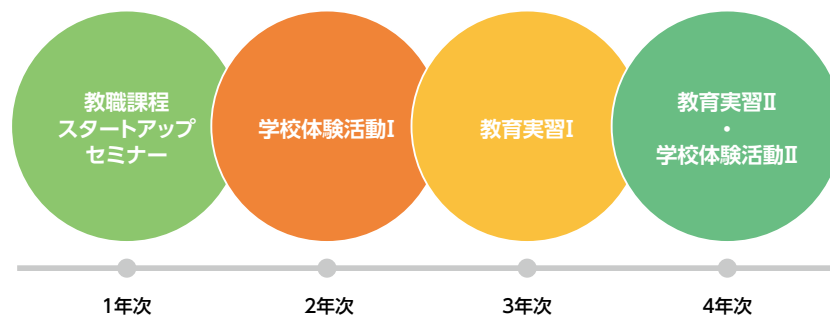
学芸員チャレンジプログラム

- 博物館教育論
- 博物館経営論
- 博物館実習

ほか

情報教育チャレンジプログラム

主に理工学部の情報の科目を履修します



5つのコース

教育学部の学生は、1年次前期に「教職課程スタートアップセミナー」を通して教育の現場を知った上で、第2セメスター科目「探究入門」において5つのテーマについて理解を深め、所属するコースを確定します。コース確定後、2年次の「探究プロジェクトⅠ・Ⅱ」から本格的な探究活動の実践に入ります。各コースには対応する教育課題について理解を深める「コース基礎科目」が用意されていて、2年次前期に受講します。また、分野横断的な知識・技能を深める「コース選択科目」は、5つのコースと緩く紐づいており、自身の興味に応じて選択できます。対応コースの学生には受講が推奨されますが、対応しないコースの学生も受講可能です。

コース選択科目 (対応コース)

- 言語と国際協働 (地域課題探究・グローバル探究)
- コミュニティ形成論 (地域課題探究・グローバル探究)
- 科学とその活用 (STEAM教育)
- 地域・スポーツ芸術 (地域課題探究・グローバル探究・STEAM教育)
- 多様性と包摂性 (グローバル探究・STEAM教育・インクルーシブ教育)
- 多様な子どものケース検討会1・2 (教育臨床・インクルーシブ教育)

地域課題探究コース

地域課題を掘り起こし、教育を通して解決を試みる

地域に入り、地域のさまざまな人々に触れて、広い視点から地域の良さを見だし、創造的な課題探究を行います。目指す教員像は、地域の人々と協働して地域や社会に開かれた創造的な学びを実現し、持続可能な社会の創り手を育成できる教員です。



コース基礎科目 | 地域課題探究基礎

教員紹介 ※2026年4月1日現在

神山 真由 (教育行政学、教育制度論)
小松 賢司 (日本近世村落史、地域社会史)
澁澤 尚 (漢文学、漢字文化、古代文学・思想・神話、本草学)
中村 洋介 (自然災害科学・防災教育)
蓮沼 哲哉 (スポーツ社会学)
初澤 敏生 (地域文化構造の調査と分析)
原野 明子 (幼児心理・保育)
半沢 康 (日本の方言の研究)
水澤 玲子 (島嶼生態学、植物の繁殖生態学)
安田 俊広 (運動生理学)

教育臨床コース

学校現場での活動を通して教師としての資質能力を身につける

さまざまな教育場で多様な子どもと実際に関わり省察する活動や、教員の仕事のサポートを通して学校現場への理解を深めます。目指す教員像は、子ども一人ひとりの学びを最大限に引き出し、主体的な学びに伴走者として寄り添うことができる教員です。



コース基礎科目 | 教育臨床基礎

教員紹介 ※2026年4月1日現在

伊藤 雅隆 (認知行動療法の効果と実践方法)
小川 宏 (体育・スポーツの意義と目的)
岸 竜馬 (臨床心理学、アタッチメント)
坂本 篤史 (授業研究、教師論)
高木 修一 (英語リーディングのメカニズムを探る・英語テストを科学する)
谷 雅泰 (日本教育史、近代学校の起源)
平中 宏典 (ICTを活用した理科教育、地域地質を活かした地学教育)
松本 健太 (体育科教育学、スポーツ教育学)
宗形 潤子 (生活科・総合における実践的研究)
和田 正樹 (解析学、確率論)

グローバル探究コース

国際的な視点で日本や諸外国の文化や生活を考える

国内外での研修・交流を核にした活動の他、地域の歴史・言語・文化を深く理解し、地域や海外へ発信します。目指す教員像は、グローバルな視野を持ち、異文化理解・多文化共生力を育むための環境を作り、それらの力を育成できる教員です。



コース基礎科目 | グローバル探究基礎

教員紹介 ※2026年4月1日現在

朝賀 俊彦 (言語の仕組みについての研究)
井貫 充史 (日本古典文学、比較文学)
今尾 滋 (音楽・オペラ)
植田 啓嗣 (教育学、比較教育学)
鍵和田 賢 (ドイツ近世史、ヨーロッパ宗教社会史)
加藤 奈保子 (西洋美術史・美学)
川田 潤 (主に英語圏の文化の研究)
高田 英和 (イギリス文学、文化研究)
高橋 由貴 (日本近代文学・比較文学)

STEAM教育コース

数学や理科、技術、アートをつないで課題を解決する

科学技術やアート思考、デザイン思考を取り入れたSTEAM教育の理解を深め発信します。目指す教員像は、子どもたちの挑戦的な探究や学習活動を支援し、創造性も含めた多様な能力を育むことができる教員です。



コース基礎科目 | STEAM教育の基礎

教員紹介 ※2026年4月1日現在

角間 陽子 (家庭科教育の研究、生活経営学)
唐島田 龍之介 (分析化学、錯体化学)
工藤 日南子 (教育工学、情報科教育)
佐藤 元樹 (理論言語学、統語論、意味論)
柴田 崇広 (代数幾何学)
杉浦 弘一 (運動と健康、スポーツ医科学)
中田 文憲 (微分幾何学、STEAM教育)
中村 恵子 (調理のコツとおいしさについて)
本嶋 良恵 (スポーツバイオメカニクス)
渡邊 晃一 (現代美術、メディア・アート、美術解剖学)

インクルーシブ教育コース

子どもたちが共に学ぶ環境をつくる

障害や異文化、心理的特性などを含めた多様性への理解、包摂的社會を実現するための教育のあり方への理解を深めます。目指す教員像は、多様な子どもたちの背景を省察し、多様性の中から生まれる価値を子どもたちと共有できる教員です。



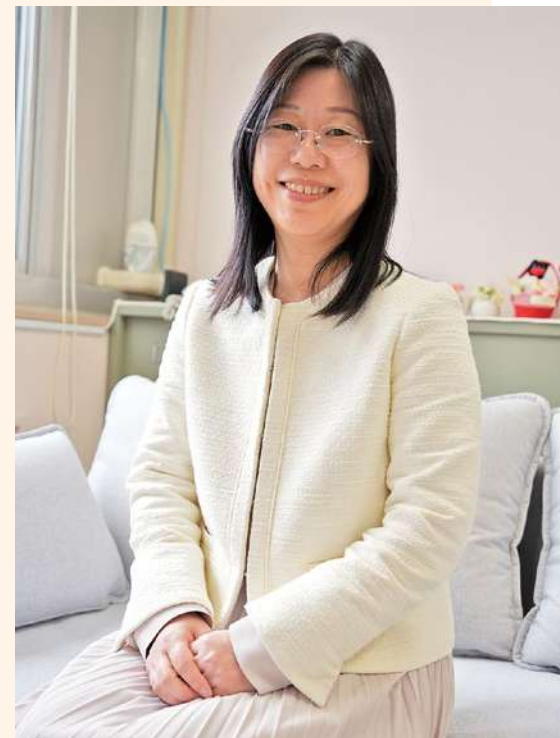
コース基礎科目 | インクルーシブ教育の基礎

教員紹介 ※2026年4月1日現在

小野原 雅夫 (近現代西洋哲学・倫理学、政治哲学、平和論)
佐藤 佐敏 (国語科教育学、学習指導論)
杉田 政夫 (音楽教育哲学、コミュニティ音楽療法の理論)
住吉 チカ (認知心理学、認知機能障害及び認知機能の発達)
高橋 純一 (能力の多様性、社会や学校における多様性の理解促進)
高谷 理恵子 (発達に影響を及ぼす諸要因の検討)
筒井 雄二 (実験心理学、災害心理学、神経科学)
森本 明 (算数・数学の授業とカリキュラムの構成に関する研究)
和田 恵 (障害児の社会的認知について)

Notable Research

子ども
の成長
を引き
出す
とこと
ん遊ば
せるこ
とで



人間発達文化学類 高谷 理恵子 教授

研究分野 発達心理学

発達心理学は、人が生まれてから死ぬまでどのように心身が変化していくかというプロセスを明らかにしていく学問です。私はその中でも乳幼児を研究しています。まだ言葉を話せない乳児でも、実はいろいろなことを考えて行動していることをご存知でしょうか。

データから分析する研究を始め、近年では乳児の動きを観察することで発達障害の有無や経過が、ある程度予測できるようになりました。その後、私が子どもを授かったことで、分析だけでなく支援できないか考えるようになり、現在は幼児期の子どもの発達支援の研究に携わっています。中心となるのは障害の有無にかかわらず、自発的に周囲と関わるのが難しい子どもに対して、遊びの環境をどう整え支援したらよいか、また保護者がどんなあり方でその子と関わったらよいかということ。不器用と思われる子も、それまで経験した遊びをベースに少しずつ新しい遊びを付け足すと、経験を積み上げ成長することができます。親は子どもの成長を支えるために、その子の好きな遊びにとことん付き合ったり、そばで見守ったりすることが大事です。今後も実践的な遊びの研究を続け、一人で悩みを抱え込みがちな現代の子育ての手助けをしていきたいです。



自然の中での遊びは多様な感覚刺激が得られ、子どもの環境適応能力を高めるといわれます



観察するだけでなく簡単なおもちゃを使った実験なども行い、乳幼児の発達を検証します



人間発達文化学類生の 1週間 & 4年間 の学びをのぞいてみよう!

専門科目は
もちろん、
教員になるため
参考になる授業を
選びました



人間発達文化学類 1年
飯塚 咲希 さん

夢中になっていること
アイドルの推し活

所属サークル
コピーダンスサークル

将来の夢
高校(社会科)の教員

	月	火	水	木	金
1	精神疾患とその治療	知的障害者の心理・生理・病理	心理的特性を理解し、適切な支援法を学びます	歴史学Ⅱ	英語AⅡ
2	英語AⅠ	日本文学概論	キャリア形成論	日本史・世界史について、3人の先生が交代で専門分野を教えてください	ふくしま未来学入門Ⅰ
3	健康運動科学実習	中国語基礎Ⅰ	プレゼンやグループワークなど、大学で学ぶスキルを身につけます	スタートアップセミナー	英文学史
4	実習でゴルフをしました			教師や警察官など復興の現場で活躍する方を招き、震災当時の体験を伺います	社会学概説
5					社会や文化が抱える問題を掘り下げて考える授業です

Comment

1年次は専門分野だけでなく、幅広い分野を学べる期間なので、積極的にいろいろなジャンルの授業を受けています。普段の生活では気づけなかった学びや視点が得られるため、見識が広がっているのを感じます。

サークル活動

私はコピーダンスサークルに入っています。K-POPを中心にダンスを練習して、学祭やサークルのオリエンテーションなどで発表しています。発表間際は忙しいときもありますが、普段は週2回で無理なく活動をしているので勉強とも両立できます。学部や学年を問わず仲が良く楽しく活動しています。



教育実習では
子どもたちへの
理解が
深まりました



人間発達文化学類 3年
見留 遥菜 さん

夢中になっていること
人間形成や教育関係の本を読む

所属サークル
なし

将来の夢
教育の道に進み、よりよい教育とは何かを考えたい

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業後
幅広い分野の講義で自分の視野を広げる	模擬授業などで専門的な学びを深める	学校で“現場の教育”を学ぶ教育実習が開始	教員採用試験と卒業研究に打ち込む1年に	教育者として子どもたちとともに成長したい
さまざまな学びを深めながら、小中学生との交流事業(自然体験学校)を実施するプロジェクトなどを通じて、自分で考えて行動することの大切さを実感しました。また、医療に関する講義なども選択して視野を広げました。	2年次は子どもたちへの指導方法を学んだり、模擬授業を行ったりと専門的な講義が多くなります。教えるには自分が正しく理解している必要があるため、学習指導要領などを用いながら、改めて各教科の勉強をします。	春から秋ごろにかけて、いよいよ教育実習がはじまります。緊張しましたが、それ以上に「実際に教育現場で学べる」というモチベーションがあったので、忙しいけれど楽しい実習になりました。ゼミには10月に入ります。	1年をかけて教員採用試験と卒業研究という大きな課題に取り組みます。大学の試験対策セミナーに参加するなど、夏の1次試験と2次試験に向けて準備を進めます。9月頃から本格的に卒業研究に取り組みます。	「子どもたちが自分らしく成長できる環境」の実現を目指して、教育者の道に進みたいと考えています。そのためには、まずは教員採用試験に合格して現場で経験を積み、子どもたちと一緒に成長できる先生になりたいです。

Comment

私は大学での学びと合わせて、インターンシップやボランティアなど、学外での活動で多くの知見を得られました。中でも、県内のいろいろな市や別の県の実験現場に触れたことは、自分の視点を広げたり、学びを深めたりすることにつながっています。

Best memory

1年次の実習で仲良くなった他コースの友達と北海道旅行を企画して、函館を巡ったことが一番の思い出です。五稜郭など日本の歴史に触れられるスポットが多く、心を動かされる体験ができました。次は海外に行きたいです。



※所属・学年は取材当時のものです

地域で活躍する先輩たち

福大発 ▶ 社会人



猪苗代町立猪苗代中学校
目黒 彩奈 さん(人間発達文化学類 2023年卒業)

大学での実践的な学びが教育の現場で役立っています

私は現在、猪苗代中学校で保健体育の教員として働いています。教員を目指したのは、高校時代に部活動の顧問の先生から、ものごとの考え方や人として大切なことを教えてもらい、感銘を受けたのがきっかけです。

福島大学では、在学中から現場で子どもたちと直接関わる機会がたくさんあり、ゼミでは子ども向けのスポーツイベントを友人と企画・運営しました。こうした実践的な学びや経験は、授業づくりだけでなく、学校行事などの運営にも活かされています。また、早い段階で教育実習を行えるカリキュラムも魅力で、実習先の中学校では生徒たちが短期間でメキメキと成長していく姿に心を動かされ、中学校の先生になりたい気持ちが強くなりました。

教員になって今年で4年目ですが、大学で培った学びや教育への熱意を忘れずに、子どもたちに少しでも気づきや学びを与えられる先生になれるよう、これからも頑張ります。



※所属は取材当時のものです

夢を芽吹かせた先輩に
聞いてみよう!



大学の学びで一番よかったところは？

教授や友だちをはじめ、さまざまな人から学びや刺激を得られたところです。福島大学は現役の先生方とのつながりが深く、模擬授業を見てアドバイスもらえる機会がありました。そこで授業のつくり方や子どもとの関わり方など、実践的な学びを深められたことは、教員になった今、現場で役立っています。

夢を叶えるためにがんばったことは？

教員採用試験に合格するための勉強をとにかく頑張りました。福島大学には授業の他に教員採用セミナーがあり、教員採用試験の面接指導などを受けることができます。そのおかげもあり、教員になることができました。福島県で教員になりたかったので、福島大学を選んで良かったです。

後輩へのメッセージをお願いします。

教員を目指す人は、高校や大学に在籍中に授業だけでなく、学校の外でもいろいろな経験を積んでください。学生でしかできないこともたくさんあります。知らない場所に行き、見たり、聞いたりして感性を磨いてください。その経験が子どもたちに思いを伝えるための豊かな財産になります。

卒業後の主な進路

- 小学校教員
- 中学校教員
- 高等学校教員など
- 特別支援学校教員
- 大学院進学



政経学部

定員 400 名

政経学科 (仮称)

- 産業・地域社会イノベーションコース
- 経済経営コース
- 公共政策デザインコース



社会実装力をもつ人材を育成

地域経済・地域社会の持続可能な発展とWell-being社会の実現に向けて、研究開発によって生まれた技術やアイデアを、実際の社会や市場の課題解決に応用して広く普及・定着させる社会実装力を持つ人材や地域社会にイノベーションをもたらす人材を育成します。

- 経済学を中心とする人文社会科学の専門知識
- エビデンスに基づく論理的思考力・課題解決力
- 文理融合によるイノベーション力
- 協働力とマネジメント力
- 社会倫理と公正性

身につける能力

政経学部設置準備室長メッセージ

〈広い経済学〉と〈社会実装力〉

行政政策学類と経済経営学類は2027年4月から統合して「政経学部」になります。行政政策学類を目指したかったひと、経済経営学類を目指したかったひと、さらにはこれまでもどちらも眼中にもなかったひとまでも、ここで学びたいと思ってもらえるような新学部。目指したのはそんな政経学部です。そのために、統合するふたつの学類の中と間で長い時間をかけて話し合い、準備を重ねてきました。

政経学部が卒業生に与える学位は「経済学士」です。これは福島大学では長い歴史と伝統をもつ学位です。福島大学の経済学経営学会計学には100年の歴史がありますけれども、旧いものに安住して時代をやり過ごそうという姿勢ではありません。他の「文系学問」を整理してしまおうというリストラでもありません。まったく違います。行政政策学類にも行政社会学部以来の40年の伝統と蓄積があります。

政経学部は「産業・地域社会イノベーションコース」「経済経営コース」「公共政策デザインコース」という3つのコースを設け、それぞれにおいて経済学、経営学、会計学、法学、社会学そして人文系の知見に学ぶことを通じて、他学部とも連携しながら、社会に働きかけることのできる人材を養成します。新しい学部があらためて選んだ古い名前の学位。そこに織り込んだコンセプト、「広い経済学」と「文理融合による社会実装力」とはこんなことです。

詳しくはこの大学案内の「政経学部」のセクションを読んでみてください。夏のオープンキャンパスにもぜひ足を運んでみてください。

「広い経済学」を謳う政経学部が提供する科目は実にヴァリエティに富んでいます。多種多様な専門をもつ研究者/教育者を揃えています。すぐに役に立ちそうな学問も、なんの役に立つのかすぐにはわからないような学問も、すべて自分を守り他者を助け社会を成り立たせるための石垣の石です。すべてに等しく価値があります。それを体感したいと思う皆さんと一緒に学びたいと願っています。



政経学部設置準備室長 熊沢 透 教授



行政政策学類

経済経営学類



地域経済・地域社会の持続可能な発展とWell-being社会の実現に貢献するため
社会実装力を持つ人材を育成

政経学部が育成する社会実装力とは

- 01 地域のさまざまな資源を有効に活用して、地域を活性化するための仕組みやサービスを実装できる力
- 02 新しく生み出される技術を多様な形で事業に活用し企業や地域経済を元気にすることができる力

社会実装力

地域資源や新しい技術を活用し、新しい価値を創造できる人材を育成

地域企業の新陳代謝をけん引、地域経済の再構築に貢献できる人材を育成

公的な視点で新しい社会の姿をデザインし、伴走することができる人材を育成

産業・地域社会イノベーションコース
(文理融合コース)

100名

経済経営コース

150名

公共政策デザインコース

150名

事例 1

村上早紀子ゼミでは地域での学びを通じた活動を行っています。2025年には福島市の「わたなべ鮮魚店」の店舗前の道路空間に設置された、地域の新しい居場所となり得る「まちのテラス」を訪問し、地域づくりの視点から活用法を検討しました。



事例 2

2025年の尹卿烈ゼミでは、中小企業の課題解決を目指し3つの視点から実践的な活動を行いました。具体的に、AI導入分野と業務内容を把握できる診断ツール開発(技術)、組織活性化の手段としての役割カード制作(組織コミュニケーション)、県内企業のCSR活動の分析(社会貢献)を行いました。



事例 3

岩崎ゼミでは、地域と大学とが協働して農山村集落の再生に取り組む域学連携活動に力を入れています。二本松市東和地域や西会津町等の集落に通って地域の方々と交流しながら、棚田や里山、農村文化を活かした地域づくりについて学んでいます。



事例 4

西田ゼミでは、地域での実践からローカル・ガバナンスを学びます。原子力災害後の浪江町幾世橋地区で住民や町役場職員とまちを歩き、災害の経験や不安、地域の気づきを引き出し、共有しながら形にしていきました。震災後に姿を変えた地域が、対話を重ねながら動き出す、その瞬間に立ち会い、異なる立場をつなぐ視点と、複雑な制度環境のもとで現実を考え抜く力を養います。



政経学部の 特色

専門的知見の幅を広げる 学際的アプローチ

社会実装に関わるさまざまな分野の基本的な知識を学びながら、他分野の人々と協力するための知見を得るとともに、他の専門領域に触れることで自らの専門領域の活用範囲を広げます。



福島県全体をフィールドにした 社会実装教育

専門科目をベースに、基礎(課題理解と知識の習得)、応用(解決策の設計)、実践の3段階の学びを4年間で積み上げます。連携する企業や自治体等をフィールドとして実践的に展開していきます。最終的な成果は、卒業時に学内外で発表します。



ディープデータを活用した データ分析教育

ビッグデータなどの数値データを利用した標準的な分析で一般的な状況を把握しつつ、地域固有の深い情報(ディープデータ)を丁寧に読み取り、地域に合わせた適切な判断ができる力を養います。



教員に聞く ～ゼミで学ぶ意義とは～

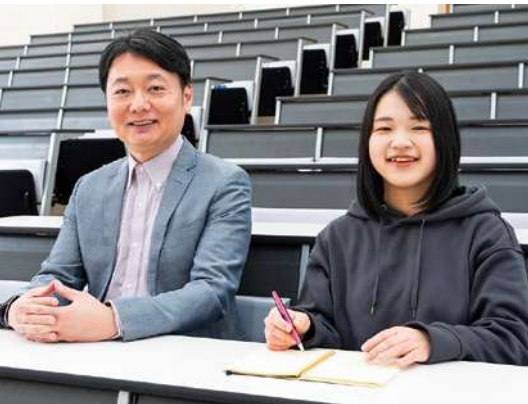
行政政策学類 金井 光生 教授
研究分野 憲法哲学、憲法学（法律・政治）

「全世界の国民の平和的生存権」が前文に掲げられている憲法は、私たちが安心して暮らすために不可欠なものです。ゼミでは人権問題や情報通信に関することを取りあげることも多く、最近ではAIやSNSなど、表現の自由と関連したさまざまな問題をどう考えるかについても議論しています。難しいものと思われがちな憲法ですが、世の中を良くし、自分の将来だけでなくみなさんの生活にも関わることなので、概要だけでも知っておけば、日々の暮らしにもきっと役に立つと思います。

行政政策学類 金井ゼミ

日本国憲法の中でも人権や統治機構を中心に、学生の要望に応えながら、今話題になっているテーマや問題になっている事柄を掘り下げ、東日本大震災や原発事故に関連したものや、日本国憲法誕生に影響を与えた福島県出身の人物についても取り上げています。

憲法を知っておくことが 自分の生活を支える力になる



学生に聞く ～ゼミを通して学んだことは～

行政政策学類 3年 橋本 真侑 さん

今の憲法は戦後公布されてから変わっていませんが、条文に込められた制作者の意図をきちんと読み解かないと理解できないと感じています。条文の行間にある、文字になっていない部分にどんな思いが込められているかを考えるのですが、専門家によっても見解が分かれるため、自分なりの解釈を導き出す力が大切だと学びました。解釈は時代とともに変わっているので、社会的な事例と組み合わせる必要があるのも憲法の面白さでもあると感じています。

教員に聞く ～ゼミで学ぶ意義とは～

行政政策学類 照沼 かほる 教授
研究分野 映像文化、アメリカ文学、アメリカ文化

今年度ゼミで取り上げた小説「フランケンシュタイン」(1818)は、過去に何度も映画化されていますが、ホラー作品として扱われることが多いもの。でも実は、原作にはさまざまな社会的テーマや、作られた当時の世相が反映されていて、それぞれ映画化された際には、どの国のどんな人が鑑賞するかによって盛り込まれる文化や表現が異なっています。いくつかの作品を見比べることでその違いを探すのも面白いし、観た人によって受け取り方も違うので、ゼミでの学びを通じて多様性を知ることでもできるのではないのでしょうか。

行政政策学類 照沼ゼミ

英米文学の原作を読んだ後に映像化された作品を鑑賞し、その時英米文学の原作を読んだ後に映像化された作品を鑑賞し、その時代背景や、どういった意図で原作とは表現が変えられたかなどを比較することで、作品の背景にある文化や社会問題を解き明かしていきます。

物語が生まれた時代背景を鑑みながら さまざまな視点による理解力を養います



学生に聞く ～ゼミを通して学んだことは～

行政政策学類 3年 酒井 奏美 さん

個人発表の際に、30年以上前に放送されたドラマ「29歳のクリスマス」を題材にしたことがありました。トレンドドラマを知らないゼミ生にその説明をすることから始まり、タイトルに込められた意味やドラマの社会的背景を伝えました。私はジェンダー問題にも関心があったので、女性のキャリアについての考えも伝えましたが、それに対して他の人の意見が自分とは異なることも興味深かったです。元々映画が好きでこのゼミを選びましたが、監督が描きたかった部分に気づけるようになって、映画を観るときの視点が変わったと感じています。

教員に聞く ～ゼミで学ぶ意義とは～

経済経営学類 奥本 英樹 教授
研究分野 コーポレート・ファイナンス、会計学

地元テレビ局と共同で行っている動画制作プロジェクトでは、経済学の理論やトピックをテーマに、中高生にも分かりやすい身近な事柄を題材にした動画を制作。「福大経済学lab.」として、これまで11本をYouTubeにアップしました。学生自身が題材選びからシナリオ作成、撮影、出演まで全て行っているので、制作を通して、経済学は日常生活に溶け込んでいるのだと気づくことができます。人生は常に選択の連続ですが、ゼミでの活動を通じて実践力や社会実装力を身に付けることで、意思決定のヒントになるのではないかと思います。

経済経営学類 奥本ゼミ

経済学は、個人や企業などの意思決定と、お金や人、モノの流れといった社会全体の動きとの関係を分析し、論理的に証明する学問です。ゼミでは企業とのコラボや株式投資などを通じて、自分の選択が社会にどのような変化をもたらすのかを体験し、学びの幅を広げています。

経済学は、人が幸せになるための 仕組みを考える、身近な学問です



学生に聞く ～ゼミを通して学んだことは～

経済経営学類 3年 石井 陽 さん

ゼミでは学生が実際に株を購入し、株式投資や企業分析のスキルを学ぶ活動をしています。将来の社会需要を予測したり、企業の業績などを考えたりして銘柄選択を行い、チームごとになぜその銘柄を選んだのかについてプレゼンテーションも行います。私たちのチームでは、社会生活に欠かせないインフラ業界や、今後発展していくであろうAI業界の株式を購入しましたが、実際の株式市場の動向が気になったり、購入した企業や業界に関するニュースにも関心が向くようになってきたりと視野が広がり、実践的な学びができていると感じています。

住民の移動手段を整えることが 暮らしやすい地域の未来につながる

コロナ禍以降、公共交通利用者数の減少や運転手不足による路線バスの減便など、地域交通の課題は多様化しています。地域モビリティ戦略研究室(吉田研究室)では、車を運転しない高齢者や高校生の移動支援策として、通常のタクシーを定額制で利用できる仕組みを提案し、南相馬市や本宮市、山形県米沢市などで実装されています。また、学生がフィールドワークを通じて拾い上げた公共交通に対する地域住民の声をまとめ、自治体や交通事業者に働きかけるなど、地域が抱える交通問題の解決方法を探る取り組みをしています。

経済学や社会学などを学ぶことで得られる専門的な知識と、県内外で行うフィールドワークという実践の場の両面から「地域を見る目」を養うことができるこの研究室には、経験を重ね、学びを深めたいという学生が全国から集まっています。彼らと一緒に多くの課題に取り組み研究を深めることで、多様化する地域交通の問題を解決していければと思っています。



山形県南陽市沖郷地区の定額タクシー「おきタク」の改善策を発表する学生



いわき市内の地域交通に関するグループヒアリング

Notable Research



経済経営学類 経済学コース
吉田 樹 教授
研究分野 地域交通・観光政策、まちづくり、地域経済

社会的課題と企業の財務状況の 関連についてデータから読み解く

財務会計とは、貸借対照表や損益計算書など、企業の財務状況を投資家や債権者といった社外の利害関係者に情報開示するための会計です。開示された情報に株主や銀行がどういった反応をするかデータを集め、研究を行っています。近年、資産や負債、利益などの会計数値情報だけでなく、女性管理職の数や男性の育休取得率、障がい者雇用の割合なども、重要な企業情報ととらえるべきではと学会でも議論されています。こうした情報が財務数値にも少なからず影響があると分かってきたので、因果関係がクリアになれば興味深い研究になると感じています。企業がどの分野に力を入れているか、社会的課題にどう向き合っているか、そういった背景にあるさまざまな動きが数字に表れてくるのが財務会計の魅力。代表者のメッセージや企業の倫理観もそこに反映されると言えるので、財務情報の解析を通じて見えてくる企業の課題についても明らかにしていければと考えています。



2021年には、会計学を中心とするプレゼンテーション大会にゼミ生が参加。女性管理職比率が高いと財務業績にも関係性があるという結論を導き出し、ブロック大会で優勝し決勝に進出した



経済経営学類 経営学コース
根建 晶寛 准教授
研究分野 財務会計、経営学、コーポレート・ファイナンス

新たな視覚で歴史を見直せば、 現代を捉える視点も変わるはず

私の研究の出発点は地方制度史で、直近では、明治時代に設立された福島第六国立銀行について研究しました。当時、重要な輸出品である生糸市場があった福島には日本中から商人が訪れ、生糸の買い付けを行いました。その荷役替を取り扱う銀行として第六銀行が設立されたのですが、その立ち上げに携わったのが、福沢諭吉と関わりの深い元三河藩士たちでした。ところが、政府内で福沢派の影響力が大きくなることに不満を抱いた外務大臣・陸奥宗光の策略により、第六銀行は営業停止に追い込まれます。第六銀行の盛衰を調べることで、中央政府の利権を巡る争いの構図が如実に見えてくるのです。視点を変えれば、今まで見えてこなかったものに気づくことができます。多様化する現代社会をとらえる目を養うためには、固定概念にとらわれずに歴史を新たな視点で考察していく研究が必要。それを世の中に送り出すことが私の使命だと思い、今後も研究を続けていきたいと思っています。



県庁にある福島城址の碑(写真上)と紅葉山公園の板倉神社(写真下)。古地図から地方行政の変遷を読み解く研究を長年行ってきました。現在でも講義では学生たちと福島市内を歩いて古地図と比べ、考察するフィールドワークを行っています



行政政策学類 地域政策と法コース
荒木田 岳 教授
研究分野 地方制度史、地方行政論

福島県全体をキャンパスに社会実装力を育てるとともに
専門的知識を身につけ考察力を深める

1年次から一貫した連動性のある科目を履修し、福島県全体をキャンパスに企業・自治体との連携を通じて現代の地域社会にイノベーションをもたらす「社会実装力」を持つ人材を育成します。2年次から地域資源や新技術を活用し新しい価値を創造する「産業・地域社会イノベーションコース」、地域企業の新陳代謝をけん引し地域経済を再構築する「経済経営コース」、公的な視点で新しい社会の姿をデザインし伴走する「公共政策デザインコース」のいずれかのコースに所属します。



取得学士号

学士（経済学）

取得できる
免許・資格

- 高等学校教諭一種免許状（商業）
- 社会教育主事（基礎資格）※1・社会教育士
- 学芸員 ※2
- 社会福祉主事（任用資格）※3

※1 必要単位を修得し、卒業後1年以上、社会教育主事補としての職に従事することが必要です。
※2 「博物館に関する科目の単位」を修得することが必要です。
※3 必要単位を修得し、卒業後、地方公務員として任用され、福祉事務所などの部署に配属される必要があります。

1年次		2年次		3・4年次					
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
専門教育	専門基礎科目 ミクロ経済学入門 社会学原論 政治学入門 マクロ経済学入門 政治経済学入門 経営学入門 簿記概論 歴史と社会 現代法学論 データ分析科目 統計学入門		産業・地域社会イノベーションコース	コース基礎科目 データ分析科目 社会実装科目 社会実装演習Ⅰ 社会実装総合Ⅰ 社会実装演習Ⅱ 社会実装総合Ⅱ		コース発展科目 文理融合科目 他コース科目 卒業研究科目 社会実装実習Ⅰ 社会実装実習Ⅱ 社会実装実習Ⅲ 社会実装実習Ⅳ			卒業研究
	社会実装科目 社会実装入門Ⅰ 社会実装入門Ⅱ			コース基礎科目 データ分析科目 社会実装科目 社会実装演習Ⅰ 社会実装演習Ⅱ		コース発展科目 文理融合科目・他コース科目 卒業研究科目 社会実装実習Ⅰ データ分析実習Ⅰ 専門演習Ⅰ 社会実装実習Ⅱ データ分析実習Ⅱ 専門演習Ⅱ 社会実装実習Ⅲ データ分析実習Ⅲ 専門演習Ⅲ 社会実装実習Ⅳ データ分析実習Ⅳ 専門演習Ⅳ			
				コース基礎科目 データ分析科目 社会実装科目 社会実装演習Ⅰ 社会実装演習Ⅱ		コース発展科目 文理融合科目・他コース科目 卒業研究科目 社会実装実習Ⅰ データ分析実習Ⅰ 専門演習Ⅰ 社会実装実習Ⅱ データ分析実習Ⅱ 専門演習Ⅱ 社会実装実習Ⅲ データ分析実習Ⅲ 専門演習Ⅲ 社会実装実習Ⅳ データ分析実習Ⅳ 専門演習Ⅳ			
基礎教育	アカデミックスキルズ	スタートアップセミナーⅠ・Ⅱ 社会とデータ科学の基礎							
	ライフマネジメント	キャリア形成科目／健康・運動科目／キャリア設計科目							
	外国語	英語Ⅰ・Ⅱ／英語以外の外国語初級／英語以外の外国語発展							
	教養	地域課題に取り組む／データに基づいて考える／多様な視点から考える／普遍的価値観を知る							
自由選択領域									

産業・地域社会イノベーション コース

地域資源や新技術を活用し、
新しい価値を創造する

企業、行政、地域社会などが抱える諸課題の解決のための方策を検討し、提案することができる人材の育成を目標としています。新技術や地域の文化的資源の利活用により、地域社会・文化・経済領域で新しい価値を創出できる力を重視し、そのための諸能力を養うことを目指します。

そのため、地域社会・文化・経済とその動態に関する学びを基礎に、データ分析方法や自然科学分野を含む専門的知識の学際的学修、調査とデータ分析の経験を積んでいきます。



経済経営 コース

地域企業の新陳代謝をけん引し、
地域経済を再構築する

経済学、経営学、会計学の基礎的な考え方を土台として、企業活動に関わる適切な判断を行うための専門性および経済活動のために必要な法的知識を体系的に学修します。そして、得られた知見・知識を元に、地域企業の成長、地元企業やコミュニティと連携した課題解決、社会実装に取り組むことができる人材を育成します。



公共政策デザインコース

公的な視点で新しい
社会の姿をデザインし伴走する

経済学、政治学、法学の素養を身につけながら、実証データの重要性と知見の社会実装を意識し、地域の団体・自治体等と連携した実践的学修を行います。それらの学修を通じて、公務員、公的機関や行政法人、社会的企業やNPOの職員として公共政策領域のさまざまな課題に取り組み、公共の福祉と利益に資する活動を推進し、将来的には政策方針立案を担う人材を育成します。



PICK UP!

地域環境論ゼミ ～人と自然が育む地域資源と文化～

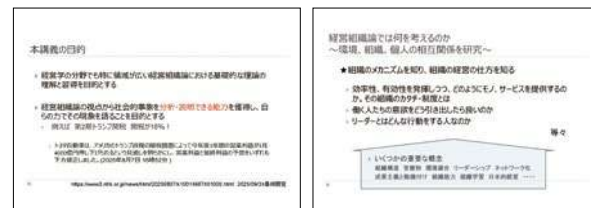
高齢化と人口減少が深刻な中山間地域には課題が山積していますが、自然環境や暮らしの中には課題解決の糸口となる地域資源が豊富にあります。学生は「共事者」として住民交流を育みながら、地域の環境史にあわせて資源の現地調査を進めています。机に向かっていただけでは得られない現場の知識と直観をもとに、「正解」がない難問に取り組んでいます。



PICK UP!

経営組織論

経営組織論の魅力は「人が集まると何が起きるのか」という問いに答えてくれる点です。企業がどう意思決定し成長するのか。NPOや社会的企業といったハイブリッド組織が、社会的使命と営利性をいかに両立させるのか。企業だけでなく、部活やサークル、アルバイト先、地域活動など、私たちは日常的に何らかの組織に関わっています。組織を理解することは、身近な場面から自分の生き方を考える力になります。



主な科目

- 地域経済学
- 地域経営論
- 地域社会学
- 地域環境論
- 都市計画・まちづくり論
- ソーシャルイノベーション論
- イノベーションデザイン
- 知的財産権と産業
- マーケティング論
- マーケティングリサーチ
- 経営組織論
- 環境経済学
- 歴史と社会
- 東アジア近代史
- 考古学
- 比較経済史
- 世界経済論
- 地域史
- 刑事法と刑事政策
- 社会調査論
- 情報社会論
- 社会学原論
- 欧米文化論
- 国際文化交流論

主な科目

- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- 金融論
- 産業組織論
- 国際経済学
- 計量経済学
- 経営学概論
- 組織行動論
- 経営戦略論
- 人的資源管理論
- 経営情報分析
- 会計学概論
- 原価計算
- 財務諸表論
- 租税法概論
- 税務会計
- 会計監査論
- 民法総則
- 民法（債権各論）
- 民法（債権総論）
- 民法（物権・担保）
- 民事手続法

主な科目

- 公共政策論
- 行政学
- 国際政治論
- 現代政治理論
- 地方行政論
- 政治過程論
- 社会政策
- 公共経済学
- 政治経済学
- 労働経済
- 経済政策
- 地方財政論
- 財政学
- 現代法学論
- 憲法（人権）
- 憲法（統治機構）
- 行政法
- 国際法
- 犯罪と刑罰

教員紹介 ※2026年4月1日現在

- 阿部 浩一 (日本中世史・文化史)
荒 知宏 (国際経済学)
荒木田 岳 (地方制度史)
生島 和樹 (会計学)
石川 俊介 (地域社会学)
石川 大輔 (マクロ経済学)
伊藤 俊介 (朝鮮近代史)
稲村 健太郎 (租税法)
井上 健 (統計学)
今西 一男 (都市計画論)
井本 亮 (日本語学)
岩崎 由美子 (社会計画論) ※
浦谷 知絵 (民事訴訟法)
奥本 英樹 (ファイナンス)
小田 和正 (社会学史)
垣見 隆禎 (地方自治法) ※
金井 光生 (憲法学)
川崎 興太 (都市計画・まちづくり)
菊池 智裕 (西洋経済史)
菊地 芳朗 (考古学)
岸見 太一 (現代政治理論)
貴田岡 信 (管理会計) ※
吉高神 明 (国際公共政策論) ※
金 善照 (組織行動論)
金 敬雄 (言語文化交流論) ※
久我 和巳 (文芸社会学) ※
クズネツォワ・マリナ (社会学) ※

- 熊沢 透 (社会政策)
黒崎 輝 (国際政治学)
ぐんすけふおんけるん・まるていーな (外国語教育法) ※

- 阪本 尚文 (憲法・歴史理論)
佐々木 康文 (社会情報学)
佐藤 英司 (産業組織論)
鈴木 めぐみ (国際法)
朱 永浩 (アジア経済論)
末吉 健治 (経済地理学) ※
十河 利明 (アメリカ経済論) ※
大黒 太郎 (政治過程論)
高橋 準 (家族社会学) ※
高橋 有紀 (刑事法)
田村 奈保子 (フランス文学) ※
照沼 かほる (アメリカ文化)
徳竹 剛 (日本近代史)
中里 真 (民法)

- 西田 奈保子 (行政学)
沼田 大輔 (環境経済学)
根建 晶寛 (財務会計)
野口 寛樹 (組織論)
廣本 由香 (環境社会学)
福島 雄一 (商法) ※
福富 靖之 (理論言語学) ※
藤原 遼 (財政学)
マッカーズランド フィリップリロイ (英語教育法)

- 真歩に しょうん (第二言語習得)
三家本 里実 (労働過程論)
村上 早紀子 (都市・地域計画)
村上 雄一 (日豪関係史)
山崎 曉彦 (民法)
尹 卿烈 (経営戦略)
尹 海園 (公共政策論)
吉田 樹 (地域交通政策)

※政経学部専門授業担当なし

授業科目



物流現場での学びを発表・討論することで
論理的思考力を養い、実社会への理解を深める

朱 永浩先生

朱永浩ゼミでは、私たちの暮らしや経済を支える「物流」に注目し、座学と現場体験を組み合わせた実践的な教育活動を行っています。物流企業や税関など、物流を支える関係機関を訪問し、モノがどのように運ばれ、社会や地域経済をどのように支えているのかを、海外研修や学外見学を通じて実際の現場で学ぶことを大切にしています。

研修後には、報告書の作成や研究発表を通じて、実社会と学びを結びつけながら、現場で得た知見を自分の言葉で整理し、他者に分かりやすく伝える力を養います。こうした学びを通じて、学生は「なぜそうになっているのか」を考える力や、課題を発見し、論理的にまとめる力を身につけていきます。

また、学年を超えた共同作業や討論を通じて、主体的に学ぶ姿勢や協働する力も培われます。実社会への理解を深めることで、自身の関心や適性を見極める機会ともなり、将来の進路選択や就職活動において、自らの学びを具体的に説明できる力へとつながっています。



台湾物流大手KerryLogisticsNetwork社への訪問調査



東京証券取引所（JPX）見学の様子



古文書の記録保全を実践的に学び
被災した地域の史料を守る

阿部 浩一先生

歴史学は、過去の事象について文字で書き残された資料（＝史料）をもとに探究し、その意義を考察する学問です。史料のうち、過去の人々が証拠や手紙等として書き記した文書が効力を失ったものを古文書（こもんじょ）と言いますが、古文書学実習では本物の古文書を利用し、記録保全のための一連の過程を実践的に学びます。本学部の最大の特徴は、災害により救出された資料をお預かりし、記録整理したうえで返却するという、地域貢献の役割を果たしていることです。福島県は東日本大震災、令和元年東日本台風、2度の福島県沖地震など、たび重なる災害に見舞われてきました。大規模災害で被災し、解体せざるを得なくなった建物の中から救出した資料を記録整理して返却する活動は、文化の力による復興支援であり、皆さんも歴史学の社会貢献を実感できるはずで。さらに実習の成果は、地域の歴史研究の基盤整備という大切な役割ももっています。

■エキスパート・プログラム

・会計エキスパート・プログラム



100有余年の歴史を持つ福島大学の会計学を学び
会計のエキスパートを目指す

福島大学政経学部は、全国7番目かつ東北唯一の旧制官立高商を起源とし、100年を超える歴史があります。その歴史の中で、多数の優秀な卒業生を輩出してきましたが、このうち会計学分野の卒業生の進路は、研究者、公認会計士、税理士、国税専門官、金融機関のトップマネジメントや、企業のCFOなど、多岐にわたります。

このような伝統を受け継ぎ、発展させるために、前身の経済経営学類において、2019年から「会計エキスパート・プログラム」を開始しており、政経学部でも継続して実施することとしています。

このプログラムは、会計エキスパートを養成するため、検定試験の合格に基づく単位認定、および一部会計学関連科目の早期履修を認めるものです。また、一定のプログラム修了要件を満たした場合には、「会計エキスパート・プログラム修了証」が授与されます。

※政経学部における会計エキスパート・プログラムの内容は、一部変更になる場合があります。



一橋大学名誉教授の新田忠監先生（福島大学経済学部出身）にご講演いただいた学術講演会

・法エキスパート・プログラム



実践的な法学教育を通し、
地域の法律専門職を目指す

現代社会の複雑な課題を解決するために必要なのは、正解のない問いに対して社会規範や政策を通じ、論理的な答えを導き出す「法的思考力」です。本EPでは、各コースの垣根を超えて、「法」を体系的、専門的に学び、問題解決の力を育むような特別なプログラムを提供しています。

【具体的な学びのステップ】

理解を深める

専任教員の指導のもと、最新の学説や裁判例を検討する演習や研究会を実施します。教科書の一歩先にある、現代のリアルな法的問題に触れます。

現場に学ぶ

裁判所、議会、刑務所等の施設見学や、実務を担う地域の司法・法務行政関係者らとの交流を通じて、法学の現状を肌で感じます。

実践で磨く

少人数のグループに分かれ、討論会を開催します。学んだ知識を実践する力を養います。



こうした実践的な法学教育は、裁判官・検察官・弁護士をはじめとする法曹界への挑戦だけでなく、司法・法務行政等に関わる公務員、企業の法務担当者など、社会を支えるさまざまな法律専門職としての進路を後押しします。



行政政策学類生の 1週間 & 経済経営学類生の 4年間 の学びをのぞいてみよう！

1week

政治や社会学だけでなく、さまざまなジャンルを学べます！

行政政策学類 1年 生 天目 恩 さん

夢中になっていること 自炊を頑張っています！

所属サークル 放送部

将来の夢 過疎地域の活性化に取り組みたい

	月	火	水	木	金
1	食品の機能	必修 社会学原論	必修 現代社会からのアプローチ	ちからとうごき	震災とその後について学ぶ、福島大学ならではの科目です
2		高校で習った歴史や倫理と深く結びつきがある興味深い講義	倫理学	ロシア語	ふくしま未来学入門Ⅱ
3	英語		伝統文化などの映像を見ながら楽しく学べます	必修 問題探求セミナー	英語
4	必修 現代政治論			いろいろな視点で考えることで新たな気づきが生まれます	被災地の人にインタビューしてアーカイブにまとめます
5					むらの大学

Comment

2年次になると、以前から学びたいと思っていた福島県で起こった歴史的な事柄や、大学で新たに興味をもった地域づくりや地域活性化についての授業が始まります。将来の夢に向かって、力を入れて学んでいきたいです。

学外活動

学外の大学生向けにインターンシップを仲介する団体に所属。目上の人と話したり、ビジネスについて学んだりできるほか、学生向けのイベントの企画にも関わり、人前で発表するなど、そこで得た経験が刺激になっています。



4years

経済経営学類 3年 生 横江 俊亮 さん

夢中になっていること 温泉めぐり

所属サークル Key'sボランティア/経済バスケットボール

将来の夢 会社の顔のような存在になりたい

経営者と一緒に活動したことで、企業の求めるものが見えてきました

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業後
お金や社会の動きの基礎を学ぶ ネイティブの先生による英語の講義は、始めはリスニングに苦労しましたが、会話を中心に楽しく学べました。経営の講義は答えのない学問ですが、自分なりの考え方で学べる自由度が自分に合っているなと思いました。	経営学コースを選択 中小企業の経営者と一緒に活動するゼミに参加し、店舗のインスタグラムを立ち上げSNSでの集客やマーケティングに関する活動をしました。授業を通して経営者の話を聞く機会も増え、経営に関する知識が深まりました。	ゼミを通して企業と一緒に活動し成果を発表 ゼミでは、中小企業のニーズに合わせたAIを紹介するためのツール作成を行いました。作成にもAIを使い、何度も修正しながら知識のない人でも使いやすいものを考案し、成果発表も行ったことで自信もつきました。	講義はゼミと卒論を残すのみ 卒論についての研究を深めるのはこれからですが、3年次にAIに関する取り組みを行ったので、AI関連の研究を高めていけたら面白そうと思っています。ほかに哲学など社会に出てから役立つような講義も受ける予定です。	関東圏の企業に就職が内定 現在は就職活動もほぼ終わり、卒業後は県外のメーカーで営業や調達の部門で働く予定です。ずっと福島県で暮らしてきたので、一度離れてみることで、新たな魅力を感じることができるとかと思っています。

Comment

経営学コースは、組織の特徴や市場の種類など、経営者目線での学びが中心となります。アルバイトをした時には、学んだ知識を元に何が売れているのか、どうすれば売れるのかを自分なりに考察することができました。

Best memory

ボランティアサークルでは、サッカーの福島ユナイテッドFCのイベント運営に携わりました。来場者にフェイスペイントを行ったり、子どものサッカー教室の受付やマスコットの着ぐるみに入ったりと、さまざまな体験ができました。



※所属・学年は取材当時のものです

地域で活躍する先輩たち

福大発 ▶ 社会人

ゼミでのフィールドワークを通じて、住民の声を聞き、課題解決につなげる力が付きました

福島県庁
穂住 響也 さん（行政政策学類2024年卒業）

行政政策学類では、1年次からゼミが活発に行われます。ディスカッションしながら進めることが多く、考えを分かりやすく説明するプレゼンテーション力が養われたと感じています。現在は福島県庁の健康づくり推進課で県民に向け禁煙や受動喫煙の防止を呼びかける事業に携っていますが、そこでも自分のやりたいことや提案を分かりやすく説明する際に、プレゼンテーション力が役立っていると思います。

配属されてすぐ世界禁煙デー・禁煙週間を啓蒙するライトアップ事業を任せられ、5月末に県内各地でライトアップを行いました。県内各地の施設や県庁本庁舎をライトアップするということもあり、県庁本庁舎のほかの課や保健福祉事務所、協力事業所との調整は大変でしたが、無事成功して上司からも労いの言葉をいただき、成長と達成感を得ることができました。今後も福島大学での学びを活かしながら、県民の皆さまの暮らしを守る役割を果たしていきたいです。



大学の学びで一番よかったところは？

1～2年次に簿記を学び、3級を取得しました。さらにその後、2級レベルの講義を受けたことで財務諸表が読めるようになり、それが金融の仕事での自信につながっています。ほかにもファイナンシャル・プランナー3級を取得しました。学生のうちに目指す業界の知識を身につけておくことが、将来の仕事の幅を広げると感じています。

夢を叶えるためにがんばったことは？

大学の講義で当行頭取の講演があり、「銀行は地域のためにある」という話に心を打たれて金融業界を目指すようになりました。面接に向けた質問集を自分で作成し、どう答えるかを箇条書きにして何度も練習し試験に臨みました。就職試験ではコミュニケーション力を問われることが多いので、自分の考えをまとめて伝えるディスカッションの講義も受けました。

後輩へのメッセージをお願いします

高校時代に比べ時間に余裕ができるので、勉強以外のことにも挑戦してほしいです。私はインターンシップを通して目上の人との接し方を学び、社会人になる上でも大きな勉強になったと感じています。サークル活動では他の大学との交流もあり、コミュニケーション力を育むことができたので、興味があることは積極的に取り組んでほしいですね。

夢を芽吹かせた先輩に聞いてみよう！



大学の学びで一番よかったところは？

地域の課題を考えるゼミに魅力を感じ、3～4年次には地域の課題を考えるためのゼミに所属しました。フィールドワークを行い、高齢化が進む福島市の団地で住民の声を直接聞き、見えてきた課題をどう解決していくかを探ったこの取り組みは、現在の仕事でも、どのような事業を展開していけば県民の皆さまによりサービスを提供できるか考えるのに役立っていると感じています。

夢を叶えるためにがんばったことは？

最初から公務員を目指していたので、3年次から大学の公務員試験対策講座を受講しました。また、アルバイト先の先輩に県職員になった人がいたので、具体的な話を聞くことで、自分が働く姿をイメージすることができました。国家公務員にも合格しましたが、福島県の魅力を伝えていけたらと思い、福島県庁への入庁を決めました。

後輩へのメッセージをお願いします

大学の4年間は、自分が何をやりたいのかを探す時期。勉強はもちろんですが、学生のうちにいろいろな経験することが大事です。好きなことを追求し、やったことのないことにチャレンジしてみれば、新しい発見があり、それが将来目指す道につながるかもしれません。

目指す業界を見据えて知識を深めておくことが、就職してからの自信とその先の夢につながる

東邦銀行
白岩 千奈 さん（経済経営学類2023年卒業）

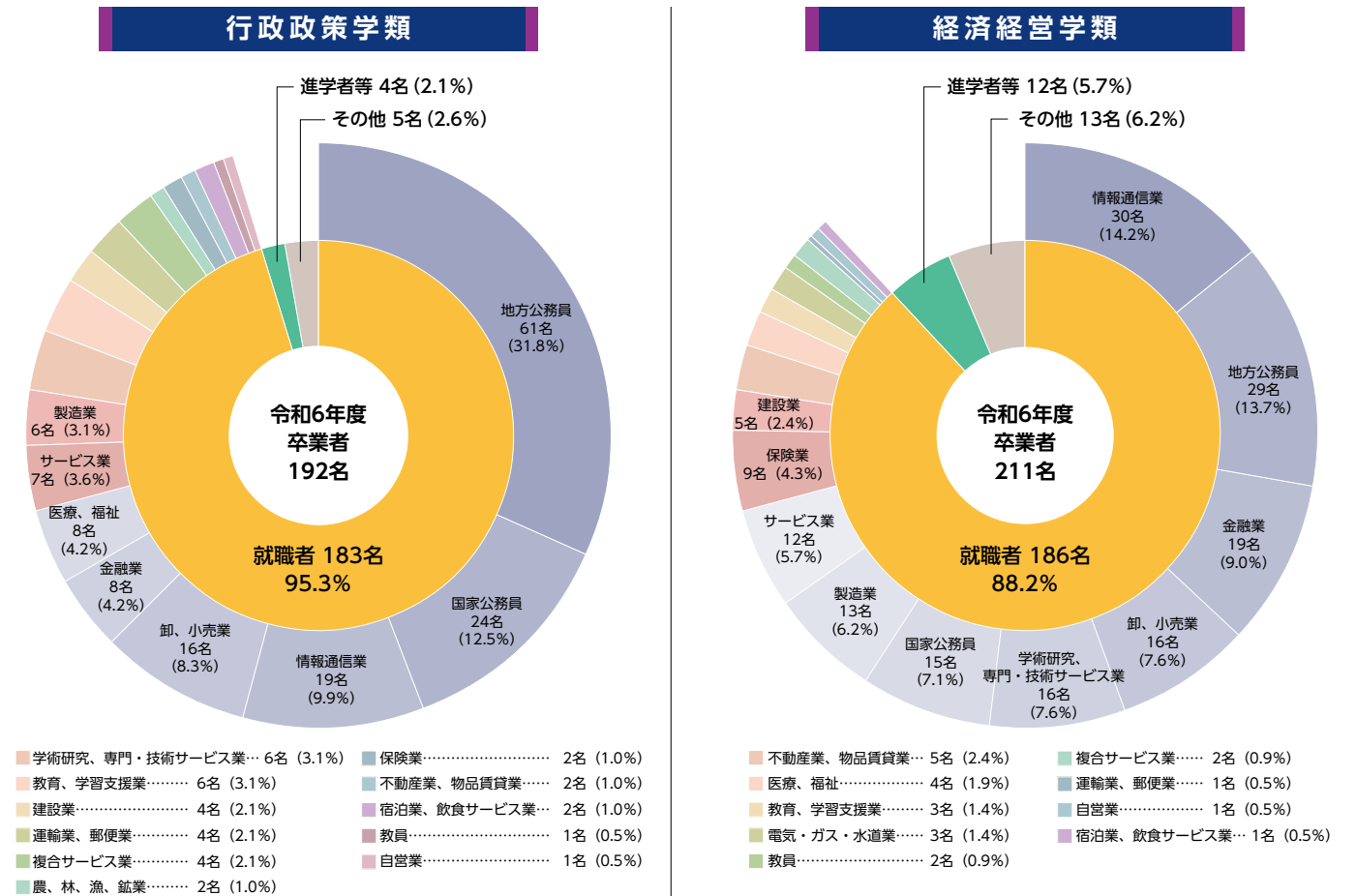
大学では主に経営に関する講義を履修しました。そこで学んだ知識や、簿記など経済関連の資格を取得したことは、現在の仕事にも役立っています。

入行してからは、銀行の窓口で主に個人向けのローン業務を担当しています。教育ローンやオートローンなど、お客さまが必要とされるものはさまざまで、借入条件も異なるため幅広い知識が必要とされます。ご希望に合わない場合には別の商品をご提案することもあります。お客さまの生活を豊かにするお手伝いができて感謝されることも多く、やりがいを感じています。大学時代に身に付けたコミュニケーション力が、お客さま対応や、同僚・上司との意思疎通にも役立っています。今後は法人向けの融資も担当するようになるので、お客さま一人ひとりに合った提案をできるよう、さらに上の資格取得を目指し知識を深めていきたいです。

※所属は取材当時のものです

進路情報

政経学部へ統合される行政政策学類と経済経営学類の進路情報・業種別就職状況



政経学部誕生までの沿革

政経学部は、行政政策学類と経済経営学類がそれぞれの強みを融合させながら統合し、誕生します。



福島大学政経学部



理工学部

定員 215 名

共生システム理工学科 (仮称)

- 情報理工学コース
- 分子デザイン科学コース
- メカトロニクスコース
- 環境システムコース



身につける能力

- 幅広い理工学的基礎知識と確かな専門性
- 学際的・国際的に実践する力
- 論理的で的確な立案力と決定力
- 積極的かつ持続的な貢献意識

地域の未来をひらく 「科学と技術」を身につける

人・産業・環境が共生する社会を構築するために必要な学問を総合的・実践的に学び、21世紀の社会が抱える諸課題の解決に貢献できる知識・技能と現場応用力を備えた「実践型エンジニア」を育成します。

学類長メッセージ

システム科学を志向しよう

高度情報化社会への対応、人支援技術と産業の創出、カーボンニュートラルの実現、自然環境・災害・温暖化と社会との関わり、これらの課題に取り組むための専門分野はさまざまにありますが、理学と工学、科学と技術、自然と社会をシームレスに俯瞰する視野をもつことが大切です。

理工系人材として巣立った皆さんに社会から期待されているのは、データや論理に基づく丁寧な説明力と的確な判断力であったり、卓越する技能や実践力です。皆さんは、21世紀の課題あるいは学問的興味にどのような専門性を備えて取り組みますか。専門性を磨くと共に、広い視野をもち多角的に物事を捉える素養とシステムとして物事を捉える思考が諸課題の解決には欠かせません。

理工学部は、人・産業・環境が共生する社会を構築するために、地球規模で顕在化している21世紀の課題の解決に貢献できる知識・技能と現場応用力を備えた理工系人材を育成することを教育目標としています。

大学入学はゴールではなく、スタートです。時には熱く、時には苦しくとも、知的な創造活動を皆さんと共に楽しむことを切に願っています。



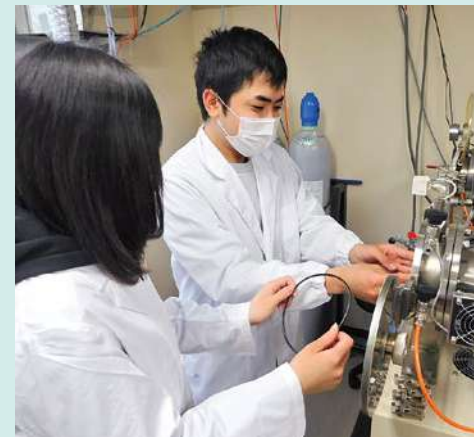
共生システム理工学類長 長橋 良隆 教授

理工学部の 特色

現代のさまざまな課題に挑む

4つの専門コース

変化の著しい高度情報化社会への対応、少子・高齢社会を見据えた人支援技術の創出、持続的かつ環境負荷の少ないエネルギーや物質の創出、自然災害や生態系の破壊などの環境問題への対応、これらの諸課題に貢献できる人材を育成するために、4つの専門コース(情報理工学コース、メカトロニクスコース、分子デザイン科学コース、環境システムコース)があります。



福島ならではの研究テーマを

フィールドワークで探究

教育・研究では、廃炉や除染に関する技術・地域産業支援・再生可能エネルギー・福島県内の動植物・猪苗代湖や阿武隈川など、福島県に關係する研究テーマを数多く扱っています。そのため、現場の見学やフィールドワークは大変重要であり、地域の課題にシステム思考で取り組む実践力を養います。



国の支援事業に採択され

高度情報専門人材を育成

2023(令和5)年に「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援事業」に採択され、情報領域の実習環境を充実させるとともに、情報領域の教員を新たに採用し、高度情報専門人材を積極的に育成します。



学びを
未来へと進化させよう!

学生に聞く

～ゼミを通して学んだこととは～

共生システム理工学類 4年
相澤 海瑛 さん

研究は試行錯誤の連続です。機械の物理的なトラブルやソフトウェアのエラーが起きるなど、1つの課題を解決しても次々に課題が生まれます。しかし、難しいからこそ期待通りの結果が出る達成感があります。それに、研究の進捗発表を通じてスムーズな情報の伝え方も学べましたが、ゼミではほかのメンバーと相談したり、お互いの研究から刺激をもらったりできます。まずは大学にどんなゼミがあるか調べてみてください。

※所属・学年は取材当時のものです

自分で正解を探すが、大切な経験に

教員に聞く

～ゼミで学ぶ意義とは～

共生システム理工学類
衣川 潤 准教授

研究分野 ロボット工学、人間機械協調、製造の自動化

研究とは、これまでの勉強のように「正誤のある問題に答える」というものではありません。取り組むテーマはもちろん、何が課題で、どう解決に導きたいのかも自分で見つけます。ただ、テーマを決めることを急ぐ必要はなく、自分でさまざまな経験をして視野を広げてみてください。現在はAIがすぐに答えを出してくれる時代ですが、「自分で経験し、失敗しながら正解を探す」ということは、かけがえない体験であり、ゼミで学ぶ大きな意義だと思います。

基礎を積み上げ応用力を高めることで、異分野の専門家と協働できる人材を育成

1年次では数学、物理学、化学、生物学、地球科学、プログラミングなどを幅広く学び、2年次からは4つの専門コースに分かれて深く学びます。3年次後期からは研究室に配属され、各コースで学んだ知識を基に新しい知識を生み出す研究のプロセスを、教員や大学院生による指導・助言のもとで体験します。研究室では、自分と異なる分野の専門家と適切な討論を行えるようになることが重視されます。



取得学士号	学士（理工学）
取得できる 免許・資格	■ 中学校教諭一種免許状（理科/数学） ■ 高等学校教諭一種免許状（理科/情報/数学） ■ 学芸員資格

	1年次		2年次		3年次		4年次	
学びの目標	複数分野の理工系の基礎を学ぶとともに、 諸課題を学際的・システムの的に捉える力を養います。		コースの専門科目を学びながら、自分がどのような 分野で活躍したいかを見つけ、必要な知識や経験を 修得します。		より踏み込んだ専門的な知識・技能を修得するとともに深化させます。 その上で、4年間の学びの集大成として「卒業研究」に取り組みます。			
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
専門教育	高校の学びを大学の学びに高め、諸課題をシステムの的に 捉えるために、複数分野の理工系の基礎科目を学びます。		2年次の前期（3セメスター）から、4つのコースの いずれかに所属して専門領域を深く学びます。必要に 応じて、社会科学系の科目を学ぶこともできます。			3年次後期（6セメスター）からは研究室に配属されて、 演習や卒業研究を行います。		
	共通カリキュラムで複数分野を学ぶ 学部共通科目 ・共生の科学Ⅰ 接続領域科目 ・接続数学 ・接続理科 学部基礎科目 ・物理学Ⅰ ・化学Ⅰ ・生物学 ・数学Ⅰ ・プログラミング基礎 ・物理学Ⅱ ・化学Ⅱ ・地球科学 ・数学Ⅱ・Ⅲ ・環境放射能学概論（3セメ） 横断的に学問の面白さを学ぶための基礎内容を 「接続領域科目」として学びます。さらに「学部基 礎科目」を学ぶことで広い分野から自分の目指す 専門分野を絞り込んでいきます。「共生の科学」な どの科目で諸課題を学際的・システムの的に捉える 力を養います。		2年次前期からコース所属 情報理工学コース ・線形写像と幾何Ⅰ ・集合と位相Ⅰ ・計算機システム論 ・アルゴリズムとデータ構造Ⅰ データベースシステム ・ソフトウェア設計開発論 ・マルチメディアシステム論 ・ネットワークシステム ・人工知能と知識処理（6セメ） など メカトロニクスコース ・数理モデリング ・材料力学 ・物理学実験 ・制御工学 人間工学 ・量子力学 ・流体力学 ・デジタル信号処理 ・電子・生体工学実験 など 分子デザイン科学コース ・物理化学 ・無機化学 ・有機化学 ・分析化学 化学工学 ・再生可能エネルギーⅠ ・化学実験Ⅰ ・化学実験Ⅱ ・化学実験Ⅲ など 環境システムコース ・水循環システム学概論 ・環境計画論 ・気象学 ・生物・地球環境システム概論 環境保全論 ・地球環境科学実験 ・森林生態学 ・保全生物学実験 ・サイエンスライティング演習 など			3年次後期から研究室配属 4年間の指導体制 1年次から3年次前期まではグループアドバイザー （教員）が生活と修学の指導を行います。3年次後期 からは研究室に配属され、研究室の指導教員が演 習や卒業研究を指導します。		
基盤教育	アカデミックスキルズ科目 キャリア形成科目 健康・運動科目 キャリア設計科目 外国語科目 教養科目 自主学修プログラム							
自由選択領域	他学部の科目 海外演習							
その他	特修プログラム							

情報理工学コース

理論と実践力のバランスのとれた
情報人材を育成する

理論からシステム開発、実践までバランスのとれた能力を有した情報人材を育成します。特に、現実の事象のモデリングや分析を支える数学のスキル、ソフトウェアの設計開発に不可欠なネットワークやデータベース、人工知能など情報科学のコア知識とプログラミングスキル、さらに生産技術や物流などITの社会実装に必要な経営工学的な視野を備え、技術の変化に対応することのできる実践力を養います。

PICK UP!

ソフトウェア設計開発論

1年次から各授業で学ぶプログラミングやアルゴリズムなどの知識・スキルをベースとして、具体的なソフトウェアを作る工程について学びます。また、ソフトウェアの機能や必要な画面などを決めたり、それらを複数のメンバーで検討したりする「設計」、プログラムとして実現する「開発」、ソフトウェアが正しく動作するか否かを確認する「テスト」など、ソフトウェア設計開発のための主な作業を簡単な実例を交えて体験的に学びます。



メカトロニクスコース

物理学などを基盤に、技術やシステムの
創出を担う人材を育成する

人々の生活を豊かにする新たな「技術」や「システム」の創出を担うために必要となる、ものごとの基礎的理解から分析・設計・シミュレーション・実装・検証までの能力を有する研究者・開発者を養成します。そのために、物理学・機械工学・電気工学・人間工学・生理学を基盤として、要素技術や新たな測定手法、ロボティクスや生体医工学における制御技術・信号処理技術や人理解などの研究を通して、物・人・現象などのモデル化、システム設計、製作などの技術の体系的な学びを提供します。

PICK UP!

物理・システム工学演習

コース配属されたメンバー全員が受講する演習です。与えられたものづくり課題に小グループで取り組み、メカトロニクスコースにおける学びの基本姿勢である「工夫する」楽しさを体験します。またこの演習は大学院の講義(理工学セミナー)とリンクしており、同一課題に取り組んだ大学院生の成果をみながら、自らの取り組みを振り返り、さらに深い理解が得られように進められます。



物理学実験

物理学を学ぶ際には実際に自らの手で実験を進め自然との対話を訓練する必要があります。『物理学実験』ではそのために、力学、電磁気学、光学、熱学、量子力学などの各物理分野から選ばれた題材について、実験手法やデータ解析法を学びながら物理学の方法を身に付けてもらうことを目的としています。右の写真は、はじめて使うオシロスコープを院生の助言を受けながら操作し、実験を行っている様子です。



主な科目

- 線形写像と幾何 I
- 集合と位相 I
- 計算機システム論
- アルゴリズムとデータ構造 I
- データベースシステム
- ソフトウェア設計開発論
- マルチメディアシステム論
- ネットワークシステム
- 人工知能と知識処理 など

教員紹介 ※2026年4月1日現在

- 石岡 賢** (技術経営、製品開発戦略、マーケティング戦略)
- 石川 友保** (ロジスティクス、オペレーションズ・リサーチ)
- 内海 哲史** (情報ネットワーク)
- 大波 奨** (HCI、ソフトウェア開発論) ※
- 大沼 亮** (データ工学、ソーシャルメディア分析)
- 寛 宗徳** (経営工学、教育工学)
- 笠井 博則** (非線形偏微分方程式論、応用数学)
- ザビル サラウディン** (情報ネットワーク、ネットワークセキュリティ、IoT、人工知能の応用)
- 董 彦文** (経営情報システム) ※
- 中川 和重** (非線形解析)
- 中村 勝一** (データ工学、教育工学、HCI)
- 中山 祐貴** (HCI、情報視覚化)
- 西嶋 大輔** (環境システム分析、環境経済学)
- 長谷川 真吾** (暗号理論、情報セキュリティ)
- 樋口 良之** (経営工学、資源・廃棄物に関わる計画、管理、評価)
- 藤本 勝成** (非加法的集合関数、知能情報学)
- 三浦 一之** (アルゴリズム論、グラフ理論)

※特任教授

主な科目

- 数値モデリング
- 材料力学
- 物理学実験
- 制御工学
- 人間工学
- 量子力学
- 流体力学
- デジタル信号処理
- 電子・生体工学実験 など

教員紹介 ※2026年4月1日現在

- 稲田 シュンコ アルバーノ** (医用工学、光生物学)
- 衣川 潤** (ロボット工学、知能機械)
- 島田 邦雄** (流体工学、エネルギー工学)
- 情野 瑛** (ロボット工学、制御工学)
- 高橋 隆行** (ロボット工学、制御工学)
- 高原 円** (精神生理学、睡眠科学)
- 田中 明** (医用工学)
- 馬場 一晴** (素粒子的宇宙論)
- 松本 正晴** (計算科学)
- 山口 克彦** (物性物理学、放射線科学)
- 湯口 彰重** (ロボット工学、感覚計測)

DNA調査で
「ウサギの島」の
ルーツを探る

共生システム理工学類
環境システムコース
兼子 伸吾 教授

研究分野 保全生態学、分子生態学



植物や動物などの生態を調査して、保全や管理に役立てる「保全生態学」と、DNAを分析して生態を調べる「分子生態学」という学問の研究をしています。生態が分かれば、どのような対策や管理が必要なのか考えることができるので、生き物の未来につながる大事な研究です。

この学問は研究室での実験だけでなく、実際に野生動物が生息している場所に行きサンプルを採取するなど、フィールドワークも必要です。例えば、最近では絵本作家の館野鴻さんとの交流がきっかけで「大久野島(広島県)のウサギのルーツを探る」というテーマで研究に取り組みしました。

瀬戸内海にある大久野島は、約600羽の野生のウサギが生息する「ウサギの島」として知られる観光地ですが、ウサギのルーツははっきりしていませんでした。大久野島は昭和初期ごろに戦争用の毒ガスを研究していた島でもあります。島に関わる人や観光客からは、研究施設にいた実験動物の末裔説や、1970年代に島の小学校で飼育していたウサギの生き残り説などが注目されていました。

しかし、島でウサギの糞を200個以上採取して調べてみると、DNAには多様性がありました。仮に前述の説が正しい場合は、少数のウサギから増えたため「外見やDNAの違いが少ない」という分析結果になるはずですが。このことから「外部からさまざまなウサギが持ち込まれ続けた」と考えられます。

こうした事実が明らかになれば、今後の保護方針や対応方法を検討するヒントになります。今回の研究については「うさぎのしま」(作: 近藤えり／たてのひろし)という絵本の解説でも触れているので、ぜひ読んでみてください。



大久野島での調査。島のウサギのエピソードは絵本になっていて、遺伝やDNAを知ってもらうために講義で絵本を使うこともあります



島で採取したウサギの糞からDNAを抽出。サンプル数が多いため、研究は根気のいる作業です

分子デザイン科学 コース

化学的知識を基に最先端の研究に取り組む
クリエイティブな人材を育成する

高機能で環境負荷の少ない新しい物質や材料を生み出すために、また新しい省エネ・創エネ・蓄エネなどのエネルギー技術の開発のために、化学実験をはじめとするさまざまな「化学」を学びます。これを基に、小分子レベルからナノレベル、バルクレベルで物質や材料を捉え、現代社会における諸課題を解決するための最先端の研究に取り組めます。

PICK UP!

再生可能エネルギー I

地球温暖化の問題に伴い、温室効果ガスを排出抑制するため、化石燃料に代わる再生可能エネルギーの利用拡大が必要とされています。再生可能エネルギー I では、太陽光・バイオマスなどの再生可能エネルギーに関する知識を習得し、各技術の概要を理解することを目標とします。再生可能エネルギーに関する技術の概要を講義するとともに、国内での導入事例を紹介し、将来のエネルギーのあり方について考えるための素養を修得します。



環境システムコース

環境を多面的に捉え、
計画・管理する人材を育成する

環境をシステムとして多面的、体系的にとらえるために、環境に関する諸問題を、文理の垣根を越えて実践的に学び、研究するコースです。地球科学、自然史、生物多様性など自然環境に関する専門知識に加え、社会環境や文化環境に関する幅広い理解と自然を含む社会システムを多面的に計画・管理する能力を養うための学修・研究を行います。

PICK UP!

地球環境科学実験

地球環境科学実験では、地上で生じる様々な自然現象の原因となる地球環境の要素、状態を実験から学ぶことができます。地上を構成する地質の状態を把握するための実験や目に見えにくい地中を計測するための実験、地上の現象と切り離しをすることができない大気を解析するためのプログラミング技術を基礎から学ぶことができます。実験のグループ活動を通じて、先生の指導も受けながら、各自の考え方や意見も出し合い、地球環境の要素、状態を理解していきます。福島、および福島大学をフィールドにした調査に関する実験も進められ、意外に知らなかった身近な地球環境を知ることができます。



主な科目

- 物理化学
- 無機化学
- 有機化学
- 分析化学
- 化学工学
- 再生可能エネルギー I
- 化学実験 I
- 化学実験 II
- 化学実験 III など

教員紹介 ※2026年4月1日現在

- 浅田 隆志 (環境衛生科学、バイオマス資源学)
生田 博将 (無機固体化学、固体電気化学)
猪俣 慎二 (無機化学、有機金属化学)
岩村 振一郎 (化学工学、材料化学、電気化学)
大橋 弘範 (物理化学、X線γ線分光学)
大山 大 (合成化学、金属錯体化学)
杉森 大助 (生物工学)
高貝 慶隆 (分析化学、分離化学、分子機能学)
高安 徹 (有機化学、構造有機化学)
中村 和正 (材料工学、材料物性、材料分析、固体化学)

附属水素エネルギー総合研究所

- 伊藤 博 (水素エネルギー変換工学)
島袋 出 (材料化学、複合材料、界面、キャパシタ)
大樂 武範 (核酸化学)
宗像 鉄雄 (伝熱工学、エネルギー工学) ※
諸岡 哲朗 (電気化学、燃料電池、界面化学)

※特任教授

主な科目

- 水循環システム学概論
- 環境計画論
- 気象学
- 生物・地球環境システム概論
- 環境保全論
- 地球環境科学実験
- 森林生態学
- 保全生物学実験
- サイエンスライティング演習 など

教員紹介 ※2026年4月1日現在

- 兼子 伸吾 (保全生態学、分子生態学)
川越 清樹 (河川工学、水文学、防災工学、環境影響評価)
黒沢 高秀 (植物分類学、生態学、地域の植物相)
後藤 忍 (環境計画、環境システム工学、環境教育)
柴崎 直明 (地下水盆管理学、水文地質学、応用地質学) ※
塘 忠顕 (昆虫の比較形態学、地域の昆虫相・カニムシ相)
長橋 良隆 (地質学、火山地質学、第四紀地質学)
永幡 幸司 (サウンドスケープ)
難波 謙二 (環境微生物学)
廣田 峻 (植物生態学、進化生態学、保全生物学)
横尾 善之 (流域水文学、水資源工学)
吉田 龍平 (気象学、応用気象学)

※特任教授



特修プログラム

理工学部では、さらに高度な専門知識を学びたい学生のために、特定のテーマに沿った特修プログラムを設定しています。必要な単位を修得することにより各プログラム修了の認定を受けることができます。

放射線科学専修プログラム

原子力発電所災害をきっかけとして関心が高まった放射線について、科学的に理解し対応することのできる人材の育成を目指したプログラムです。「放射線取扱主任者」資格レベルの放射線科学に関する専門領域科目について、単位修得を課しています。



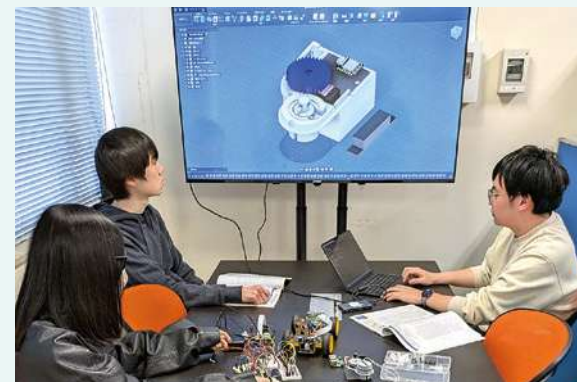
水素・再生可能エネルギー専修プログラム

水素・再生可能エネルギーに関する理工系的な知識修得を目的とした科目を多数設定し、複数のコースを横断した幅広いエネルギー教育を提供するプログラムです。



実践情報工学プログラム

学士課程から大学院までの学修を通して、情報工学に関する基本的な実践力を有した人材の育成を目指したプログラムです。そのために、大学院進学希望者を対象として、1) 情報工学に関する基本的な知識・実践力、2) 学士課程の段階から大学院での学びや修了後の活躍像を含めた志望分野に応じた視野を獲得するとともに、本プログラム受講者を希望コースに優先所属するインセンティブが与えられます。



共生システム理工学類生の 1週間 & 4年間 の学びをのぞいてみよう！

学校の先生を
目指しているので
関連の講義を積極的に
受講して
います



共生システム理工学類 1年
佐伯 昂哉 さん

夢中になっていること
旅行
(47都道府県制覇が目標)

所属サークル
福島学生“源種”～seed～
(よさこいサークル)

将来の夢
中学校か高校の先生になって
数学や情報を教えたい

	月	火	水	木	金
1	日本国憲法01	化学Ⅱ C言語の基礎を 学んでいます		ちからとうごき 一般の聴講者もいて、 ディスカッションできます	英語AⅡ12 福島の問題解決を考えます
2	英語AⅠ16	プログラミング基礎 地域と世界の未来を つくる科学	戦争と平和の倫理学 毎回違う先生が研究や 事例を解説してくれます		ふくしま未来学入門Ⅱ (メディア授業)
3	地球科学	ドイツ語基礎Ⅱ 基本会話ができるように なりたいです	ドイツ語基礎 (特設)Ⅱ		スポーツ実習
4	数学Ⅲ(統計学)	数学Ⅱ (線形代数)			
5	問題探究セミナーⅠ	2年次のコース配属に ついて考えます			行列とベクトルⅡ

Comment

福島大学はデータサイエンス教育に力を入れているように、数学や情報分野で学びを深めることができます。大学の講義は専門性も高くなり難しいと感じることもありますが、学び中で新たな発見も多く、毎日が楽しいです。

サークル活動

「福島学生“源種”～seed～」というよさこいサークルに参加しています。「魅了する喜び」をモットーに全国各地の大会で踊っています。フレンドリーな先輩方ばかりなので、ダンス未経験でも安心です。心ひとつにして踊るのは達成感もありますよ！



コースや研究室を
選択する前には
情報収集が大切

共生システム理工学類 3年
鈴木 菜々美 さん

夢中になっていること
ネットで映画やアニメ鑑賞

所属サークル
なし

将来の夢
放射線量分析などの研究で
廃炉の役に立ちたい

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業後
理系の学びを 深めながら コース選択を考える	座学より 実験やレポートが 多くなる時期	研究室への配属は 10月から	卒研とゼミで 自分の研究テーマに 取り組む	研究者を目指して 大学院へ
理系に興味を持っていたので、化学や物理に関する講義を積極的に選択しました。そのほかにも英語、プログラミングなどを学びながら、2年次にどのコースを選ばうか考えていました。	2年次になると実験やレポートで忙しくなります。課題の提出にはパソコンの表計算ソフトを使うことが多いので、実験機材の扱いだけでなくパソコンの基本操作も覚えておくこととスムーズに進みます。	3年次になると一部の専門的なもの以外は、ほぼ講義は取り終わっています。研究室への配属は10月からで、自分の研究テーマを考えたり、研究室の機材の使い方などを学んだりしていきます。	卒業研究が本格的にスタートします。自分のテーマを決めてゼミで専門的な学びを深めます。先生のアドバイスを参考にしながら、実験や分析を重ねて研究をまとめ、卒業論文を完成させます。	私は研究職を目指しているので、大学院に進む予定です。学部での学びを発展させて、放射線量の測定をより速く正確にできるように機材の運用方法などを研究したいと考えています。

Comment

高校の授業は座学がほとんどかと思いますが、大学では実験結果を考察したりレポートを書いたり自分で課題解決に向けて動く学びが中心となります。難しい内容も多いですが、きちんと成果が出れば達成感があります。

Best memory

大学生活では長期休暇を自分の可能性を広げる時間として使えます。私は旅行が好きなので、アルバイトをしてお金を貯めて旅行プランを考え、さまざまな場所に出かけました。一番の思い出は熱海で温泉に泊まったことです！

地域で活躍する
先輩たち

福大発 ▶ 社会人



国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

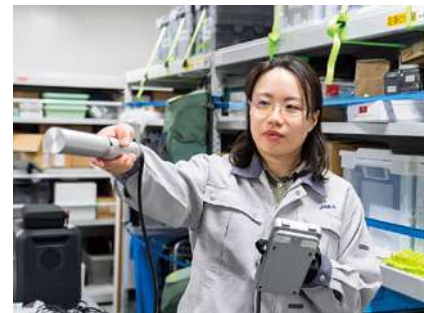
佐々木 美雪 さん(共生システム理工学研究科博士前期課程 物質科学分野 2015年修了)

放射線計測の研究を通じて廃炉や復興の力に。
福大での学びが研究者としての糧になりました

原子力に関する総合的な研究開発を行う国立研究開発法人である「日本原子力研究開発機構(JAEA)」という機関で、放射線計測について研究しています。JAEAは全国に拠点があり、私は南相馬市にある研究施設で、福島第一原発事故後の周辺地域の線量調査や原発内での計測に携わっています。

具体的には原発の周辺地域での空間線量データを集めて解析し、変化を記録したマップを作成するという作業ですが、このマップをもとに国や自治体で帰還困難区域の解除などを検討するため「人々の暮らしに関わる大事な仕事」というやりがいがあります。

自分が研究職に就くにあたり、福島大学でさまざまな学びを深められたのは大きな糧になったと思います。皆さんも自分がどの分野に向いているのか確かめるためにも、幅広く講義を選択してみてください。



卒業後の主な進路

【情報理工学コース】

■ソフトウェア・情報通信業
■製造業(ソフト設計、生産管理)
■運輸・サービス業(分析部門) など

【メカトロニクスコース】

■電機・自動車・プラント
関連製造業
■医療・福祉機器関連製造業
■電子・情報通信関連企業 など

【分子デザイン科学コース】

■化学関連製造業
■エネルギー関連企業 など

【環境システムコース】

■水・環境・防災関連企業
■環境・建設コンサルタント
■博物館の自然史系学芸員 など

【その他】

■大学院進学
■中学校・高等学校教員(理科・数学・情報)
■国家公務員および地方公務員(技術職・総合職) など

夢を芽吹かせた先輩に
聞いてみよう！



大学の学びで一番よかったところは？

福島大学の魅力の1つは「先生方との距離が近い」ことです。自分の学部や研究室に限らず、どの先生にも話しかけやすい雰囲気がありますし、質問に対しても気さくに応えてくれます。先輩ともつながりが生まれるので、どんどん先生に話しかけてみましょう。

夢を叶えるためにがんばったことは？

在学中に「放射線取扱主任者」という国家資格を取得しました。この資格は第1種と第2種があり、福島大学では放射線科学専修プログラムを通じて第2種の取得を目指せます。また、より高度な第1種への挑戦もサポートしてもらえます。

後輩へのメッセージをお願いします。

大学で学ぶ中で、自分の得意・不得意な分野や、より興味がある分野を見つけるのが大事だと思います。そのために、さまざまなジャンルに挑戦してみましょう。自分の中で方向性が定まれば進路選択や就職活動に役立ちます。



食農学部

定員 135 名

(仮称)
食農学科 (仮称)

- 食品科学コース
- フィールド環境学コース
- 農業科学コース
- 農業経営学コース



「土・水」から「食卓・社会」まで、
未来の食と農を拓く人材を育成

農場実習やフィールドワークを通して食と農を総合的・実践的に学び、世界や地域社会が直面する食と農に関する諸課題の解決に貢献し、人々のよりよい暮らしや社会の仕組みを考えることができる知識・技能と応用力を備えた人材を養成します。

身につける能力

- 農学の専門知識を関連産業や地域社会の実践的な取り組みにつなげる力
- 異なる専門分野との学際的な交流によってチームプレイを推進できる力
- グローバルな科学的知見や国際比較の情報を地域の課題解決に活かす力
- 温かい眼差しと冷静な分析力によって地域社会への貢献を持続できる力

学類長メッセージ

福島で食と農の課題に 実践的に取り組む

「福島で世界に羽ばたくひとづくり」は、飯館村道の駅「まてい館」の石碑に食農学類有志で刻んだメッセージです。食農学類は2019年に開設され、すでに4年間で約400人が卒業して、国や地域、企業、経営、研究の各分野で活躍しています。学修では、本学類の理念「実践性」、「学際性」、「貢献性」、「国際性」が強く意識されています。特に、地域の人々と積極的に関わり、地域の食と農の問題を解決することを通じて、よりよい社会や生活、経済を実現することを学びます。研究では、大学院の修士課程(食農科学研究科)、そして博士課程(岩手大学大学院連合農学研究科)、就職先の研究機関で先鋭的な研究を進め、成果を学会や社会で発信しています。食農学部も、この理念を引き継ぎます。福島で学んで研究し、地域と世界に貢献しましょう。



食農学類長 河野 恵伸 教授

食農学部の 特色

学びと理解を深める

農学専門教育と農学実践型教育

食農学部は、よりよい社会の創造に向けて農学の専門性を活用し、新たなフードシステムの創出に貢献できる人材を養成します。日本やモンスーンアジア等の農林業と食生活を深く理解するために設けた学びは「農学専門教育」と「農学実践型教育」の2つの柱からなる新たな農学教育。1年次から基盤科目、専門基礎科目を学び、2年次後期から4つのコースに分かれて専門教育科目を学びます。特色の一つは「実践的な農学の重視」であり、入学直後の1年次前期から農場基礎実習がスタートします。また、学際的な連携力を育みながら専門性を深めていきます。それによって身につけた分野に固有の概念や思考法を、他分野の人にわかりやすく伝える力も養います。2年次前期から3年次にかけては、県内各地で農学実践型教育を実施し、学生・教員の混成チームで取り組みます。これは、実践性・貢献性に加えて、学際性の向上を意図して行われています。



学びを
未来へと進化させよう!

教員に聞く
～ゼミで学ぶ意義とは～

食農学類 岡野 夕香里 准教授
研究分野 植物保護科学

本ゼミでは、作物が病気になる原因や仕組みを明らかにして、病気を防ぐ方法を考えます。作物は品種改良によっておいしさや収量が上がる一方で、病気に対する抵抗性が低下する場合があります。そのような観点からおいしさと病気に強いという2つの側面を持つ作物を作る秘訣がどこにあるのか探っています。

また、土の中の菌やウイルスによる病気にも注目し、対策を研究しています。研究から得られた知見や成果を農家や関係機関と共有し、福島県をはじめ日本中で活用されることを目指しています。

※所属・学年は取材当時のものです

食農学類 岡野ゼミ

植物病理学を専門に、作物がどのように病気になるか原因を探り、防除法を研究します。この研究によって収量の減少を防ぐ成果が見込まれます。土壌病害やウイルス対策にも取り組み、文献読解や発表を通して課題発見力と研究結果を伝える力を養います。

文献読解と発表で、理解力と伝える力を養う

学生に聞く
～ゼミを通して学んだこととは～

食農学類 4年 菅野 晴心 さん

植物が病気になる仕組みや海外と日本での病害の違いについて論文を読んで理解を深めています。当たり前だと思っていた作物の栽培も、病気との関係を知ることで見え方が大きく変わりました。印象に残っているのは、作物は改良されると病気に弱くなる場合があるという点です。おいしさや収量だけでなく、病気に強い品種に改良する重要性を学びました。また、論文を読み自分の言葉で要点をまとめ発表することで、理解力と伝える力が身につきました。今後は実験を通して、農業の分野で役立つ知識を深めたいです。

初年次から実践型の農学を学び、
段階的に専門性を高めることで学際的な思考を養う

実践的な農学を重視している食農学部では、1年次から農場での実習が始まります。2年次前期から3年次にかけては、福島県全体をキャンパスにした農学実践型教育を実施し、学生・教員が地域に通い、食と農にかかる地域課題の解決を目指します。また、2年次後期から、生産環境・農林業・食品産業・フードチェーンに対応する4つの専門コースに所属します。各コースは有機的に結びつき、近年重視されている「消費者視点で考える農産物生産」など、専門分野を越えた学際的な思考力を養います。



取得学士号	学士（農学）
取得できる 免許・資格	■ 高等学校教諭一種免許状（農業、理科 ※） ■ 食品衛生管理者（任用資格） ■ 食品衛生監視員（任用資格） ■ 食の6次産業化プロデューサー ■ 危険物取扱者（受験資格） ■ 自然再生士補 ■ 環境再生医初級 ■ 樹木医補 ■ ビオトープ管理士（受験科目一部免除）
※理科については他学部で開講されている授業の単位を取得する必要があります。	

	1年次		2年次		3年次		4年次	
学びの目標	基礎教育と農業関連産業の基礎を身につける		グローバルな視点から専門をとらえる教養と農学の専門基礎を身につける		食料・農業の実践に関する専門知識・技術の習得と社会基盤の理解		ディプロマポリシーの達成	
課 程	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
	教養・農学基礎課程			農学専門教育課程－専門を基礎とした実践的農学－				
				2年次後期よりコースの選択	食品科学コース			
					農業科学コース			講 義
					フィールド環境学コース			+
					農業経営学コース			実 験
								+
								実 習
	共通専門基礎科目			コース専門科目				
	数理リテラシー ・基礎数学 ・化学 ・統計学 ・生物学 ・物理学 農学リテラシー ・食品科学概論 ・フィールド環境学概論 ・農業科学概論 ・農業経営学概論 ほか		・世界の食料と農業	・食農データサイエンス (2年次後期) 1年次実習の成果を踏まえ、農産物加工、生産環境整備、農業経営に関する基礎的な情報処理・データ活用演習を実施	専門知識と実践力を融合させます		研究室配属 卒業研究科目 ・卒業研究基礎演習	・卒業論文
・農場基礎実習Ⅰ (1年次前期) 学内及び周辺に設けた農場で、米・果樹・野菜などの栽培実習や収穫・貯蔵などの実習を実施		・農場基礎実習Ⅱ (1年次後期)	共通演習科目				・卒業研究演習Ⅰ(前期) 各研究室で関連領域の研究を行い、より高度な専門知識と実践力を修得	・卒業研究演習Ⅱ(後期)
		・食農実践演習Ⅰ (2年次前期) 福島県内の地域概要や農業と食をめぐる課題等について学び、実践的な学修に向けた基礎事項の整理を実施	1年次から4年次まで切れ目なく演習・実習科目に取り組みます		・食農科学英語演習 ・食農地域実習(就業体験科目) ・食農実践演習Ⅱ(3年次通年) 4コース横断でチームを編成し、地域課題解決型プロジェクトに取り組んで実践力を養成			
専門教育								
基盤教育	アカデミックスキルズ科目							
	ライフマネジメント関連科目							
	外国語科目							
	教養科目							
	自主学修プログラム							
自由選択	自らの興味・関心にしたがって、基盤教育及び学部内外の科目から選んで履修する							
アドバイザー教員 クラス担任等のアドバイザー教員が定期的に面談し、履修や学修、生活、進路等について助言します。 1年次前期～2年次前期 クラス担任・副担任 2年次後期～3年次前期 コース担任・副担任 3年次後期～4年次 研究室指導教員								

食品科学コース

食品の栄養や機能を解明し、豊かな食と健康を創造する

食品の栄養素や機能を分析するための専門的な知識と技能を身につけるコースです。併せて安全性やおいしさなどに優れた食品の製造を理解し、新商品開発に挑戦できる人材や、発酵や醸造学の学びを通して地域の食の伝統的な強みを活かせる人材の育成を目指します。

教員紹介 ※2026年4月1日現在

西尾 俊亮 (食品機能学Ⅰ)	升本 早枝子 (食品保蔵学)
平 修 (食品機能学Ⅱ)	金子 大作 (食品分析学)
尾形 慎 (食品素材科学)	島 純 (発酵・醸造学Ⅰ)
吉永 和明 (食品加工学Ⅰ)	藤井 力 (発酵・醸造学Ⅱ)
熊谷 武久 (食品加工学Ⅱ)	

PICK UP!

食品素材科学

食品は、ただの「食べ物」ではなく、分子の集まりです。本講義では、水分・糖質・脂質・タンパク質といった身近な成分を、有機化学の視点からやさしくひも解いていきます。同じ種類の成分でも、分子構造の違いによって性質が大きく変わる面白さを、日常の食品を通して感じてみましょう。さらに、原料となる農産物から食品へと至るつながりにも目を向けます。資源の有効活用や持続可能な食の在り方について考えるきっかけとなることを目指します。



フィールド環境学コース

生産資源と生産活動のシステムを学び森林・農山村環境の保全と利活用を推進する

生産環境の保全と活用に対する専門知識や技術を身につけるために、森林・農地・水環境等の生産資源と生産活動を管理・運用するシステムを学びます。また本学部以外のコース科目の学びを通して、多角的視野から生産環境を探索し、保全と活用を実践できる人材の育成を目指します。

教員紹介 ※2026年4月1日現在

福島 慶太郎 (森林生態系管理学)	申 文浩 (環境水理学)
望月 翔太 (森林保全学)	原田 茂樹 (土壌物理学)
藤野 正也 (森林利用学)	牧 雅康 (農業リモートセンシング)
石井 秀樹 (里山管理論)	窪田 陽介 (スマート農業論)
萩原 幹花 (森林生物機能生態学)	神宮宇 寛 (農村計画学)

PICK UP!

森林科学

日本の森林は国土面積の約70%を占めており、私たちの生活は、森林の生態系が創り出す様々な恵みによって支えられています。こうした森林生態系の多面的な機能が発現されるしくみや、地域の農業との関係、人による森林利用の歴史、野生動物管理のあり方、及び地球環境問題や放射性物質による汚染の実態と今後の課題について実例に基づき学びます。



農業科学コース

気候変動に対応した革新的農業生産技術を開発する

作物栽培や畜産に関する最新技術や知見を駆使し、農畜産物生産、食料生産、栽培資源利用などの農業生産に関わる諸問題を解決する専門知識と技術を身につけます。その上で新品種の開発と既存品種の見直し、栽培・飼養技術の革新、病虫害の農業被害管理といった技能の修得を目指します。

教員紹介 ※2026年4月1日現在

高橋 秀和 (作物育種学)	高梨 琢磨 (応用昆虫学)
新田 洋司 (作物学)	岡野 夕香里 (植物病理学)
渡邊 芳倫 (環境保全型農業論)	大瀬 健嗣 (土壌科学)
深山 陽子 (蔬菜・花き園芸学)	高木 大輔 (植物栄養学)
高田 大輔 (果樹園芸学)	寺田 圭 (畜産学)

PICK UP!

畜産学特別実習

「畜産学特別実習」は、農業生産における畜産の重要性を実践的に学ぶ2泊3日のプログラムです。充実した農場で、飼料作物の学びから牛の飼養管理・搾乳、最先端の生殖科学実験、乳製品加工までを一貫して体験します。作物から家畜、食品へと繋がる農業生産のダイナミックな循環を体感できる実践的な授業です。さらに、学年を越えた仲間との実習や交流を通して、次世代の農業を支える広い視野を養います。



農業経営学コース

これからの地域社会と農業の活性化を担う人材を育成

フィールドワークを重視した農業経営学を軸に、生産から加工・流通を経て消費に至るフードシステムに関わる問題を解決する知識と技能を身につけます。また他コースの科目を履修することで得られる多角的な視点で、今後の地域農村社会の現場を担える人材の育成を目指します。

教員紹介 ※2026年4月1日現在

福田 洋介 (農業経営学)	小山 良太 (協同組合法)
原田 英美 (農産物流通論)	高野 真広 (農業政策学)
河野 恵伸 (食品マーケティング論)	林 薫平 (農林資源経済論)
則藤 孝志 (フードシステム論)	

PICK UP!

農業経営学演習

農業経営学コース3年次の必修科目です。文献の輪読、レジュメ作成、文献の検索、様々な調査・分析手法、調査票の作成、調査結果のとりまとめ・発表など、卒業研究に必要な知識やスキルを、フィールドワークを通じて1年かけて学びます。フィールドは、郡山市、二本松市、いわき市、福島市など年によって変わりますが、地域の皆さんの協力を得て実施し、学生たちはグループに分かれて主体的に取り組む中で成長します。



1 年次 入学後すぐに始まる「農場基礎実習」

基礎教育と農業関連産業の基礎を学ぶ

福島ブランド農業

福島のもも（あかつき）、岩瀬キュウリ、南郷トマト、伊達のあんぼ柿、奥会津金山赤カボチャ。福島県には、長い年月をかけてブランドを築いてきた農産物や食品が数多く存在します。震災と原子力災害に立ち向かい、乗り越えようとするなかで、新たにブランディングを図る挑戦も各地で始まっています。福島県が誇る主要品目や各地の実践事例を学びながら、これからの「福島ブランド農業」の課題と方向を一緒に考えてみましょう。



震災農村復興論

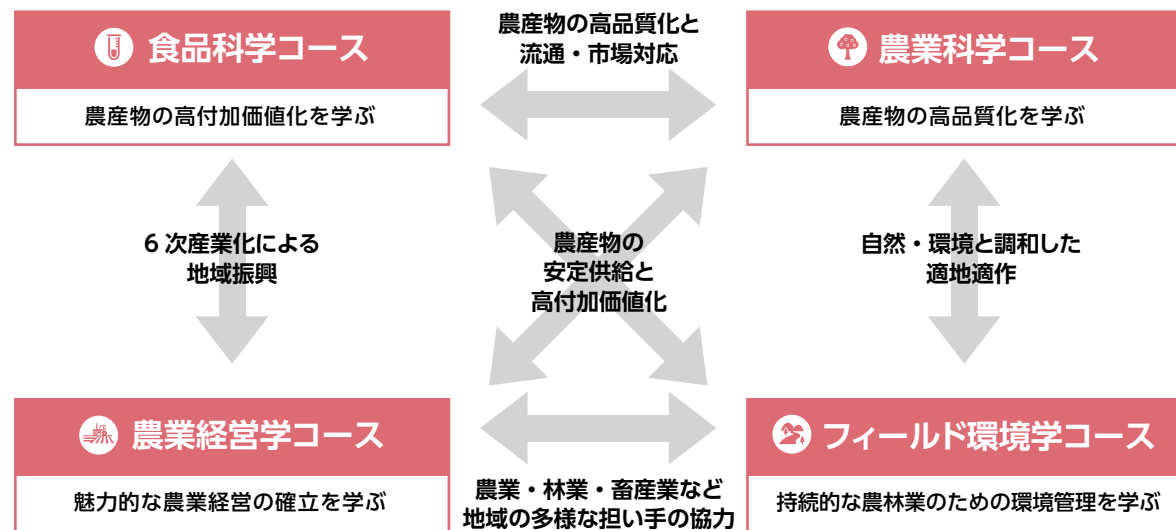
東日本大震災と原子力災害の発災から、復興をめぐる行政、政策、制度が大きな転換点を迎えています。この授業では、放射能の基礎的な知識を修得した上で、福島の原子力災害を自然・社会・経済など多角的観点から学びます。また、残された課題を検討するとともに、被災地域をはじめ我が国や国際社会に対して、食農科学が果たすべき役割について考えます。



2 年次 後期から始まる「農学専門教育」

4 領域を学び食と農のプロになる

フードチェーンの上流にあたる「フィールド環境学」、中流の「農業科学」、下流の「食品科学」、そして全体を見通す「農業経営学」の4つの履修コースから専門的に学びます。専門知識を身につけるだけでなく、各コースが有機的に結びついた教育を実施。近年重要視されている「消費者視点で考える農産物生産」など、専門分野を越えた学際的な思考力を養います。



「コース横断型教育プログラム」 学際性を重んじる教育

食農学部では、分野を横断して学修の幅を広げ、学際性をより強化し、イノベーション人材を育成することを目的とした「コース横断型教育プログラム」を、令和9年度より新設します。コース専門科目にとどまらず、分野を越えた科目をグループ化し、実践性、国際性、貢献性を育みます。

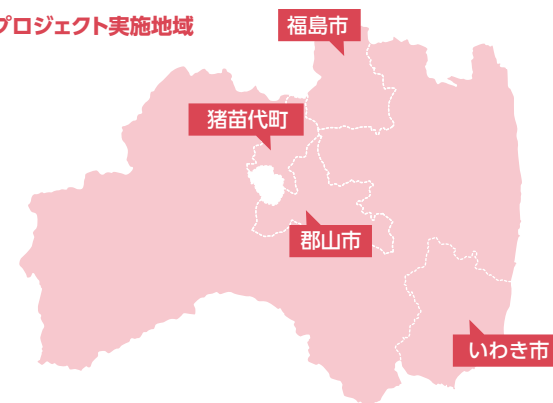
- アグロエコロジープログラム（学士課程版）
- 衛生管理プログラム
- 農業DXプログラム
- スマート農業プログラム
- 食糧問題プログラム
- 林業普及プログラム

2 年次前期 ~ 3 年次通年 「農学実践型教育」

福島県全体をキャンパスに！

学生・教員・地域の人々がタッグを組んで、自治体で行う「食農実践演習」科目。現地の課題解決に向けて学びを深めるカリキュラムです。この演習のもっとも肝心な部分は、食品科学・農業科学・フィールド環境学・農業経営学の4つの履修コースから学生・教員が集まり、専門コースの混成チームが編成されること。コースの異なるチームメイトと協力しながら、月に何度か地域に通い、課題を分析し、解決策を提案する、実践性・貢献性を重んじるとともに、学際的な交流を大切にするプログラムです。本学部の専任教員が総員で取り組むのも、実践型教育にかける熱意の表れ。地域社会に貢献しながら、将来に広く役立つ学際性・実践力を育みます。

プロジェクト実施地域



プロジェクト例

6次産業化	ワイン・日本酒、発酵食品（納豆・味噌など）、機能性食品、医福食農連携
先端農業の推進	スマート農業とICT（情報通信技術）活用、GAP認証、魅力的な農業の事業モデル構築
福島ブランドの復興	県特産品のブランディング（米・畜産・園芸）、風評払拭、地産地消マルシェ
地域再生	里山再生、循環型農業、菜の花で地域づくり、バイオマス活用と地方創生



Notable Research

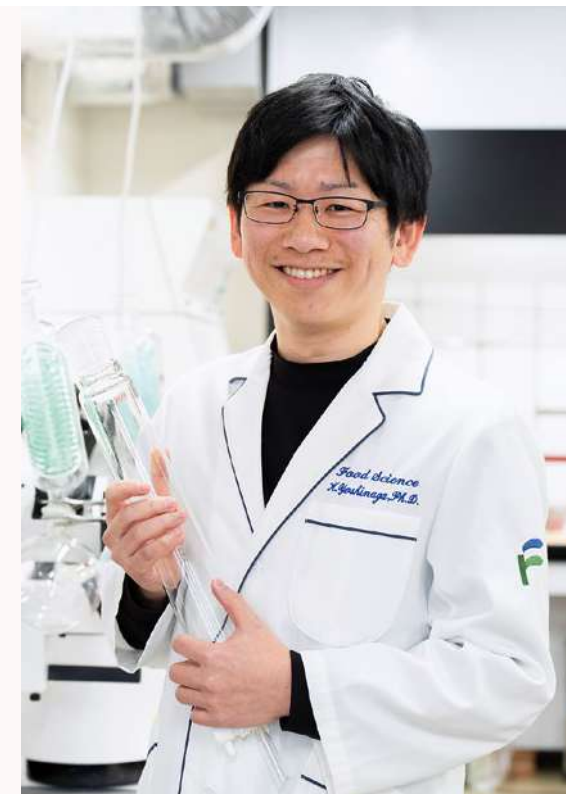
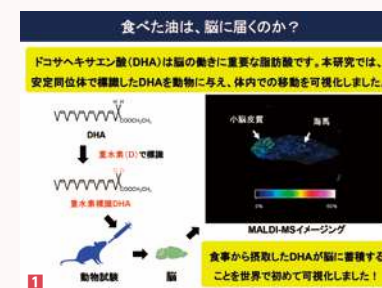
油脂の健康機能とおいしさの解明を通して「体に悪い」というイメージを解消したい

油脂が持つ健康機能とおいしさへの関わりをテーマに研究しています。一般的に「油は体に悪い」というイメージを持たれがちですが、油脂は種類や摂取量によって体に良い働きを持つことが知られています。こうした専門知識と一般消費者の認識のギャップを埋めたいという思いで、日々研究に取り組んでいます。

研究テーマの一つは、油脂の健康機能の解明です。DHAなど魚の油に含まれる成分に注目し、脳機能や認知機能との関わりを調べています。主に、摂取したDHAが脳へどのように移行するのか、また母親が摂取したDHAが母乳を通して子どもにどの程度届くのかを、マウスを用いた実験で調べています。これらの研究を通して、認知機能の発達や維持に寄与する食生活のあり方を解明しています。

もう一つは、油脂とおいしさの関係の解明です。特に食品の香りに着目し、油の種類によって香りの立ち方や感じ方がどのように変化するのか研究しています。主な研究成果として、油脂を使うことで食品の香りをコントロールできることが分かってきました。油の種類によって、香りの揮発を抑えたり持続させたりすることができ、嫌な香りを感じにくくしたり、コクを感じさせたりできます。この成果は食品のおいしさの向上につながっています。

最近では、福島牛の香り成分を科学的に解析する研究にも取り組みました。分析結果から福島牛の香りは、評価の高い和牛と比較して大きな差がないことを明らかにしました。これにより、福島牛の品質の高さをアピールでき、風評払拭にもつながると感じています。このように、地域や企業と連携した油脂の研究を通して、健康機能とおいしさの観点で地域資源の価値向上にも寄与しています。



食農学類 食品科学コース
吉永 和明 教授
研究分野 油脂のおいしさと健康機能、食品の香り分析

1 マウスを使用した実験を通して、食事から摂取したDHAが脳に蓄積されることを世界で初めて可視化しました

2 ゼミ生は各自のテーマに沿って協力しながら研究を行っています。和気あいあいとした雰囲気の特徴です

食農学類生の 1週間 & 4年間 の学びをのぞいてみよう！

進路を決めるにあたり、4コースの学問をまんべんなく勉強します！



食農学類 2年 東海林 尚輝 さん					
夢中になっていること 映画鑑賞 (特に洋画)		所属サークル 食農cafeサークル		将来の夢 衰退地域を農業の分野で活性化させる	
月	火	水	木	金	
1	森林科学	土壌科学		農業工学	世界の食料と農業
2	食品安全学	英語B I	1年生の時に基礎教育をほとんど終えたので、水曜日は丸一日休み！大学の課題をこなしたり、アルバイトを入れたり自由に過ごしています。実家にふらっと帰ってリフレッシュすることもあります	農業経営学	
3	食の安全・安心を確保するための考え方を習得します	キャリアモデル学習		農業経営問題について学習するほか、財務管理等の知識を習得します	食農実践演習 I
4		食料や農業に携わる社会人や技術者、農家と交流しキャリアモデルを学びます		英語B II	福島県内の食と農が抱える問題についてフィールドワークを行います
5					

Comment

私は1年次の時に基盤教育科目の単位をほとんど取得しました。2年の時間割は食農学類にある4コースの概要を知ること目標に組みました。学年のみんなと取り組む「食農実践演習」でフィールドワークを行い、学修進路を決めていくのが楽しみです！

サークル活動

所属している食農cafeサークルでは、月に1～2回みんなでお菓子を作っています。1年次の時は学祭でりんご飴と豚汁を作って販売しました。準備が大変でしたが、お客さんに喜んでもらえて達成感がありました。食農学類の先輩方とも仲良くなりました！



4years

食農学類 4年 西村 優菜 さん

夢中になっていること
旅行とK-POP

所属サークル
食農cafeサークル
カバーダンスサークル

将来の夢
認知症に効果があり、気軽に摂取できる食品の開発



1年次	2年次	3年次	4年次	卒業後
今後の学びに必要な知識と技術を習得する 大学構内の農場で、キュウリやトマトなどの栽培や機械の操作を学びました。農学に欠かせない基礎知識と技術を身につけるとともに、農家の方々の苦労を実感する貴重な機会となりました。	4つの地域から1つを選択し特性を知る演習が開始 選んだ猪苗代地域の歴史や風土を学び、トマトや米農家の方から栽培方法や苦労を聞きました。農家同士が支え合い「猪苗代ブランド」の野菜づくりに取り組んでいると知り、地域のつながりの重要性を知りました。	応用演習で地域の課題を発見し成果を発表する 猪苗代の特産品であるトマトを使った新しいお土産を考案しました。提案したのは、トマトパウダー入りのあんこまんじゅうを揚げた「天ぷらまんじゅう」。完成したあんこの試食会や成果発表を行いました。	ゼミ配属が決まり自己研究を深め卒業論文を完成させる 食品機能をテーマとしたゼミに所属し、研究活動に取り組んでいます。今後は大学院への進学を予定しており、パーキンソン病を研究する先輩方の指導のもと、研究手法や心構えについて学びを深めています。	大学院に進学し研究テーマをさらに追求していく 認知症に効果が期待される食品や、日常的に摂取できる食品について研究したいと考えています。そのため、これまでの研究成果を学ぶとともに、マウスの経過観察などの実験にも取り組み、研究を継続していきたいです。

Comment

在学中に大好きな祖母が認知症になりました。認知症はまだ完全に治す薬がありませんが、食べ物について学んできた私だからこそ、食品の面から認知症の予防や症状の緩和に貢献できるのではと考えるようになりました。研究を続けることで、認知症がなくなることへの一助になればうれしいです。

Best memory

3年の秋に携わった福大食農フェスタの運営です。出店者への声かけや小学校へのチラシ配布、企業との打ち合わせなど、幅広い役割を担いました。深夜まで作業することもありましたが、当日は家族も来てくれて大学生活の中でも特に思い出深いイベントになりました。



※所属・学年は取材当時のものです

地域で活躍する先輩たち

福大発 ▶ 社会人



福島県庁
移川 珠理 さん(農業生産学コース 2024年卒業)

大学で学んだ土壌や肥料の知識を活かし 福島県の稲作の安定生産に貢献したい

私は食農学類で植物栄養学を専攻しました。卒業研究では、有機物の投入量や成分比を工夫することで土壌環境を改善し、作物の生育に与える影響を明らかにしました。フィールドワークや演習を通して、農業は、化学肥料だけに頼るのではなく、有機質資材の施用と組み合わせた「土づくり」が重要であることを実感しました。

現在は水田畑作課の稲作担当として、主に水稻種子の安定生産・供給に関わる業務を担当しています。情報共有を大切にしながら、文書作成などを通じて関係機関との調整を行っています。

現在の業務においても、大学で学んだ土壌肥料に関する知識が施策検討などに活かされています。今後は、土壌肥料に限らずさまざまな分野の専門性を高め、周りの方々から信頼される職員になりたいと考えています。それぞれの地域をよく理解しながら、熱心に業務に取り組み、福島県の農業の発展に貢献したいです。



※所属は取材当時のものです

夢を芽吹かせた先輩に
聞いてみよう！



大学の学びで一番よかったところは？

大学で最も印象に残っているのは、福島大学の独自プログラムである「復興知プロジェクト」への参加です。被災地域での農業体験や地域の方々との交流を通して、土づくりによる生産性向上や地域農業の可能性について学びました。この経験が、農業の道に進む大きなきっかけとなりました。

夢を叶えるためにがんばったことは？

大学では、専門知識の習得に力を入れるとともに、現地に足を運び、実際に見て学ぶ姿勢を大切にしてきました。また、アルバイトや地域活動を通して多くの人と関わる中で、コミュニケーション能力の向上に努めたことで、面接にも活かすことができました。

後輩へのメッセージをお願いします。

「自分から積極的に動くこと」を大切にしてほしいです。大学生活はあっという間なので、受け身にならず、自分から現地に飛び込んでください。食農学類はアットホームな雰囲気です、先輩方が親身に指導してくれます。ぜひ、能動的に活動し、周りの方々に相談しながら自分のやりたいことを見つけてほしいです。

卒業後の主な進路

- 地方公務員(農業技術系専門職・行政職)
- 国家公務員(総合職・一般職)
- 高校教員(農業)
- JAグループ
- 森林組合
- 食品関連企業
- IT・通信関連企業
- 金融機関
- 建設コンサルタント
- 環境コンサルタント
- 飼料メーカー
- 農業生産法人
- 就農
- 大学院進学 など

大学院

Graduate school

大学院には地域デザイン科学研究科、理工学研究科、食農科学研究科、教職実践研究科の4つの研究科があります。加えて岩手大学が設置した連合農学研究科(博士課程)にも参加し、高度な教育研究活動を展開するなど、各研究科の専門性を活かした高度専門職業人・研究者を育成しています。また、社会人にも門戸を開き、社会人特別入試、昼夜開講制、長期履修制度、土日集中開講などを導入することで、スキルアップ、修士号、博士号取得などに意欲的な社会人のニーズにも対応します。東日本大震災以降、「福島」の使命として、災害復興、食と農の問題、再生可能エネルギーなどに対応したプログラムを設けることで、地域社会にとどまることなく、グローバルな視点で、世界に起こり得る諸課題に先進的に取り組みます。



修士課程

地域デザイン科学研究科

地域デザイン科学研究科は、福島大学の人文社会科学系研究者を集め、多分野にわたる豊富なスタッフがタッグを組んで、複雑かつ困難な地域課題に挑戦していく大学院です。3つの専攻で専門的な力を伸ばしたり、分野をまたがる学際的な学びで課題対応力を付けたりしながら、新しい地域のあり方をデザインしていくことのできる高度職業人を養成します。



博士前期課程 博士後期課程

理工学研究科

「共生」の観点からさらに専門性を深化させ、新しいシステム科学を構築、発展、継承できる人材と、これらの課題解決に実践的に貢献できる高度専門職業人・研究者を養成します。

人間文化専攻

- 言語文化コース ■ 地域文化コース ■ スポーツ・芸術文化コース
- 人間発達心理コース

人間文化専攻は4コースから構成され、人間と文化に関してさまざまな分野から研究を進めます。言語文化コースは、言語学などを中心に、日本語や英語などに関する研究を深めていきます。地域文化コースは、地域社会におけるさまざまな文化に関して歴史・地理・経済・社会・倫理・食物・被服などの人文・社会科学的・生活科学的な研究を進めます。スポーツ・芸術文化コースはスポーツ・健康科学、音楽、美術に関する専門的な研究と文化の創造を進めます。人間発達心理コースは、特に子どもの発達と人間の心理に関する専門的な研究を進め、問題行動への支援などを行います。

地域政策科学専攻

- 法・政策コース ■ コミュニティ探究コース

地域政策科学専攻は学際的な2コースから構成されます。地域課題を政策的に考究する法・政策コースと、文化やコミュニティの問題を扱うコミュニティ探究コースが置かれています。

経済経営専攻

- 経済学コース ■ 経営学コース

①経済学コースでは経済学的諸問題について理論的・実証的な分析に取り組みます。②経営学コースではビジネスに関わる体系的な学修、会計学分野では会計・税務に関する科目群を集中的に学びます。

共生システム理工学専攻

博士前期課程

- 情報理工学コース

数学、情報科学、経営システム工学、及びそれらを基礎とする数理・情報システム分野の研究を行っています。

- メカトロニクスコース

物理学、機械工学、電気電子工学、制御工学、及びそれらを基礎とする物理・メカトロニクス分野の研究を行っています。

博士後期課程

- 共生数理システム領域

さまざまな産業分野において地域社会のニーズに応え、人と共生可能な工学系システムの創出を支える能力を養成することに取り組みます。

- 分子デザイン科学コース

化学、材料工学、化学工学、エネルギー工学、及びそれらを基礎とする物質・エネルギー科学分野の研究を行っています。

- 環境システムコース

生物学、心理学、地学、気象学、水文学およびそれらを基礎とする生命・環境分野の研究を行っています。

- 共生環境システム領域

持続循環型産業システムの創生、自然環境システムの解析・予測・保全、人間環境システムの管理・計画、人間の心理・生理を解明する能力の養成に取り組みます。

環境放射能学専攻

博士前期課程

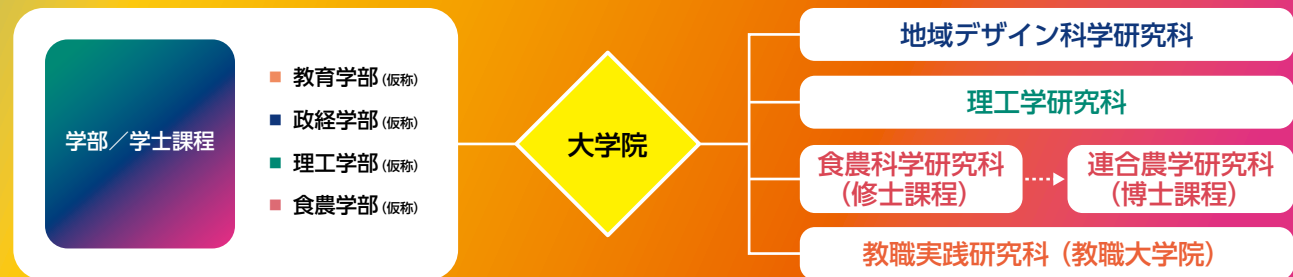
- 環境放射能学コース

本専攻博士前期課程では、1つのコースに3つの分野(生態学分野、モデリング分野、計測分野)があり、学士課程で培われた基礎的な能力をさらに発展させ、環境放射能に関する高度な専門知識、実践的な知識運用、また多元的な視点から課題解決するための能力を習得します。

博士後期課程

- 環境放射能領域

本専攻博士後期課程には、1つの領域が設置され、学際的な枠組みを有する環境放射能学において、未知の課題に挑戦する専門職業人および研究者を育成します。放射能・放射線およびその環境動態の専門知識を基礎とし、それらを進化・融合・発展させ、人類の安心・安全な社会・環境を構築できる人材を育成します。



修士課程

食農科学研究科

食農科学の各分野の専門性を持ち、同時に学際性志向も兼ね備え、地域の課題を抽出して解決する力と国際的な地域課題にも対応できる力を持つ高度専門職業人・研究者を養成します。

食農科学専攻

- 食品科学コース ■ 農業生産科学コース
- 生産環境科学コース ■ 農業経営科学コース

1研究科・1専攻の体制のなかに食品科学、農業生産科学、生産環境科学、農業経営科学の4コースを設けています。本研究科の教育課程の方針として、食品科学の分野を含めた農学の全ての分野を扱い、食と農のフードチェーンを統合的に扱う人材の育成を目指した教育研究を行います。

岩手大学大学院連合農学研究科は、岩手大学、弘前大学、山形大学、福島大学各大学の教育と研究の特色を活かして運営されています。食農科学研究科(修士課程)の大学院生(修士)は連合農学研究科(博士課程)へ進学し、さらに研究を深めることができます。

生物生産科学専攻

生物資源科学専攻

地域環境創生学専攻

福島大学から博士課程へ進学した学生は、岩手大学大学院連合農学研究科に在籍し、福島大学に配置されて研究を進めます。福島大学の指導教員は、岩手大学大学院連合農学研究科併任の指導教員として学生を指導します。



博士課程

連合農学研究科(岩手大学大学院連合農学研究科)



専門職学位課程

教職実践研究科(教職大学院)

「理論と実践の往還」を通して資質能力の向上を図り、地域課題や現代の教育課題に果敢に挑むイノベーション人材(高度専門職業人)としての教師を養成します。



教職高度化専攻

- ミドル・リーダー養成コース ■ 授業デザインコース
- 特別支援教育コース

課題意識や経験年数に応じた3つのコースにより、「理論と実践の往還」による実践型教員養成機能に軸足を置きつつ、確かな課題意識・豊かな想像力・着実な実践力といった資質能力の高度化を図り、「ミドル・リーダー」「次のミドル・リーダー」「次世代のミドル・リーダー」を養成します。

※コース名称は現在構想中であるため、変更になる可能性があります。

学生サポート施設や最新の研究所を整備

福島大学では、地域社会の未来を支える最先端の研究に取り組んでいます。近年では、「水素エネルギー総合研究所」を設置し、地域資源を活用した持続可能なエネルギーシステムの研究が本格的に始まっています。

また、キャリアセンター、アクセシビリティ支援室、国際交流センターなどによる多様なサポートを充実させ、学生一人ひとりの成長と学びを支えています。



International Center

学生の国際交流を推進 国際交流センター

国際交流センターは、①海外の大学等との学術交流および学生交流の企画・推進、②留学生教育の企画・立案、③教育研究面での国際交流を図ることを目的として、2012(平成24)年4月に設立されました。

本センターでは、学生の派遣および受入、短期留学プログラムの企画・立案および留学生の修学上・生活上のサポートを行っています。留学生用宿舎である国際交流会館の管理運営も担当しています。

センター内では、本学と学術・学生交流協定を締結している大学の情報や、留学の報告書なども閲覧することができます。

さらに、留学や語学学習に関する図書の貸出や、希望者には語学試験対策も提供しています。留学に関わる生活や学習の相談、在留資格、地域のイベント案内、手続きなどもここで確認することができます。



Career Center

就職を支援し将来への見通しを形成する キャリアセンター

キャリアセンターは、大学における学生の多様なキャリア形成を図り、就職活動等を支援することを目的として、2022(令和4)年4月に設置されました。キャリア教育部門、キャリア支援部門、渉外部門の3つの部門を設け、学部・大学院の教員と連携し、就職先等の開拓、情報共有を行い、学生が自らライフプランを考え、納得して進路決定ができるよう、学生の成長をサポートすることを目指しています。学生向けには、キャリア相談員による書類添削、模擬面接を含めた個別相談を行っており、その他にも、OB・OG紹介、就職に関する書籍の貸出、ガイダンス・セミナー・合同企業説明会を企画・実施しています。

また、企業等からの求人・アルバイト受付の他、採用担当者との面談も行っており、採用担当者とともに本学学生を対象とした学内個別説明会を開催しています。



Healthcare Center

学生の健康的な生活を支援する 保健管理センター

1981(昭和56)年4月に設置され、1982(昭和57)年3月に専用の建物が竣工。同年4月より本格的に業務が開始されました。本センターには、医師・保健師・看護師が配置されており、学生および教職員の健康の保持増進を図るために、保健管理に関する専門業務を行っています。具体的には、保健管理計画の企画および立案、定期および臨時の健康診断の実施と事後対応、精神的および身体的健康相談、外傷・急病の応急処置、カウンセリングなどです。

また、月に一度、外部より、婦人科の医師(女性)が来所し、専門の相談に応じています。



Accessibility Support Room

多様な学生の生活をサポートする アクセシビリティ支援室

アクセシビリティ支援室は、障がいのある学生の支援を行うことを目的として、2015(平成27)年4月に設置され、障がいや疾患のある学生が他の学生と同じように大学生活を送ることができるための修学上の支援(合理的配慮)を行っています。

学生や保護者からの相談、授業担当教員や関係部署間のコーディネート、学外の社会資源との連携のもと配慮を実施しています。

また、PCノートテイク講座の開催や学習サポート、冬期間の除雪活動などの支援者となる学生サポーターの養成・派遣も実施しており、学生同士で助け合う相互支援の経験を通してお互いの協同する力をつけていくことを目指しています。



地域と連携して共に未来を創生する

地域未来デザインセンター

福島大学では、「地域創造支援センター」と「うつくしまふくしま未来支援センター」を発展的に統合し、2022（令和4）年4月に新たに「地域未来デザインセンター」（以下、デザインセンター）を設置しました。デザインセンターは、地域と大学との窓口を担うと同時に、大学による地域貢献を推進する役割も担っています。福島県は、急激な人口減少や少子高齢化、震災からの復興など複雑かつ特有の課題を抱えています。福島大学の持つ専門知と、地域の課題やニーズを繋ぎ、「幸福度の高い福島の実現」を目指し活動を行っています。

主な取り組みとしては、地域のDX、震災復興、震災の記憶の伝承、社会課題解決に向けたプロジェクトの実施及び支援、起業やAI等に関する講座、イノベーション人材の育成プログラム等を行っています。いずれも教員や学生に加え、地域の市民や自治体、企業等とも連携しながら取り組んでいます。

さらに、これらの取り組みの実施や、学生含め学内外の人々が語り合い、アイデアを出し合う場と機会を創出する空間として、イノベーションcommonsやインキュベーションルームを整備しています。



原発事故後の環境放射能研究を推進し世界をリードする 環境放射能研究所 (IER)

東日本大震災後の福島第一原発事故を受け、2013（平成25）年7月に設立。環境放射能学に関する国際的研究拠点として、放射性物質の循環・その生態系への影響解明などを対象とした研究と次世代を担う研究者や技術者の育成を推進しています。環境中の放射性物質は、大気・水循環、生物活動などにより、その物理化学的形態を変えつつ環境中をダイナミックに移動しています。そのため物理学、化学、生物学、工学、環境科学、データサイエンスなどを専門とする国内外の研究者が連携し、国際的な枠組みの中で環境放射能学の知識基盤を支えています。

原子力災害の被災地域における実践的な研究・教育プログラムを実施しています。3年次後期から研究室所属が可能で、最先端の研究に触れ、主体的に研究を進めることのできる能力を養成します。学部卒業後は大学院への進学も可能。

福島原発事故から得られる知識と経験に基づき、人と環境の放射線防護体系の深化、効率的な放射能除染・除去技術の開発、農林水産業をはじめとする被災地産業の復興の実現およびその担い手の育成を目指します。

環境放射能研究所HP▶



高校生の皆さんへ

人の命が、地球上の物質の流れの中で得られる大気、水、食品としての動植物に依存しているということを考えると、環境放射能動態研究がもたらす科学的知見は、人類の営みが「持続可能」であることを目指す上で鍵となり、地球環境問題の理解と解決につながります。福島をフィールドに共に学び、世界の最前線で活躍するリーダーを目指しましょう。



福島大学環境放射能研究所
所長 難波 謙二

発酵の研究を通して食品の価値を高める

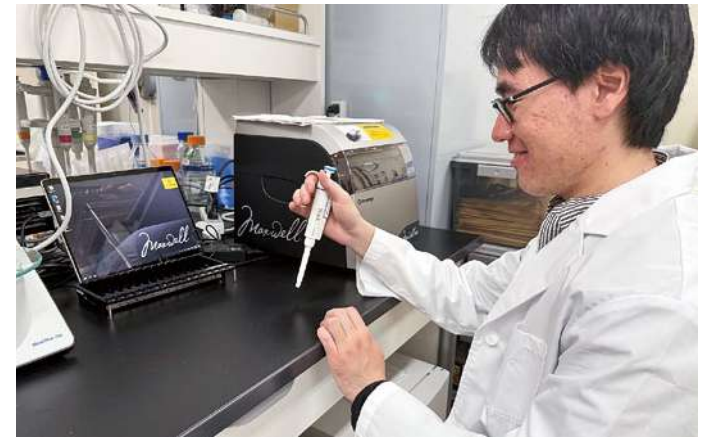
発酵醸造研究所

発酵醸造研究所は、2021（令和3）年4月に設置されました。研究所にはフードチェーンに沿って「①素材生産・環境部門、②発酵醸造食品部門、③食健康・社会実装部門」、また部門横断的な位置付けで大容量の情報・データを扱う「④データ科学部門」が配置されています。発酵醸造の総合的・学際的な研究プロジェクトを推進するため、4研究部門を統括する「研究統括部門」を配置し、研究所の管理・運営を行っています。

発酵醸造素材作物の生産から発酵微生物、発酵醸造食品とその機能までを包含する総合的な基盤研究を展開しています。

また、地域の農林水産業、食品関連産業に関連する課題解決型研究（ローカル）プロジェクトを産官学連携による橋渡し研究として推進しています。さらにこれらの成果を国際的な課題、地球規模の課題の解決にも繋げる学際的先端（グローバル）研究として発展させることを目指しています。

発酵醸造研究所HP▶



水素エネルギーを中心とした地方創生に取り組む 水素エネルギー総合研究所

水素エネルギー総合研究所は、2024（令和6）年4月に設置されました。

本研究所では、福島県の重点課題の一つである水素・再生可能エネルギーに関する教育研究を推進するため、水素を中心とした再生可能エネルギーの製造、貯蔵・輸送、利用、管理という一連のエネルギー循環を強く意識した研究を行います。

2025（令和7）年度から、内閣府地方大学・地域産業創生交付金事業「バイオマス由来水素・炭化物製造システムが導く地方創生」を開始するとともに、日本学術振興会「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」に連携大学として提案大学の山梨大学と共に進めています。今後は、これまでに本学が協定を締結した連携先と協力して教育研究体制を構築しながら、水素エネルギーを中核に据えた地方創生に取り組むため、地域の産官学が連携して魅力的な水素関連産業を創出するとともに、地域産業を担う専門人材を育成するための拠点となることを目指しています。

水素エネルギー総合研究所HP▶



Campus Map Guide

自然豊かなキャンパスで
教育・政経・理工・食農の4学部が
一緒に学んでいます



1 講義棟

大きさがS・M・Lに分かれています。S棟には学生支援課、国際交流センター、教務課、キャリアセンターもあります。

2 学生寮

キャンパス内にあり、通学に便利！家賃も格安です。部屋は個室ですが、異なる学部、先輩・後輩など多様な人との交流が魅力です。

男性寮

如月寮 (200名)
信夫寮 (150名)

女性寮

葵寮 (150名)

■ 寄宿料 7,800円/月
居室は個室 (約5.5畳、エアコン完備)

■ 共用スペース
バス、トイレ、キッチン、洗濯室
※ 食事の提供はありません

11 食農学部 (仮称) 附属農場 (畑・水田) (14,623㎡)



10 食農学部 (仮称) 附属農場 (畑・果樹園) (4,564㎡)



4 情報基盤センター

学内のネットワークに関することや、パソコン等の情報システムに関する技術的なサポートを行っています。

7 理工学部 (仮称) 棟



5 教育学部 (仮称) 棟



6 政経学部 (仮称) 棟



8 食農学部 (仮称) 研究棟・管理棟



9 環境放射能研究所



3 学生総合相談室

大学生活で出会うさまざまな悩みや相談に対して、専門のカウンセラー (公認心理師・臨床心理士) および本学職員が対応しています。どんなことでもお気軽にご相談ください。



JR金谷川駅へ



フクニチャージ図書館 (附属図書館)

自習やグループワークはもちろん
イベント利用や飲食もできる憩いの図書館

2015年に新館が完成した附属図書館。広くて明るい、大きな図書館に生まれ変わりました。静かに読書や勉強に集中できる場所はもちろん、会話をしながら、グループ学習などにも自由に使えるラーニングcommons「アリアcommons」も設置。イスや机を動かすことができるスペースや、パソコンを接続できるディスプレイもあります。自分好みの学習スタイルや目的・気分によって場所を使い分けることができる図書館です。約100万冊の図書館資料だけでなく、電子情報資源などを活用しながら、大学での学びを深めることができます。

会話OKの学習スペース

アリアcommons (ラーニングcommons)

1～3階の各フロアにある会話可能な学習スペース。3つそれぞれに特徴があり、ひとりでもグループでも、自分にあったスタイルで利用できます。



1F 本館1F アリアcommons1

図書館に入っただけにある広い空間。イベントなどで使用することもあります。奥にある「飲食エリア」には、飲食可能な学習スペースや休憩ができる場所があります。



2F 本館2F アリアcommons2

オープンスペースのほか、仕切りのある個人スペースもあります。近くには文庫、辞書、雑誌の最新号もあり、印刷物を活用しながらの勉強に便利です。



3F 本館3F アリアcommons3

パソコンと接続できる大型ディスプレイは自由に利用可能。ゆったりとしたスペースで、パソコンを使いながらグループワークをしたいときに大活躍!



個人・グループで使える学習室

4名まで利用できる個室「サクラスタディールーム」と5名以上で予約できるプロジェクト・大型スクリーンがある「リーフセミナールーム」があります。



フクニリーディングルーム (開架閲覧室)

大学での学修に必要な本が置いてあり、静かに集中して勉強できる場所です。



震災関連資料コーナー

東日本大震災に関連した災害・原発事故・復興・ボランティアなどの資料があり、研究や学習での利用の他、個人の防災等にも役立てることができます。

※福島大学は、福島日産自動車株式会社とネーミングライツ・パートナー契約を締結し、附属図書館の愛称を「フクニチャージ図書館」としているほか、フロア等にも愛称が付いています。

充実した施設で
学びをサポート

Library



学生食堂

生活スタイルに合わせて選べる2つの食堂。お弁当も充実しており、学内や自宅でもおいしいごはんが食べられます。

カフェテリア形式の大きな食堂

Dining ReaF (リーフ)



数量限定の定食から丼や麺まで取り揃えています。
好きなメインディッシュ、惣菜、サラダを組み合わせて選べるコーナーもあります。

人気メニューランキング



1F Dining ReaF 営業時間 授業がある期間 平日 9:30～19:00 / 土曜 11:00～14:00
※大学の長期休暇期間 平日・土曜 11:00～14:00

Cafeteria

手作りのお弁当屋さん

Quick Lunch グリーン



1年を通してほかほかのお弁当が食べられ、夏には冷たい麺も登場!
テイクアウトもイートインもどちらもOK!

人気メニューランキング



2F Quick Lunch グリーン 営業時間 授業がある期間 平日 11:00～14:00

福島大学生協

新生生の入学準備や住まいの斡旋から、就職活動や卒業まで大学生活のサポートを行っています。

福島大学生協購買店 「Shop Re;act」

大学会館1階にある購買店では食品、飲料、お菓子から日用品、文具など大学生活に必要なものが揃っています。店内には防災にも役立てられるように、水のペットボトルを使った巨大なローリングタワーを設置。保存食や防災グッズなど、いざというときの備えも兼ねています。店内で握るおむすびコーナーもあります。
サービスカウンターでは、自動車学校の斡旋や、TOEICの申し込み、オリジナル講座の相談などを行えます。大学生協で購入したパソコンの修理も受け付けています。

営業時間 授業がある期間 平日 9:30～19:00 / 土曜 11:00～14:00
※大学の長期休暇期間 平日・土曜 11:00～14:00



生協本部・不動産部 「こぶる一む」

学生総合共済・保険の加入・給付申請、加入証明書の発行を生協本部で行っています。不動産部「こぶる一む」はお部屋(アパート)の紹介をはじめ、管理アパートの定期巡回・清掃、相談窓口となっています。



Co-op

Student Life

福島大学でのキャンパスライフについて
学生にインタビューしてみました！



Interview

福大ならではの学びや サークル活動を楽しもう！

理工学部環境システムコースで、社会環境や文化環境に関する理解を深めたり、自然と社会の仕組みについて学んだりしています。私は新潟県出身で、東日本大震災をきっかけに福島県に興味をもち、「地域実践特修プログラム（ふくしま未来学）」など、さまざまな特色のある福島大学に惹かれて入学しました。

また、1年次から「学生ジャーナリスト（GJ）」というサークルに所属して、大学の広報活動に関わっています。学生の視点から福大の魅力を伝えようという思いで、SNSや学内ラジオなどのメディアを使って情報発信に取り組んでいます。GJは学生だけでなく、大学職員と連携したり、ほかの大学の広報組織と交流したりするのでコミュニティの幅が広がり、新しい知見が得られるサークルです。それに「めばえちゃん」という福島大学のマスコットキャラクターと接する機会が多いので、めばえちゃんファンにおすすめです。

大学生活では、学問を究めるのはもちろんですが、サークル、ボランティア、アルバイトなど多角的な視点から活動してみましょ！



共生システム理工学類 3年
栗原 佑佳 さん
新潟県 新潟県立新潟中央高等学校 出身

| ひとり暮らし | 月々の生活費 ■家賃 60,000円 ■食費 35,000～40,000円



食農学類 2年
神保 美月 さん
新潟県 新潟清心女子高等学校 出身

| ひとり暮らし | 月々の生活費 ■家賃 40,000円 ■食費 40,000円

福島大学には たくさんの出会いと学びがあります！

中学生の頃から農業に興味があり、農場での実習が多い福島大学に魅力を感じて入学しました。福島大学では、農場での学びはもちろん、座学も充実しており、農業について多角的に学ぶことができます。実習を重ねる中で、農場経営についても学んでみたり、2年次からは農業経営学コースを専攻して、農業をビジネスとして捉える力を身に付けようと頑張っています。

課外活動では、1年次から担任の先生の紹介で、「サイエンスカフェ」という活動に参加し、子どもたちに科学の楽しさを伝えるために、科学実験のワークショップや授業などを行っています。以前は人前で話すことが苦手でしたが、活動を続けるうちに段々と人に伝えることに自信がもてるようになり、勉学以外でも自分の成長を感じています。

福島大学の良いところは、先生との距離が近いところにあると思います。先生方がフランクに接してくれますし、わからない所があれば丁寧に教えてくれます。福島大学はそうした先生との出会いをはじめ、友人や先輩との出会いから、新しい自分を発見できる場所だと思います。

My Highlight

ここが魅力！福島大学

理工学部のコース選択は2年次になってからなので、1年次のうちは「進みたい分野を探せる」というのが魅力です。コースは情報理工学コース・メカトロニクスコース・分子デザイン科学コース・環境システムコースがあり、それぞれ強みや特徴をもっています。選んだジャンルとギャップが生まれないように、まずはどんなコースなのか調べてみてください！

Favorite Spot

イチオシ福大スポット！

福島大学内にいくつかある「めばえちゃんパネル」は待ち合わせや記念撮影にぴったり。中央広場のS講義棟前にもかわいい顔出しパネルがあります！



My Highlight

ここが魅力！福島大学

先生の手厚い指導もですが、新入生に対する大学のサポートが手厚いところが魅力だと思います。大学に入ったばかりだと右も左もわからず不安になりますが、福島大学生協に加入すると、わからないことを一から丁寧に教えてくれます。新入生の懇親会もあり、私はそこで気の合う友人と出会うことができました。

Favorite Spot

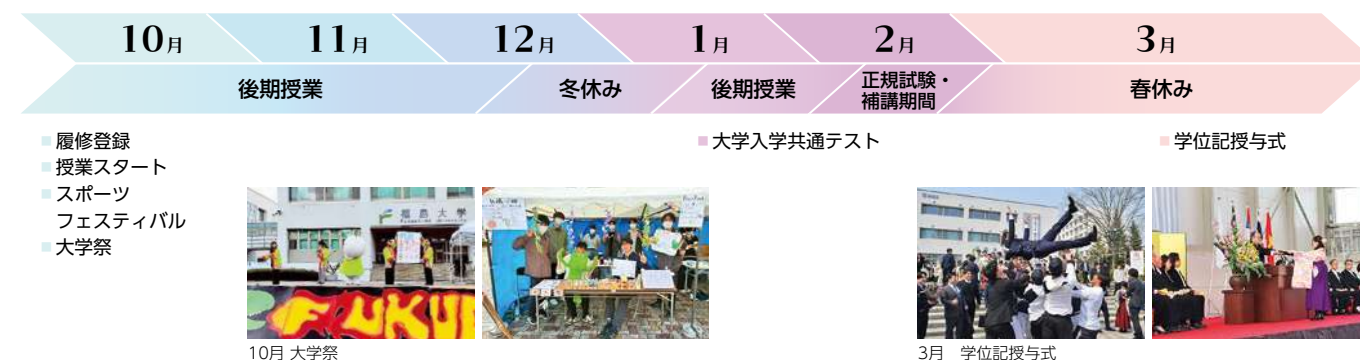
イチオシ福大スポット！

私のおすすめスポットは図書館です。朝、新聞を読みに来たり、友人と一緒に勉強したりと有意義に活用しています。蔵書の量も多く、学びを深めるのにとても役立っています。



※所属・学年は取材当時のものです

年間スケジュール



Student Interview

ちょっとこらで 途中下車

受験勉強を乗り越え、いよいよ始まる大学生活。
県内出身の人もいれば県外から来る人もいて、
不安を抱える人もいるのでは？ そんな不安を解消すべく、
福大生のリアルな学生生活の様子をお届けします。
さあ、充実したキャンパスライフへ向けて出発進行！

福大生にきてみた！

学生生活

入学 ▶ 卒業
Enrolment Graduation



く めばえちゃん

福大の 好きなところは？

- キャンパス内に猫がたくさん
いること。猫サークルもあるよ。
- めばえちゃんがかわいい！
グッズやパネルもある
- 好きな実験と研究に夜まで熱中
できる環境があること
- 四季折々の自然が豊か！
- 先生方が親切で、授業も分かり
やすい
- 学内外を問わず、いろんな人
と出会えるところ！
- 全学部が一つのキャンパスにある
ので、他学部との交流もできる
- 図書館がキレイで、飲食や寛ぎ
スペースも充実！
- 2階からの景色。山がキレイ
- 実験の内容や機材が充実している
ところ
- 野外ステージ近くの芝生。お昼を食
べたり、生ライブを聴いたりできる

く めばえちゃん

どうして福大を 選んだの？

- データサイエンスを研究できる
から
- 子どもの頃から学んできた震災を
引き続き学べるから
- ふくしま未来学など独自の講義も
あったため
- 家から通える国立大学！
- 実習の内容が濃く、実学ができる
のが魅力だと思った
- 農学だけでは学べないことが
学べるから
- フィールドワークや実習などが
充実していると思った
- オープンキャンパス時の模擬授業
が面白く、その教授の元で学びた
いと思った
- 教員を目指す上での学びが充実
していると感じたから

く めばえちゃん

福大で 良かったところは？

- 教員養成についての授業が充実
しているし、先生方も熱心
- 講義によっては社会人とも意見
交換できる
- 専門コース以外にもさまざまな
分野の科目を学べる
- コース選択が2年次なので、それ
までに興味のあるジャンルを探れる
- 学食が美味しい！
- 研究室の先輩や教授との距離が
近く一体感がある
- 優しい人が多く、人当たりが良い
- 教授同士の仲が良い
- 切磋琢磨できる一生の友達が
できました！
- 先生方が一人ひとりを気にか
けて、フランクに接してくれる
- 将来の目標を叶えるための
サポートが充実している

1 Day 福大生の 1 day Schedule

サークルをはじめ
新しいことに
チャレンジして
います！



6:30 ● 起床

7:10 ● 登校(電車通学)

8:40 ● 1限授業

グループワークで
意見交換！



10:20 ● 2限授業



12:00 ● 昼食

学食でランチ

学食は安くて
おいしいよ！



13:00 ● 3限授業

空きコマの場合は
サークル活動に参加



18:30 ● アルバイト

塾講師のアルバイトをしています



22:00 ● 帰宅 課題や明日の準備を忘れずに！

24:00 ● 就寝

学業とサークルを
両立！
充実した
大学生活です



6:30 ● 起床

8:20 ● 登校(大学の寮から徒歩5分)

8:40 ● 授業



12:00 ● 昼食

13:00 ● ゼミ

経済・経営の
理論について
学んでいます



16:00 ● サークル

放送部では
YouTubeの活動も！
#あおらし



18:00 ● アルバイト

イタリア料理店でアルバイト

まかないが
おいしい！



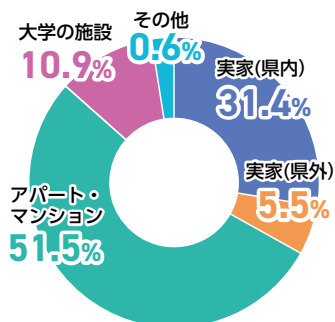
22:00 ● 帰宅

課題をこなしたり、
サークルの準備をしたりします



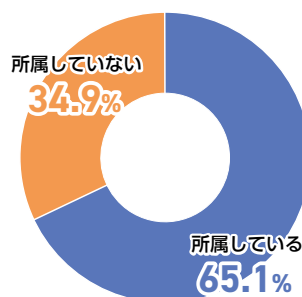
24:00 ● 就寝

一人暮らしor実家暮らし



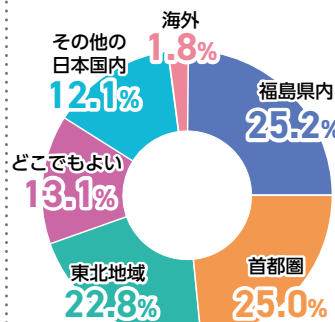
一人暮らしが多数。実家暮らし
の中には県外から通学している
人も！

サークルに所属してる？



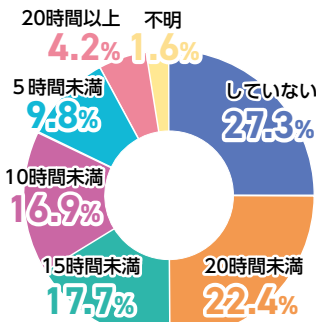
約2/3がサークルに所属。
大学生活をエンジョイして
います。

就職の希望地域は？



全国のみならず全世界に
活躍の場を広げています。

週のアルバイト時間は？



アルバイトをしている人が多数。
自分の生活スタイルに合わせて
アルバイトをしています。

人間発達文化学類 1年 岡部 充花 さん

1ヶ月の収入
アルバイト代 ¥30,000

1ヶ月の支出
食費 ¥12,000 通信費 ¥3,000
交通費 ¥12,000 その他 ¥3,000

What's in your bag?

- ① パソコン
- ② 楽譜
- ③ 手帳と本
- ④ ウォーターボトル
- ⑤ ミヤクミヤクの化粧ポーチ
- ⑥ お気に入りのサングラス
- ⑦ 推しのキーケース
- ⑧ 学生ジャーナリストの名札
- ⑨ めばえちゃんのぬいぐるみ



経済経営学類 2年 遠藤 歌織 さん

1ヶ月の収入
アルバイト代 ¥15,000

1ヶ月の支出
食費 ¥15,000 寮費 ¥13,000
その他 ¥10,000

What's in your bag?

- ① 勉強ノートと放送部の台本
- ② お気に入りのペンケース
- ③ パソコン
- ④ モバイルバッテリー
- ⑤ 財布
- ⑥ メガネ
- ⑦ USJで買ったバスケース
- ⑧ USBなどが入ったミニポーチ
- ⑨ のど飴とグミ



※所属・学年は取材当時のものです

Student Club & Circle

クラブ・サークル活動の ご紹介!



競技ダンス部

こんにちは競技ダンス部です!
「競技ダンスって何?」「ダンス未経験で大丈夫?」と不安に
思う方もいるかもしれません。でも安心して下さい。部員全員が
大学から始めた初心者なので、誰でも挑戦しやすい部活動です!
新しいことを始めたい人、大学生活で何かに本気
で打ち込みたい人は大歓迎!ぜひ一度、気軽に見学
に来てください。



硬式野球部

硬式野球部は、現在27名で切磋琢磨しながら活動しています。
2025年度は、春季リーグ戦で3位、東北地区国公立大学野球強化
交流大会で優勝と、野球を楽しみながら濃いシーズ
ンを送ることができました!野球が好きな人、大学で
も本気で野球に取り組みたい人、野球に携わりたい
人大歓迎です!かっこよくて個性豊かでおもしろい
先輩たちと充実した大学生活を送ってみませんか?



学部・学年を超えた 交流のチャンス!

福島大学には、文化系公認サークル・体育系公認サークル、非公
認サークル、その他自治会などがあります。
4月中旬には、新入生歓迎運動実行委員会主催のサークルオリエン
テーション(通称:サオリ)が開催され各サークルが学内で説明会を
行います。



福島大学サッカー部

福島大学サッカー部は、北海道や東海地方など全国各地から仲間
が集まり、選手18名・学生スタッフ5名で活動しています。昨年
からは地域企業の皆様と連携したスポンサー活動を開始し、サッ
カーを通じて福島を盛り上げる取り組みにも挑戦しています。多く
の部員が海外研修やライブなど、勉強や
趣味も大切にしながら大学生活を充実さ
せています。選手はもちろん学生スタッ
フも募集中です!大学で新しい挑戦をし
てみませんか。



音楽プロデュース研究会

音楽プロデュース研究会です!インディーズバンド、US、UK
ロック、ポップスなど、ジャンルに縛られずさまざまな音楽をやり
ます!大学から楽器を始めた人もたくさんいるの
で、経験者はもちろん、初心者も大歓迎です!ラ
イブも定期開催して、サークル間交流を深めてい
ます。普段は、文化サークル棟3階で活動をしてい
ます。お待ちしております!



女子ラクロス部

ラクロスは大学スポーツとも呼ばれ、ほとんどの部員が
大学から始めています!未経験でも活躍できる、全員が輝
ける部活です!ぜひ先輩たちと充実した大学生活を送りま
せんか?



弓道は、静かな環境の中で自
分自身と向き合い、心技を磨く
武道です。男女ともにリーグ戦
優勝を目標に仲間と切磋琢磨し
ています!初心者・経験者とも
に大歓迎!



弓道部



裏千家茶道部

裏千家茶道部は女子6名・男子1名で、水曜日に和室で
活動しています。お茶の真のすがたを学び、学内のお茶会
で成果を披露しています。男女問わず大歓迎です!



学生ジャーナリスト

大学の広報活動をメインに福大
祭での展示やラジオ収録、学内外
イベントの撮影などの活動を行っ
ています。ぜひ、めばえちゃんと
一緒に活動してみませんか?



管弦楽団

管弦楽団は毎週2日音楽棟で活動しており、音楽科教授
の横島浩先生を迎え、音楽を楽しむことが出来ます!初心
者も経験者も大歓迎!音楽棟にぜひお越しください!



源種(げんしゅ)

源種は福島県内の学生で構
成されるよさこいチームで
す!練習は土日の午後で、い
ろいろな学校から学生が集ま
るため、たくさんの人と交流
することができます。サー
クル員の9割以上が大学でよさ
こいを始めているので、初心者
大歓迎!踊り子はもちろん、
太鼓隊や傘隊、旗士などとし
て活躍できます。ぜひ私たち
と共に鳴子を手に取り、最高
の青春を手に入れましょう!



統一サークル連合公認サークル

福島大学では、学生の自主的な学問探究及び文化・スポーツ活動の振興と発展を期することを目的に、学生の自治組織として統一サークル連合
を組織しています。公認サークルは文化系で30団体、体育系で34団体あります。

文化系公認サークル

- アカベラサークル
Rainbow Pumpkin
- ESS (英会話研究会)
- 裏千家茶道部
- テーブルゲーム
サークル
(旧 SF 研究会)
- 演劇研究部
- お笑い同好会
- 音楽プロデュース
研究会
- COLORs
- 管弦楽団
- 考古学研究会
- 混声合唱団
- 児童文化研究会
- ジャブリングサークル
- 写真部
- しゅわ手話研究会 Drops
- 書道研究会
- 吹奏楽団
- HEARTS
(学生ボランティア)
- ハートフル☆スタジオ
- はらい川セツルメント
- ピア☆カン
- 美術研究会
- 福島大学
ねこサークル
- 福島大学
農林サークル福桃
- Folk&Rock研究会
- 文芸部
- 放送部
- 漫画研究会
- 学生ジャーナリスト
- 地域・子ども
ボランティア

体育系公認サークル

- 居合道部
- オリエンテーリング部
- 弓道部
- 競技ダンス部
- 行政政策学類
陸上競技部
- 経済
バスケットボール部
- 剣道部
- 福島学生“源種”
~ seed ~
- 硬式テニス部
- 硬式野球部
- 福島大学サッカー部
- 山岳部
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 女子バスケットボール部
- 女子バレーボール部
- 女子ラクロス部
- スキー部
- ストリートダンス同好会
(D.FOOL)
- ソフトテニス部
- 卓球部
- ハンドボール部
- 男子ソフトボール部
(SPARKS)
- 男子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 男子ラクロス部
- チアダンスサークル
~ Peach Graffiti ~
- 馬術部
- バドミントン部
- 福島大学
トライアスロン部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部
- なぎなた部

就職・進路支援

福島大学では、1年次から将来の進路を考える時間を設けています。例えば、1・2年次にキャリア形成論、キャリアモデル学習を開講。基本的な職業観とモラルを身につけ、自らの進路選択と大学での学びとを関連づけて考えることができる教育を行っています。キャリアセンターは、その学び、考えたことが進路決定につながるように、学生のサポートとして、さまざまな事業を実施しています。

進路・就職



学生が選んだ未来

就職率

※2024年度卒業生進路

98.0%

県内就職

269人

県外就職

503人

教員

108人

公務員

203人

企業

458人

進学

111人

キャリアセンターを活用しよう

キャリアセンターには、会社案内が揃っており、先輩方が残してくれた就職試験報告書などと合わせて、さまざまな資料の閲覧ができます。このほか、公務員・教員採用試験関係資料、就職に関するガイドブックの貸し出しも行っています。



進路・就職相談

自分の将来を真剣に考えれば考えるほど、答えがわからなくなったり、迷いが生じたり。就職するまでには、誰もが不安を感じるものです。そんな時は、キャリア相談員に話してください。どんなに小さな悩みでも、相談に応じます。

【相談日】
月曜～金曜 10:00～17:00



業界研究・インターンシップフェア

全学年・全学部・全研究科を対象に、本学主催の業界研究・インターンシップフェアを開催しています。

福島県内外から多数の企業・官公庁が出展。業界や職種を知ることができる絶好の情報収集の機会となっています。



各種就職ガイダンス

開催される就職ガイダンスは、対面とオンデマンドを含めて年間約40件。就職活動スケジュールに合わせた情報の提供を行っています。

1・2年生

視野を広げるヒントになる、自己分析を中心とした講座のほか、インターンシップやマナーなどの講座にも参加できます。
例：自分を知って学生生活をしよう！(対面)
インターンシップ等活用講座(オンデマンド)

3・4年生

就活スタートアップ講座から始まり、就職活動スケジュールに合わせた講座をほぼ毎月実施。公務員・教員・民間企業希望者を網羅した内容で企画しています。
例：3年生&院1年生のための自己分析講座(対面)
エントリーシート対策講座(オンデマンド)

保護者の皆様へのサポート

毎年開催されている大学祭の時期に、「保護者のための就職セミナー」を実施して、就職活動の環境や、親の関わり方などについて、理解を深める機会にいただいています。また、保護者宛てに各種情報提供も行っています。



進路状況

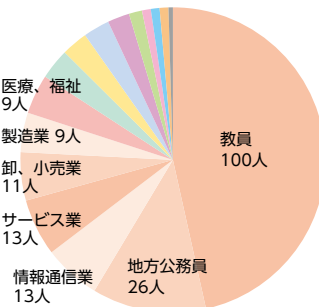
進路データは2024(令和6)年度卒業生実績

人間発達文化学類

卒業生 250人

▶就職者 215人
▶進学者等 22人
▶その他 13人

国家公務員……………1人
複合サービス業……………2人
学術研究、専門・技術サービス業……………2人
保険業……………2人
不動産業、物品賃貸業……………3人
建設業……………5人
宿泊業、飲食サービス業……………6人
金融業……………6人
教育、学習支援業……………7人



就職先一例

【公立学校教員】福島県、青森県、岩手県、宮城県、山形県、東京都、茨城県、神奈川県、新潟県、愛知県、岐阜県、仙台市

【私立学校園教員】

KTC学園屋久島おおぞら高等学校

【公務員】千葉地方方法務局、福島県、岩手県、秋田県、山形県、埼玉県、福島市、宇都宮市、金沢市、八戸市

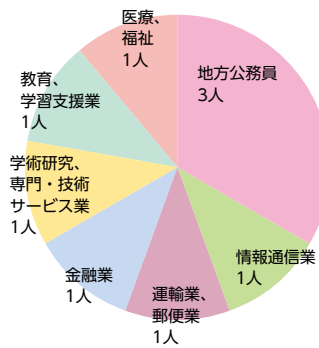
【保育士】福島市、郡山市、仙台市、山形県、松葉福祉会福島東こども園、熊田学園認定こども園らのみ
【企業】(株)紀文食品、(株)テレビユー福島、ミニストップ(株)、(株)クスのアオキ、日産プリンス福島販売(株)、(株)日本政策金融公庫、日本マクドナルド(株)、福島県立医科大学

行政政策学類 夜間主

卒業生 12人

▶就職者 9人
▶その他 3人

地方公務員……………3人
情報通信業……………1人
運輸業、郵便業……………1人
金融業……………1人
学術研究、専門・技術サービス業……………1人
教育、学習支援業……………1人
医療、福祉……………1人



就職先一例

【公務員】岩手県、世田谷区、会津若松市

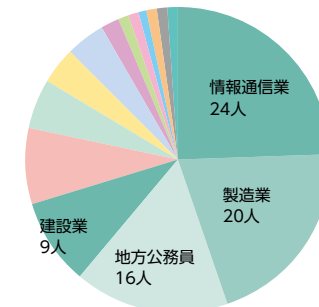
【企業】(株)AEVIC、アディーレ法律事務所、日本貨物鉄道(株)、福島県立医科大学、新潟県信用組合、社会福祉法人二本松市社会福祉協議会

共生システム理工学類

卒業生 156人

▶就職者 98人
▶進学者等 51人
▶その他 7人

国家公務員……………1人
複合サービス業……………1人
不動産業、物品賃貸業……………1人
金融業……………1人
卸、小売業……………1人
運輸業、郵便業……………1人
教育、学習支援業……………2人
教員……………4人
サービス業……………4人
電気・ガス・水道業……………5人
学術研究、専門・技術サービス業……………8人



就職先一例

【公務員】東北公安調査局、福島県、栃木県、静岡県、千葉県、仙台市、成田市、川俣町、棚倉町、福島県警察

【公立学校教員】福島県、宮城県、埼玉県

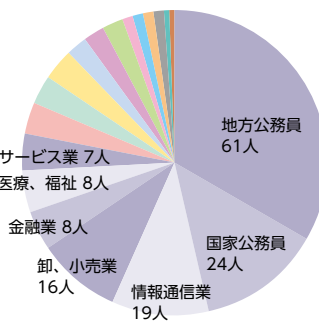
【企業】(株)不動産テラ、西武建設(株)、大和ハウス工業(株)、東日本高速道路(株)、東北ミサワホーム(株)、AGCエレクトロニクス(株)、MHIパワーエンジニアリング、NOK(株)、ジーエルサイエンス(株)、(株)SUBARU、工機ホールディングス(株)、東京電力ホールディングス、アルプスシステムインテグレーション(株)、(株)ドコモCS、(株)大塚商会、(株)東日本技術研究所、(株)日立ソリューションズ、日本エレクトロニクスマネジメント(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)東邦銀行

行政政策学類

卒業生 192人

▶就職者 183人
▶進学者等 4人
▶その他 5人

自営業……………1人
教員……………1人
宿泊業、飲食サービス業……………2人
不動産業、物品賃貸業……………2人
保険業……………2人
農、林、漁、鉱業……………2人
複合サービス業……………4人
運輸業、郵便業……………4人
建設業……………4人
教育、学習支援業……………6人
学術研究、専門・技術サービス業……………6人
製造業……………6人



就職先一例

【公務員】厚生労働省、関東経済産業局、関東地方更生保護委員会、防衛省陸上自衛隊、東北管区警察局、福島地方検察庁、福島地方裁判所、福島労働局、仙台法務局、福島県、宮城県、茨城県、新潟県、静岡県、福島市、いわき市、白河市、白石市、三条市、日立市、浦安市、中央区

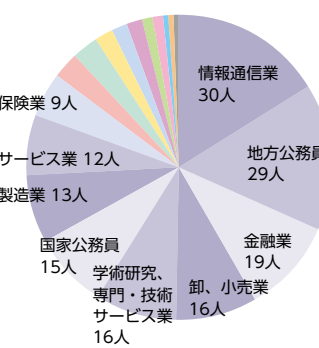
【企業】NECプラットフォームズ(株)、(株)NTTドコモ、(株)茨城計算センター、(株)中日新聞社、(株)福島民報社、セブンイレブン・ジャパン、(株)七十七銀行、東北労働金庫、三井住友海上火災保険、(株)星野リゾート・マネジメント、(財)太田総合病院、JR東日本東北総合サービス(株)、日本年金機構

経済経営学類

卒業生 211人

▶就職者 186人
▶進学者等 12人
▶その他 13人

宿泊業、飲食サービス業……………1人
自営業……………1人
運輸業、郵便業……………1人
複合サービス業……………2人
教員……………2人
電気・ガス・水道業……………3人
教育、学習支援業……………3人
医療、福祉……………4人
不動産業、物品賃貸業……………5人
建設業……………5人



就職先一例

【公務員】宇都宮地方方法務局、横浜税関、関東越国税局、国税局、国土交通省、仙台国税局、東京国税局、東北運輸局、東北経済産業局、東北地方整備局、東北農政局、福島県、青森県、秋田県、山形県、茨城県、埼玉県、福島市、郡山市、仙台市、八戸市、石巻市

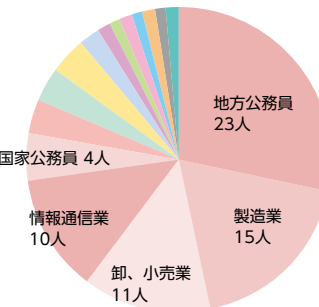
【企業】東日本高速道路(株)、アイリスオーヤマ(株)、日立テクノロジーズアンドサービス、TOKAIホールディングス、(株)茨城新聞社、キャンオンマーケティングジャパン、(株)ソリハ、(株)ニトリ、(株)りそな銀行、(株)東邦銀行、日本銀行、東京海上日動火災保険(株)、ランドマーク税理士法人、(独)中小企業基盤整備機構、アパホテル(株)、帝京科学大学

食農学類

卒業生 103人

▶就職者 81人
▶進学者等 22人

自営業……………1人
教員……………1人
サービス業……………1人
不動産業、物品賃貸業……………1人
金融業……………1人
運輸業、郵便業……………1人
建設業……………1人
教育、学習支援業……………2人
複合サービス業……………3人
学術研究、専門・技術サービス業……………3人
農、林、漁、鉱業……………3人



就職先一例

【公務員】農林水産省、農林水産省植物防疫所、東北農政局、仙台国税局、福島県、宮城県、茨城県、群馬県、新潟県、富山県、静岡県、福島市、荒川区

【公立学校教員】福島県

【企業】(株)堀江林業、福島県酪農協同組合、グリーン産業(株)、いすゞ自動車(株)、ウェルネオシュガー(株)、(株)サンデリカ、(株)トーチク、(株)ニッセーデリカ、(株)ブルボン、山崎製パン(株)、内池醸造(株)、日研フーズ(株)、TIS東北(株)、(株)大塚商会、(株)ベジテック、サンセイ医機(株)、(株)綿半ホームエイト、(株)薬王堂、青木フルーツ(株)、福島建機(株)、(株)大東銀行、朝日航洋(株)、(独)水資源機構、(学)獨協学園獨協医科大学、ふくしま未来農業協同組合

入試データ

▶2026年度 入学試験統計

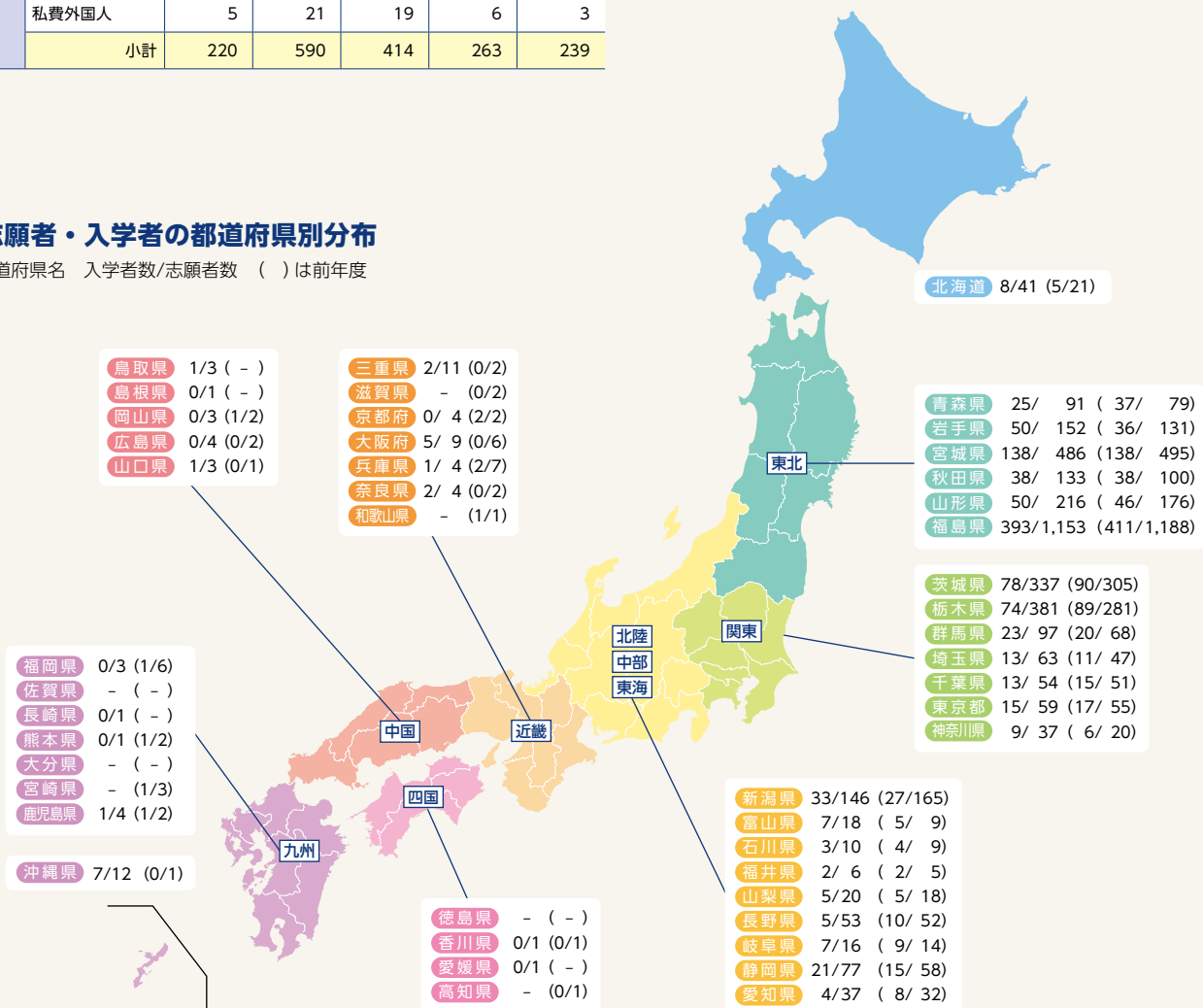
学類	入試種別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
人間発達文化学類	一般選抜 (前期)	154	625	544	186	177
	一般選抜 (後期)	12	258	78	12	9
	学校推薦型選抜Ⅱ (共通テスト課す)	74	115	115	71	71
	総合型選抜	20	43	42	25	25
	私費外国人		2	1	0	0
	小計	260	1,043	780	294	282
行政政策学類	一般選抜 (前期)	108	222	209	119	109
	一般選抜 (後期)	35	655	239	54	38
	学校推薦型選抜Ⅰ	42	82	82	43	43
	総合型選抜	20	13	13	13	13
	私費外国人		0	0	0	0
	小計	205	972	543	229	203
経済経営学類	一般選抜 (前期)	114	232	220	157	148
	一般選抜 (後期)	40	233	72	43	31
	学校推薦型選抜Ⅰ (A)	25	38	38	25	25
	学校推薦型選抜Ⅰ (B)	25	42	41	26	26
	総合型選抜 (共通テスト課す)	11	24	24	6	6
	私費外国人	5	21	19	6	3
	小計	220	590	414	263	239

学類	入試種別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
共生システム理工学類	一般選抜 (前期)	102	233	216	133	120
	一般選抜 (後期)	50	563	141	59	49
	学校推薦型選抜Ⅱ (共通テスト課す)	16	18	18	4	4
	総合型選抜	32	42	42	32	32
	私費外国人		13	10	3	3
	小計	200	869	427	231	208
食農学類	一般選抜 (前期)	60	85	77	68	63
	一般選抜 (後期)	20	194	46	25	21
	総合型選抜	20	41	41	26	26
	私費外国人		5	3	0	0
	小計	100	325	167	119	110
	合計	985	3,799	2,331	1,136	1,042

※政府派遣留学生 2 名及び国費留学生 1 名は含まない

▶志願者・入学者の都道府県別分布

* 都道府県名 入学者数/志願者数 () は前年度



学費・奨学金

入学科

282,000円

納入方法

入学手続前に所定払込用紙により金融機関で振り込み、
入学手続時に納入書 (大学提出用) を提出してください。

※入学時及び在学中に入学科・授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな入学科・授業料が適用されます。
※入学時には、入学科のほかに別途修学関係経費、各種会費が必要になります (学部によって金額は異なります)。

授業料

年額 535,800円

納入方法

入学後、前期分と後期分に分けて、年額の2分の1相当額をそれぞれ4月、10月に学生本人指定口座から引き落としします。

▶学費免除について

学部生

国の修学支援新制度により、日本学生支援機構の給付奨学生となった方 (非課税世帯、それに準ずる世帯、多子世帯の方) は支援区分により入学科及び授業料が免除となります。
(第Ⅰ区分・多子世帯：全額免除、第Ⅱ区分：2/3免除、第Ⅲ区分：1/3免除)

※日本学生支援機構給付奨学金は、入学の前年度に高校に申込を行ってください。または入学後、すぐに学生支援課へ申込を行ってください。また、修学支援新制度の対象とならない方については、入学科及び授業料の徴収を一定の期日まで猶予する制度があります。

大学院生

経済的理由により入学科及び授業料の納入が困難な方に対し、家計基準に応じ学費を減免します。また学部生同様、学費の徴収を猶予する制度があります。博士後期課程の学業優秀者に対しては、選考のうえ授業料を免除する制度があります。

▶奨学制度

〈日本学生支援機構奨学金〉

給付奨学金

高等教育の修学支援新制度により、日本学生支援機構が、対象となる学生へ奨学金を給付します。支援区分と通学区分により給付月額が決まります。

貸与奨学金

無利子の第一種奨学金と利息のつく第二種奨学金があります。第一種奨学金の貸与条件である学業成績と家計の困窮度は、第二種奨学金よりも厳しく設定されております。

〈しのぶ育英奨学金 福島大学独自の給付型奨学金〉

本学に1年以上在学の学部生が対象です。10名程度を選抜し、毎月1人5万円で1年間 (総額60万円) 支給します。返還する必要はありません。

〈その他の奨学金〉

都道府県市町村、各種団体の制度もあります。

入学者選抜要項・各募集要項等の請求方法

入学者選抜要項発表は7月中旬予定です。各種詳細はウェブサイトをご確認ください▶
<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/seikyu.html>



受験生応援サイトにてWebオープンキャンパス開催

Webオープンキャンパス

各種詳細はウェブサイトをご確認ください▶



<https://www.fukushima-u.ac.jp/examination/>

- 動画で見る福島大学
- 福島大学のイトコロ
- 福大生から高校生へのメッセージ
- サークル活動紹介
- フォトギャラリー
- 360°パノラマビュー
- 学生生活 (年間スケジュール)
- オンライン個別相談会 (随時受付中) など

ACCESS

福島駅まで（新幹線）

- 東京から約1時間40分
- 小山から約1時間10分
- 宇都宮から約45分
- 仙台から約30分
- 山形から約1時間10分

福島駅から大学まで

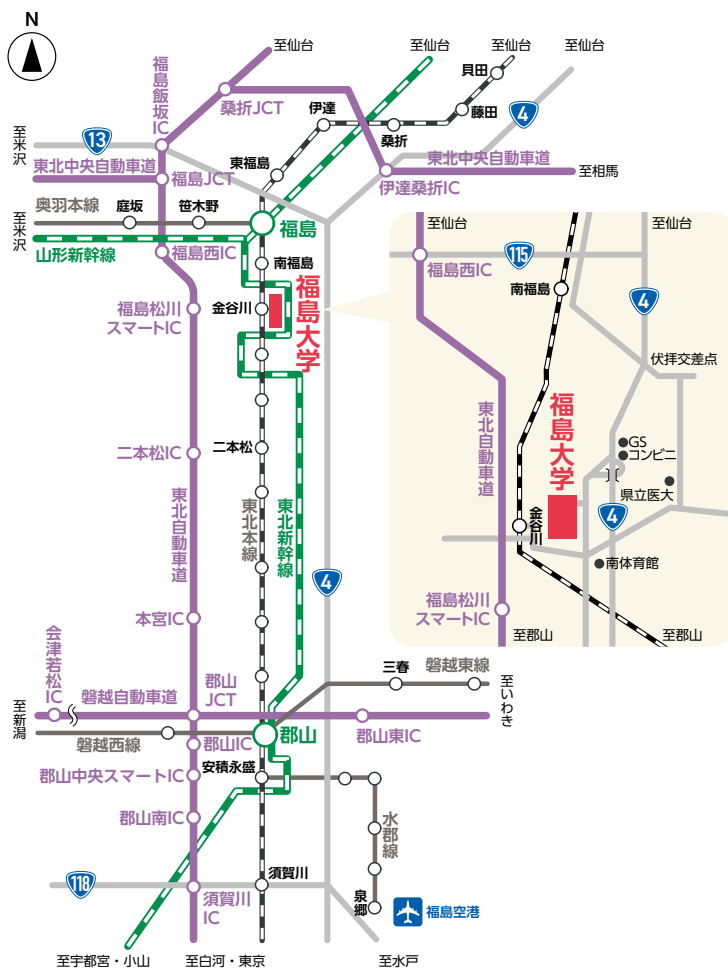
- JR／東北本線金谷川（かなやがわ）駅下車 徒歩約10分
- バス／福島駅から「医大・福島大学経由二本松行き」または「伏拝・医大経由福島大学行き」に乗車、福島大学下車

高速バス

- 仙台駅から福島駅まで約1時間20分
- 会津若松駅から福島駅まで約1時間30分
- 新潟駅から郡山駅まで約2時間50分

茨城方面からお越しの場合

- 高萩駅からJR常磐線特急でいわき駅まで約35分
- 水戸駅からJR常磐線特急でいわき駅まで約1時間10分
- 日立駅からJR常磐線特急でいわき駅まで約45分
- いわき駅から高速バスで福島駅まで約2時間



福島大学
公式マスコットキャラクター
めばえちゃん



PROFILE

4月7日生まれ。

出身地

福島県阿武隈高地

性格

のんびり屋、いつもニコニコ

お仕事

福島っ子の応援
福島県産品のPR
福島県の復旧・復興のお手伝い
福島大学のPR

入試に関する お問い合わせ先

福島大学入試課

〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地

TEL.024-548-8064

(平日／9:00～17:00)

※お問い合わせは、できるだけ受験者本人が行ってください。

福島大学入試課
公式LINE



P-B10178

この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの
木材を含んだ用紙に、「植物油インキ」を使用して印刷しました。

